

杉並区子育て支援に関する
ニーズ調査
報告書

平成26年3月

杉並区

第1章 調査の概要

1. 調査の目的	3
2. 調査の方法	3
3. 調査の内容	3
4. 回収結果	4
5. 報告書の見方	4
6. 地域区分	4

第2章 就学前児調査の結果

1. 家族の状況

(1) 宛名の子どもの年齢	7
(2) きょうだいの人数	8
(3) 居住地域	9
(4) 記入者	9
(5) 保護者の状況	10

2. 子育ての環境

(1) 子育てを主に行っている人	11
(2) 日頃子どもを預かってもらえる親族・知人の有無	12
(2-1) 子どもを親族に預かってもらっている状況	13
(2-2) 子どもを友人・知人に預かってもらっている状況	14
(3) 子育てをする上での心配や悩み	15
(4) 子育てに関して気軽に相談できる相手の有無	16
(4-1) 子育てに関しての相談先	17
(5) 子育てをする上で必要な周囲からのサポート	18

3. 保護者の就労状況

(1) 保護者の就労状況	20
(1-1) 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間	22
(1-2) 働いている曜日	23
(1-3) 出勤時間と帰宅時間	24
(2) パートタイムで就労している人の今後の就労意向	27
(3) 未就労者の今後の就労意向	29

目次

4. 平日の保育園・幼稚園等の利用状況

- (1) 保育園や幼稚園などの利用状況 31
 - (1-1) 平日に利用している施設・事業 32
 - (1-2) 施設・事業の現在の利用頻度と希望する利用頻度 34
 - (1-3) 利用している施設・事業の実施場所 36
 - (1-4) 平日に定期的に施設・事業を利用している理由 37
 - (1-5) 施設・事業を利用していない理由 38
- (2) 平日の施設・事業の今後の利用意向 40
 - (2-1) 利用したい施設・事業の実施場所 42

5. 土曜日、休日や長期休暇中の定期的な施設・事業等の利用意向

- (1) 土曜日、休日の施設・事業の利用希望 43
 - (1-1) 施設・事業をたまに利用したい理由 44
- (2) 幼稚園・区立子供園が長期休暇期間中の際の施設・事業の利用希望 45
 - (2-1) 長期休暇期間中に施設・事業をたまに利用したい理由 46

6. 子どもの病気の際の対応

- (1) 子どもが病気やケガで通常の施設・事業が利用できなかった経験の有無 47
 - (1-1) 施設・事業が利用できなかったときの対応 48
 - (1-2) 病児・病後児のための保育施設等の利用希望 50
 - (1-3) 病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由 51

7. 地域での親子の集りの利用状況

- (1) 親子が集まって過ごす事業の利用状況 52
- (2) 乳幼児親子の集りの場の今後の利用意向 54
- (3) 乳幼児親子の集りを利用する際に大事なこと 56

8. 一時預かり等の利用状況

- (1) 不定期に利用している預かり事業 57
- (2) 不定期の預かり事業の利用希望 58
- (3) この1年間に宿泊を伴って子どもを預けた経験の有無 60
 - (3-1) 子どもを泊まりがけで親族・知人に預けた際の困難度 62

9. 子どもの小学校就学後の放課後の過ごし方

- (1) 希望する放課後の過ごし方 63
- (2) 学童クラブの土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の利用希望 65

10. 育児休業や短時間勤務制度などの利用状況

(1) 育児休業の取得状況	67
(1-1) 育児休業を取得しなかった理由	69
(1-2) 育児休業取得後の職場復帰の有無	70
(1-3) 育児休業取得後の職場復帰の時期	72
(1-4) 実際の職場復帰した時期と希望していた職場復帰の時期	73
(1-5) 希望の時期に職場復帰しなかった理由	74
(1-6) 子どもが3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望する 職場復帰の時期	75
(1-7) 職場復帰時の短時間勤務制度の利用の有無	76
(1-8) 短時間勤務制度を利用しなかった理由	77
(1-9) 子どもが1歳になったときに利用できる施設・事業がある場合の 職場復帰の時期	78

11. 杉並区の子育てについて

(1) 杉並区の子育てのしやすさ	79
(2) 杉並区での子育ての継続意向	81
(3) 杉並区の子育て環境や支援に関する意見	83

第3章 小学生調査の結果**1. 家族の状況**

(1) 宛名の子どもの学年	87
(2) きょうだいの人数	88
(3) 居住地	89
(4) 記入者	89
(5) 保護者の状況	90

2. 子育ての環境

(1) 子育てを主に行っている人	91
(2) 日頃子どもを預かってもらえる親族・知人の有無	92
(2-1) 子どもを親族に預かってもらっている状況	93
(2-2) 子どもを友人・知人に預かってもらっている状況	94
(3) 子育てをする上での心配や悩み	95
(4) 子育てに関して気軽に相談できる相手の有無	96
(4-1) 子育てに関しての相談先	97
(5) 子育てをする上で必要な周囲からのサポート	98

目 次

3. 保護者の就労状況

- (1) 保護者の就労状況 100
 - (1-1) 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間 102
 - (1-2) 働いている曜日 103
 - (1-3) 出勤時間と帰宅時間 104
- (2) パートタイムで就労している人の今後の就労意向 107
- (3) 未就労者の今後の就労意向 109

4. 子どもの放課後の過ごし方

- (1) 現在の放課後の過ごし方 111
- (2) 希望する放課後の過ごし方 113
- (3) 学童クラブの土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の利用希望 115
- (4) 学童クラブを利用しない理由 116

5. 一時預かり等の利用状況

- (1) この1年間に保護者の私用で子どもを預けた経験の有無 117
- (2) この1年間に宿泊を伴って子どもを預けた経験の有無 119
 - (2-1) 子どもを泊まりがけで親族・知人に預けた際の困難度 121

6. 杉並区の子育てについて

- (1) 杉並区の子育てのしやすさ 122
- (2) 杉並区での子育ての継続意向 124
- (3) 杉並区の子育て環境や支援に関する意見 126

第4章 調査票

- 就学前児童調査票 131
- 小学生児童調査票 152

第 1 章 調査の概要

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、「(仮称) 杉並区子ども・子育て支援事業計画」策定等の参考資料とすることを目的に実施する。

2. 調査の方法

- | | |
|-----------|------------------------------|
| (1) 調査区域 | 杉並区全域 |
| (2) 調査対象者 | ①就学前児童が属する世帯、②小学生児童が属する世帯 |
| (3) 標本数 | ①②各4,200(各年齢、学年ごとに700) |
| (4) 抽出方法 | 住民基本台帳からの無作為抽出 |
| (5) 調査方法 | 郵送配布・郵送回収 |
| (6) 調査期間 | 平成25年12月9日(月)～平成25年12月24日(火) |
| (7) 調査機関 | 株式会社エスピー研 |

3. 調査の内容

①就学前児調査

- (1) 家族の状況
- (2) 子育ての環境
- (3) 保護者の就労状況
- (4) 平日の保育園・幼稚園等の利用状況
- (5) 土曜日、休日や長期休暇中の定期的な施設・事業等の利用意向
- (6) 子どもの病気の際の対応
- (7) 地域での親子の集りの利用状況
- (8) 一時預かり等の利用状況
- (9) 子どもの小学校就学後の放課後の過ごし方
- (10) 育児休業や短時間勤務制度などの利用状況
- (11) 杉並区の子育てについて

②小学生調査

- (1) 家族の状況
- (2) 子育ての環境
- (3) 保護者の就労状況
- (4) 子どもの放課後の過ごし方
- (5) 一時預かり等の利用状況
- (6) 杉並区の子育てについて

4. 回収結果

調査票種別	調査票発送数	有効回収数	有効回収率
①就学前児童調査票	4,200	2,463	58.6%
②小学生児童調査票	4,200	1,971	46.9%

5. 報告書の見方

- (1) 図表中の「n」は、各質問の回答者数を表す。
- (2) 選択肢の回答の比率はnを100.0%として算出し、小数点第2位を四捨五入して示した。したがって、すべての選択肢の比率を合計しても、必ずしも100.0%ちょうどにならない場合がある。
- (3) 複数回答の質問では、すべての選択肢の比率を合計すると通常100.0%を超える。
- (4) 実数値の記入を求めた質問では回答の平均値を表示しているが、この平均値は、nから無回答の人数を差し引いた数を母数として算出した。
- (5) クロス集計による分析では、居住地域などの属性となる質問に無回答であっても、各質問の全体の回答には含まれるが、属性となる質問に無回答である集団の比率は割愛して示した。したがって、属性の各項目の該当者数を合計しても、全体の回答者数と一致しない場合がある。

6. 地域区分

質問中の「地域」は、以下のとおり区分している。

地域区分	町 名
井草地域	井草、下井草、上井草
西荻地域	善福寺、西荻北、上荻、西荻南、松庵、宮前
荻窪地域	荻窪、南荻窪、桃井、今川、清水、天沼、本天沼
阿佐谷地域	阿佐谷北、阿佐谷南、成田東、成田西、松ノ木、大宮
高円寺地域	高円寺北、高円寺南、梅里、堀ノ内、和田
高井戸地域	久我山、高井戸西、高井戸東、上高井戸、下高井戸
方南・和泉地域	永福、方南、和泉

第2章 就学前児調査の結果

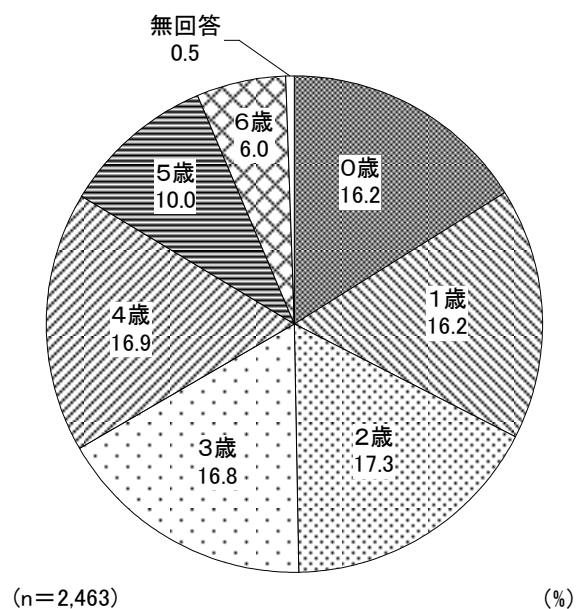
第2章 就学前児調査の結果

1. 家族の状況

(1) 宛名の子どもの年齢

問1 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。

図1-1

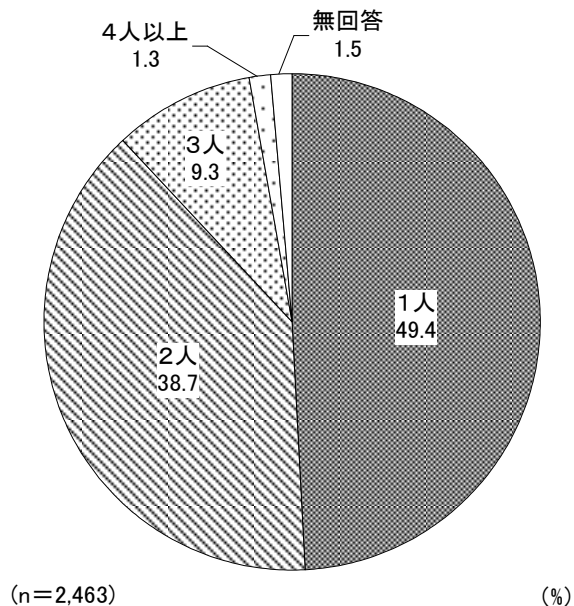


各歳児で概ねバランスのとれた回答となっている。6歳の子どもは、調査対象としては5歳児であり、調査時点で6歳に達しているため、回答者数は5歳児との合計になる。(図1-1)

(2) きょうだいの人数

問2 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

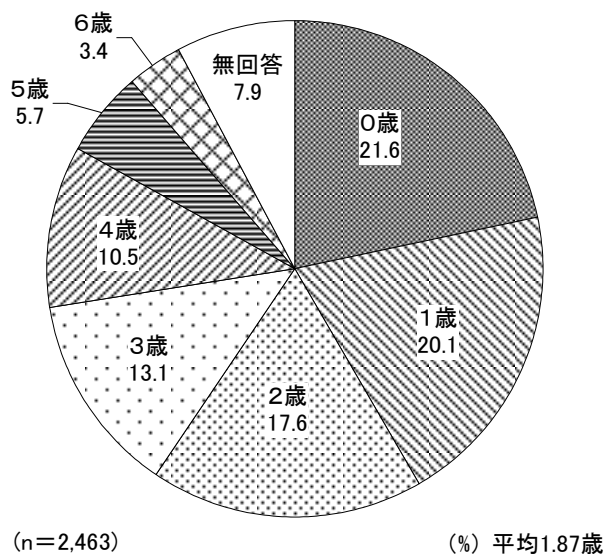
図1-2



宛名の子どものきょうだいの人数は、「1人(きょうだい無)」が49.4%で最も多く、次いで「2人」が38.7%、「3人」が9.3%、「4人以上」が1.3%と続いている。(図1-2)

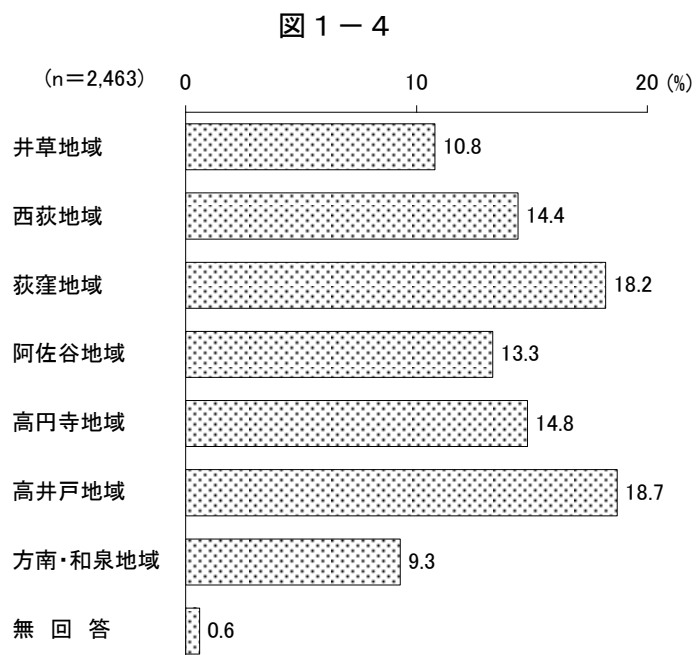
複数の子どもがいる場合の、末子の子どもの年齢は、「0歳」が21.6%で最も多く、次いで「1歳」が20.1%、「2歳」が17.6%と続いている。(図1-3)

図1-3 末子の子どもの年齢



(3) 居住地域

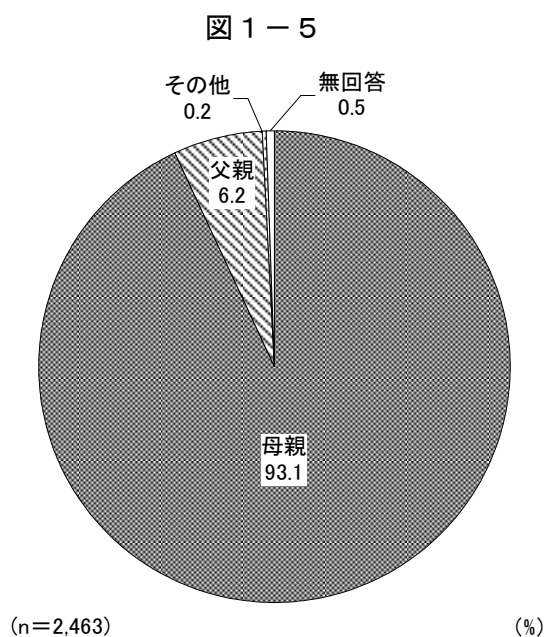
問3 お住まいの町名をおうかがいします。(○は1つだけ)



居住地域は、「高井戸地域」が18.7%で最も多く、次いで「荻窪地域」が18.2%、「高円寺地域」が14.8%と続いている。(図1-4)

(4) 記入者

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(○は1つだけ)

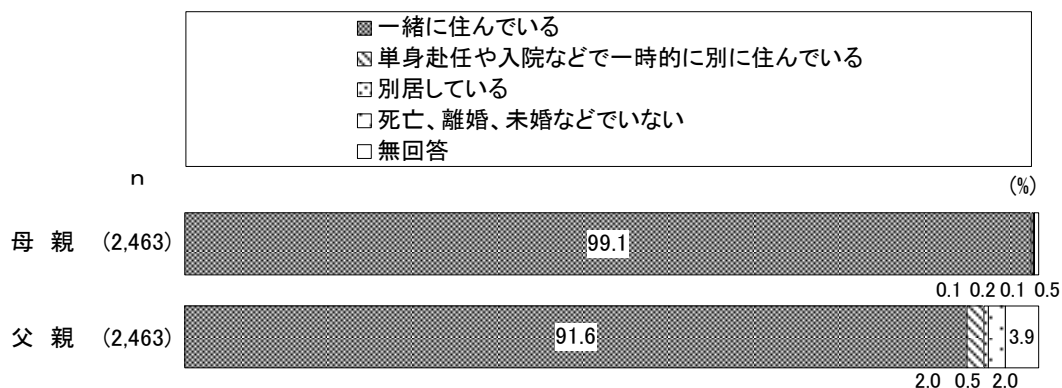


記入者は、「母親」が93.1%、「父親」は6.2%となっている。(図1-5)

(5) 保護者の状況

問5 宛名のお子さんの保護者の状況についてうかがいます。(○は1つだけ)

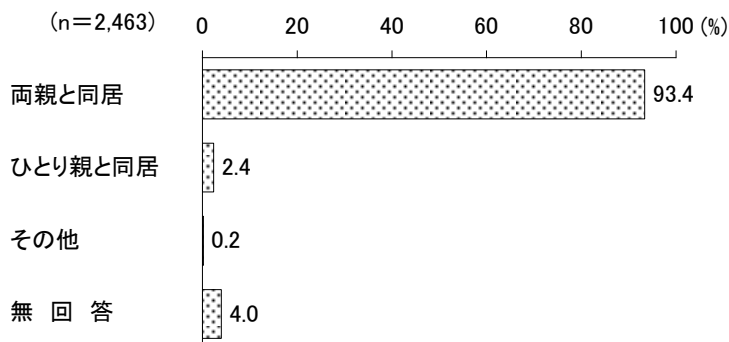
図1-6



保護者の状況については、「一緒に住んでいる」が母親で99.1%、父親で91.6%となっている。
(図1-6)

保護者との同居状況を見ると、「両親と同居」が93.4%、「ひとり親と同居」は2.4%となっている。
(図1-7)

図1-7 保護者の状況 (同居状況)

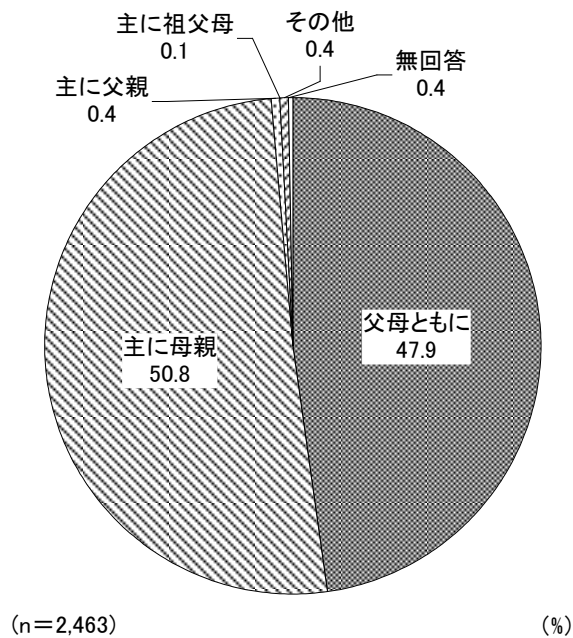


2. 子育ての環境

(1) 子育てを主に行っている人

問6 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。(〇は1つだけ)

図2-1



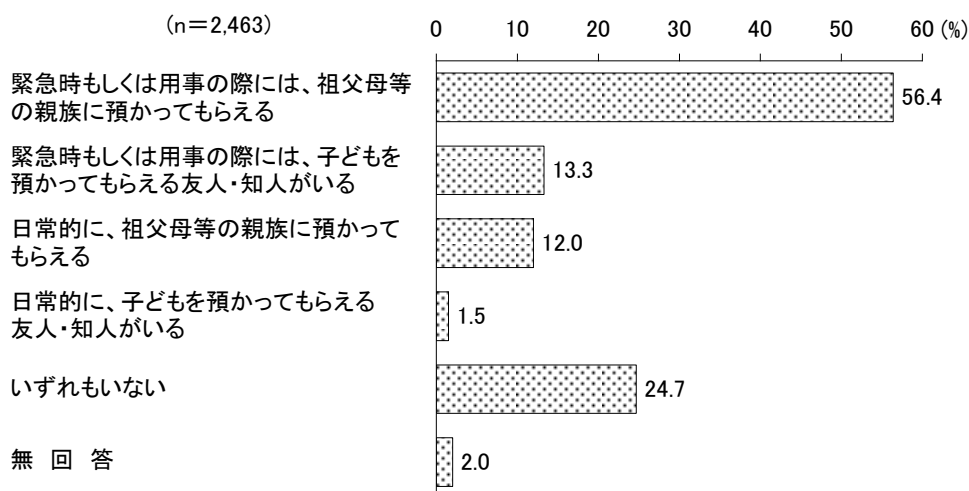
子育てを主に行っている人は、「主に母親」が50.8%、「父母ともに」は47.9%となっている。

(図2-1)

(2) 日頃子どもを預かってもらえる親族・知人の有無

問7 日頃、宛名のお子さんを預かってもらえる親族・知人はいますか。(〇はいくつでも)

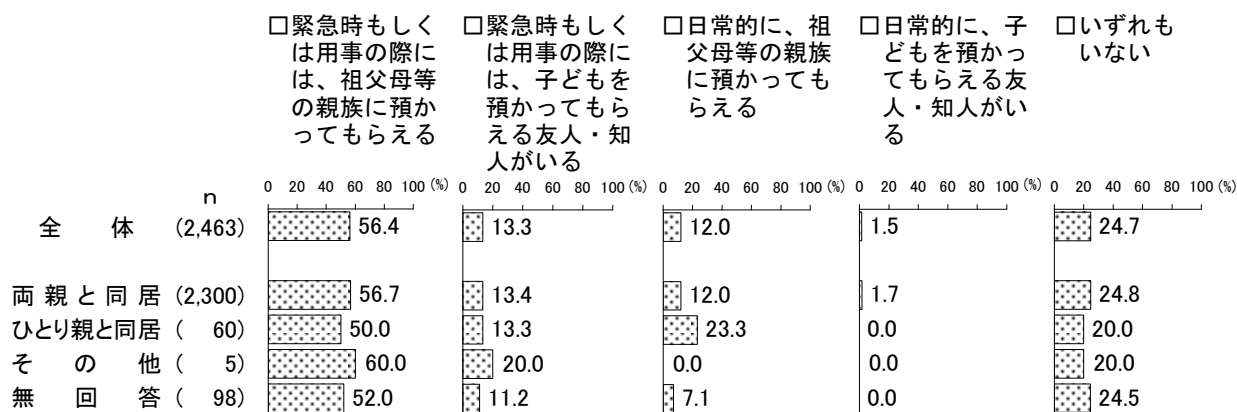
図2-2



日頃子どもを預かってもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族に預かってもらえる」が56.4%で最も多く、次いで「緊急時もしくは用事の際には、子どもを預かってもらえる友人・知人がいる」が13.3%と続いている。一方、「いずれもない」は24.7%となっている。(図2-2)

保護者の状況別にみると、「日常的に、祖父母等の親族に預かってもらえる」はひとり親と同居で23.3%と多くなっている。(図2-3)

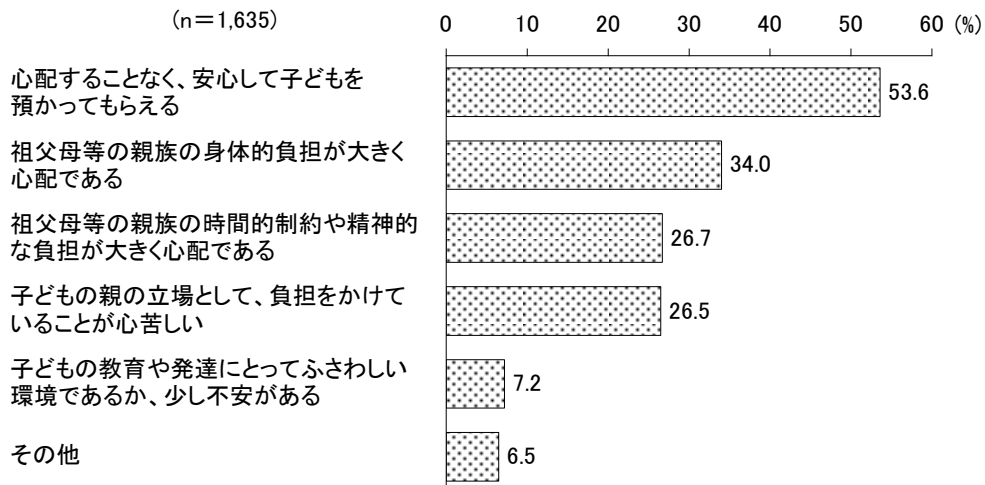
図2-3 子どもを預かってもらえる親族・知人の有無(保護者の状況別)



(2-1) 子どもを親族に預かってもらっている状況

問7-1 問7で「日常的に、祖父母等の親族に預かってもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族に預かってもらえる」と答えた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんを預かってもらっている状況についてお答えください。(〇はいくつでも)

図2-4

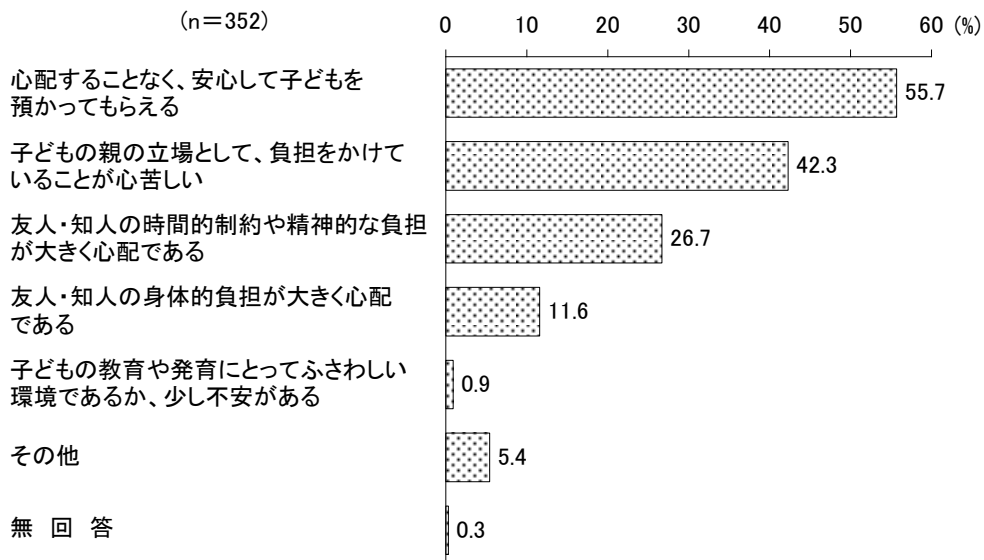


子どもを親族に預かってもらっている状況については、「心配することなく、安心して子どもを預かってもらえる」が53.6%で最も多く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が34.0%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が26.7%と続いている。(図2-4)

(2-2) 子どもを友人・知人に預かってもらっている状況

問7-2 問7で「日常的に、子どもを預かってもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には、子どもを預かってもらえる友人・知人がいる」と答えた方にうかがいます。友人・知人に預かってもらっている状況についてお答えください。(〇はいくつでも)

図2-5

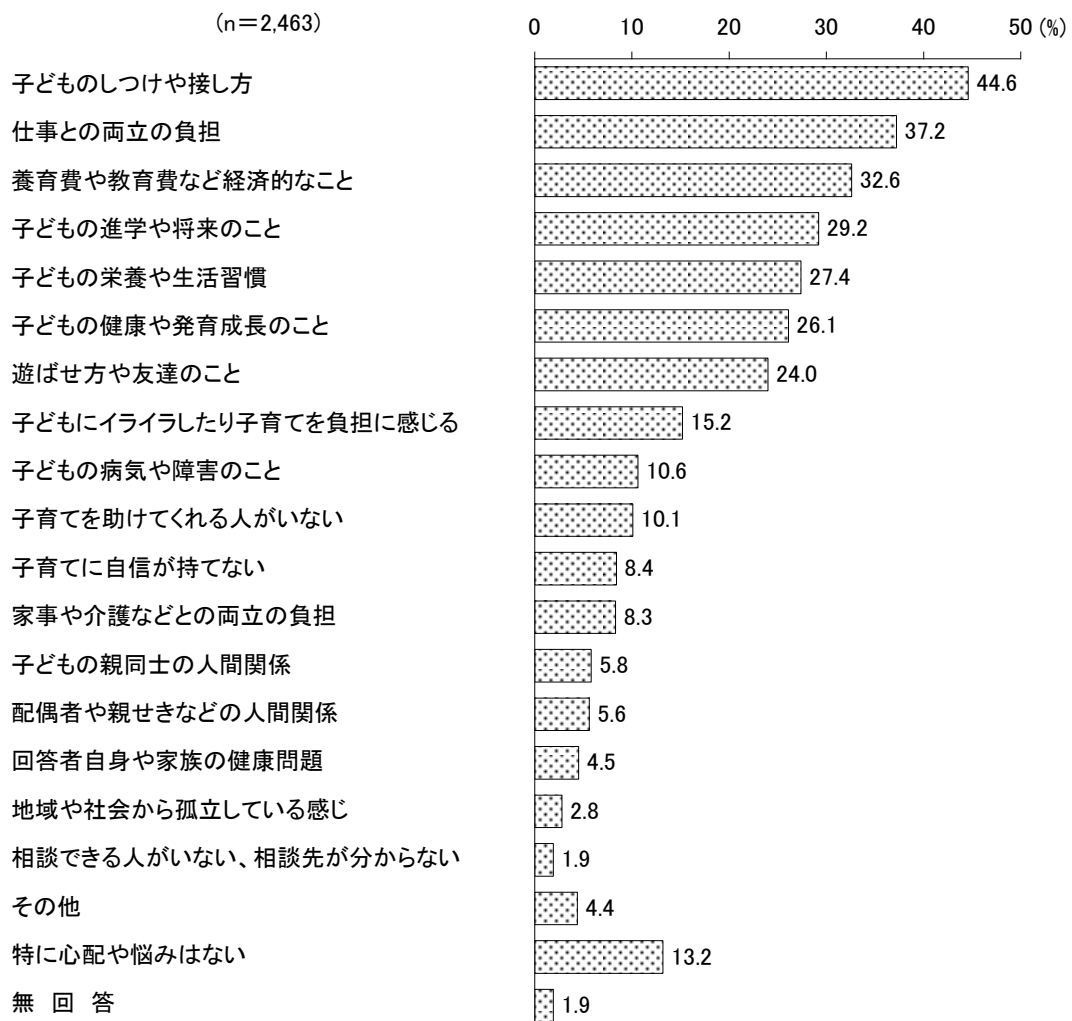


子どもを友人・知人に預かってもらっている状況については、「心配することなく、安心して子どもを預かってもらえる」が55.7%で最も多く、次いで「子どもの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が42.3%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が26.7%と続いている。(図2-5)

(3) 子育てをする上での心配や悩み

問8 宛名のお子さんの子育てをする上で、心配や悩みがありますか。(〇はいくつでも)

図2-6

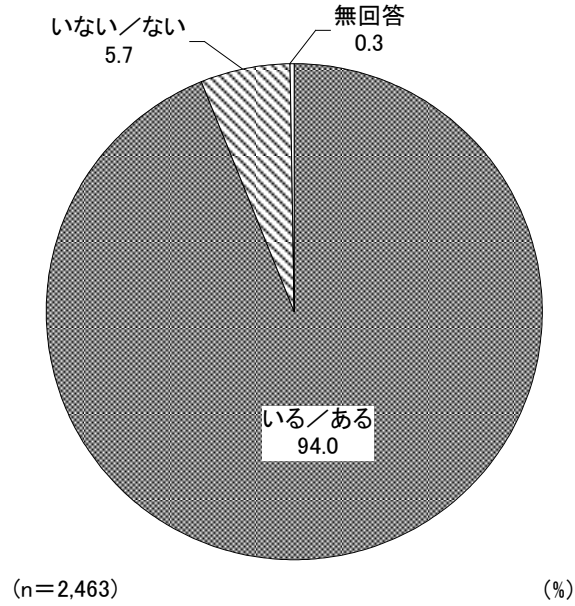


子育てをする上での心配や悩みは、「子どものしつけや接し方」が44.6%で最も多く、次いで「仕事との両立の負担」が37.2%、「養育費や教育費など経済的なこと」が32.6%と続いている。一方、「特に心配や悩みはない」は13.2%となっている。(図2-6)

(4) 子育てに関して気軽に相談できる相手の有無

問9 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいですか。または、相談できる場所がありますか。(○は1つだけ)

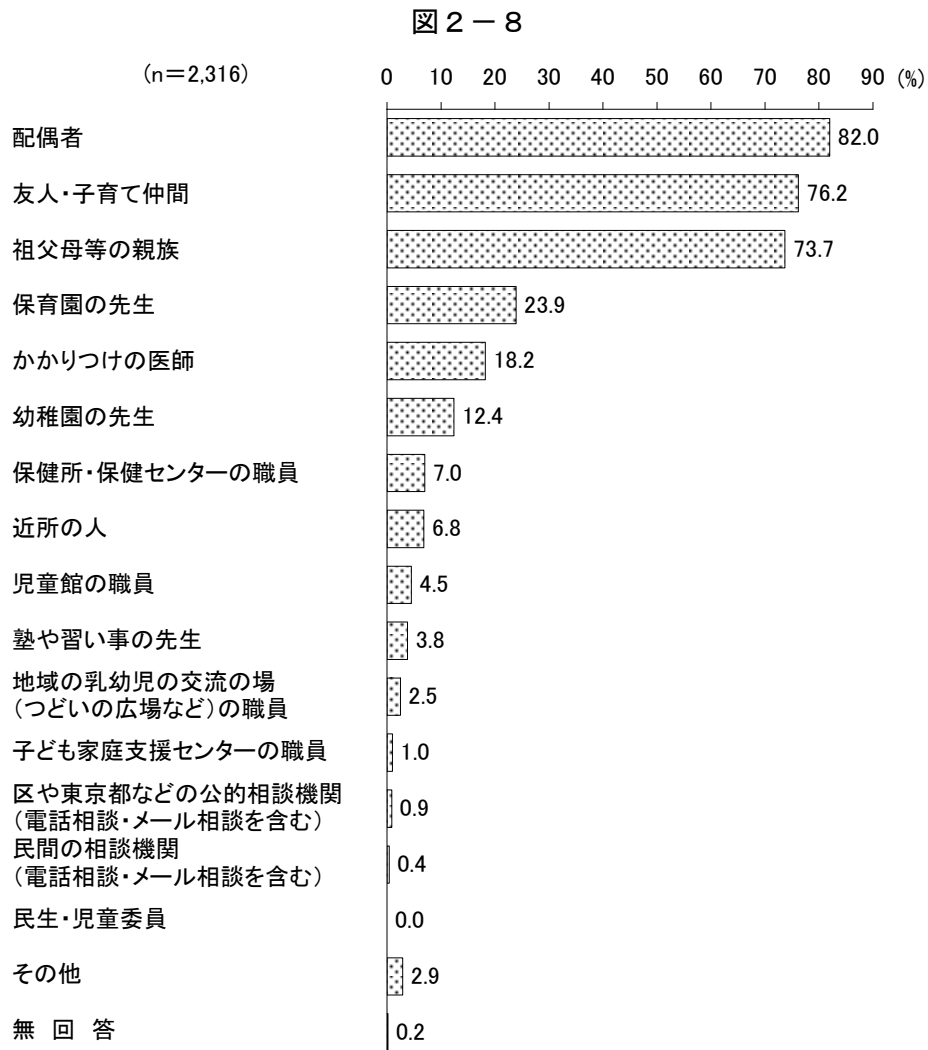
図2-7



子育てに関して気軽に相談できる相手の有無は、「いる/ある」が 94.0%、「いない/ない」は 5.7%となっている。(図2-7)

(4-1) 子育てに関する相談先

問9-1 問9で「いる／ある」と答えた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。（〇はいくつでも）



子育てに関する相談先は、「配偶者」が 82.0% で最も多く、次いで「友人・子育て仲間」が 76.2%、「祖父母等の親族」が 73.7% と続いている。(図 2-8)

(5) 子育てをする上で必要な周囲からのサポート

問10 子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

子育てをする上で必要な周囲からのサポートを自由に記述していただいたところ、1,118人から1,285件の回答が寄せられた。以下の分類項目で該当する意見を整理した。それぞれの分類ごとの、主な意見を掲載する。

1 保育に関するサービス（678件）

- 祖父母等の親族は、年齢的に健康面で心配な点があるため、春に生まれる2番目の子の出産が不安。出産1か月ぐらいの間、気軽にサポートしてもらえる人、場所がほしい。
- 自分が病気になったときの子どもの幼稚園の送迎や食事の準備等、私用のときの子どもを預ける場所があると便利である。保育園等も毎日預けるのではなく、週2日くらいでも預かってもらえると仕事の復帰を考えられる。
- 急な用事などの際にも気軽に子どもを預かってもらえる場所があれば助かる。また、子どもを遊ばせながら、相談ができるような場があると良い。

2 子どものことを気軽に相談できる専門家・窓口（198件）

- 出産直後に赤ちゃん訪問のサービスがあるが、希望すれば何回でもきてもらえたら助かる。
- 昨今増えている発達障害などの問題について、専門的にわかって気軽に様子を見てもらえるような人がいると安心できる。
- 保育園に子育て相談担当の方がいて、専門的な視点で話ができるとうい。
- こども発達センターなど、専門的なアドバイスを受けられるのは心強いと思う。

3 交流の場の提供（90件）

- 児童館でのゆうキッズ事業や保健センターでの集い等、同月齢が集まる場があることは良い。多胎児も参加しやすいようサポートがあると良い。
- 色々な世代を通じて触れ合え、気軽に会話ができるような場がもっとあれば良い。

4 子育てに関する情報提供（75件）

- 妊婦を対象に、児童館やつどいの広場の事業、子育て応援券の使い方などの子育て情報の提供があると良い。
- 保育園の情報がもっと簡単に手に入る場があると良い。
- 育児に関するサービスの情報が不足している印象がある。

5 行政による経済面の支援（69件）

- 子育て応援券を使い道が少ない。
- 金銭的サポートがうれしい。

- 子育て応援券は、保育園入園後は使い道が少ない。育児用品（オムツやベビーカーなど）を購入するための補助があると良い。

6 地域の理解、安全面での支援 （37件）

- 地域や社会での子育て環境が大切である。
- 地域での子どもの預かりがあると良い。
- 公共の場や公共交通機関の利用には、まだまだ子育てするものには不便ことが多い。周囲も子どもに対する理解が乏しい。

7 子どもへの個別の支援 （10件）

- 療育が必要な子どもの場合、情報が得られず、孤立感がある。先を見据えた情報を提供してくれる場がほしい。子どもだけでなく、親のサポートもあると良い。
- 医療的ケアや、肢体不自由であるため、一時預かりなど預ける場所がない。障害児で医療的ケアがあっても気軽に預けられる場所があると良い。
- すぐに相談できる人が身近にいると良い。
- 障害についての共通理解を得られる場があると良い。

8 子育てに対する企業の理解 （5件）

- 企業の協力体制もあり、幅広い就労体系に則った、保育事業の選択肢があると良い。

9 その他 （123件）

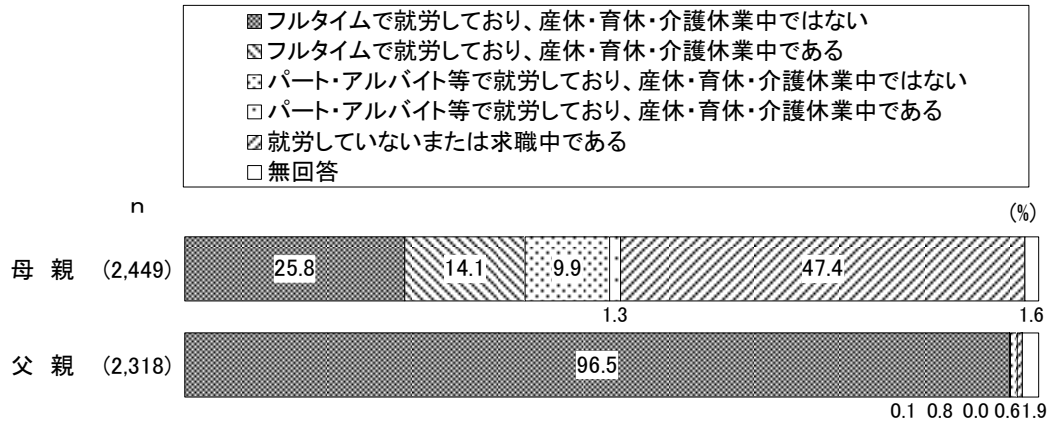
- ベビーカーなどの無料レンタルサービスをがあると良い。
- 子育て応援券を使って、親子で参加できるイベントが増えると良い。

3. 保護者の就労状況

(1) 保護者の就労状況

問11 当てはまる就労状況を、お答えください。

図3-1



保護者の就労状況は、母親では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が25.8%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である」が14.1%となっており、フルタイムで就労している母親は合わせて39.9%となっている。また、「就労していないまたは求職中である」は47.4%となっている。

父親では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が96.5%で最も多くなっている。(図3-1)

子どもの年齢別にみると、母親では「就労していないまたは求職中である」はおおむね子どもの年齢が上がるにつれて多くなっている。また、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である」は0歳で46.1%と多く、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」は2歳で40.5%と多くなっている。

父親では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」がすべての年齢で9割台となっている。(図3-2・3)

図3-2 保護者の就労状況（子どもの年齢別）【母親】

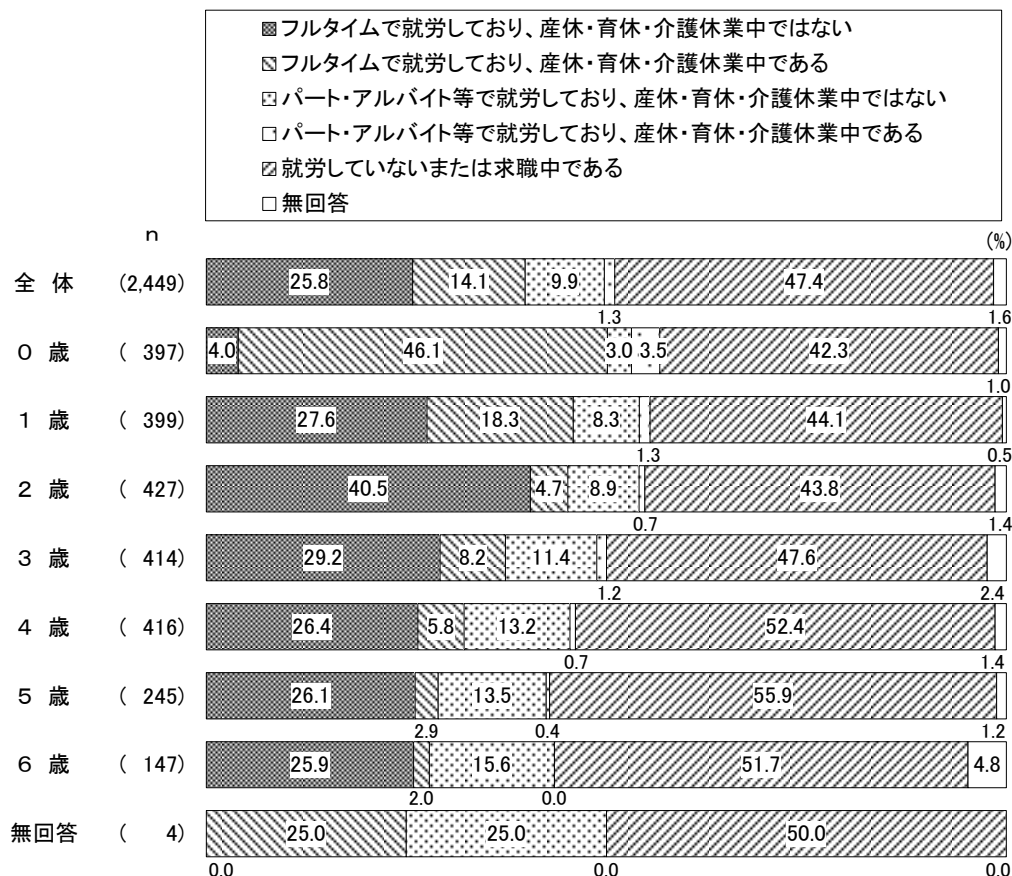
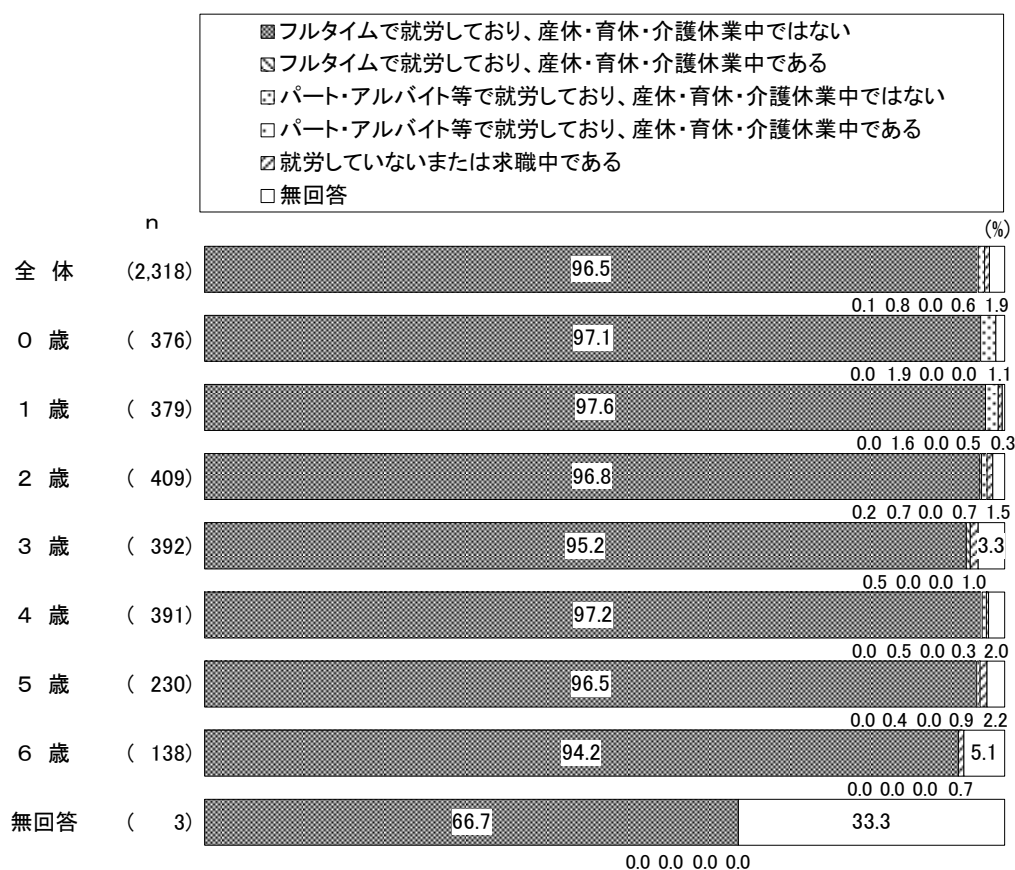


図3-3 保護者の就労状況（子どもの年齢別）【父親】

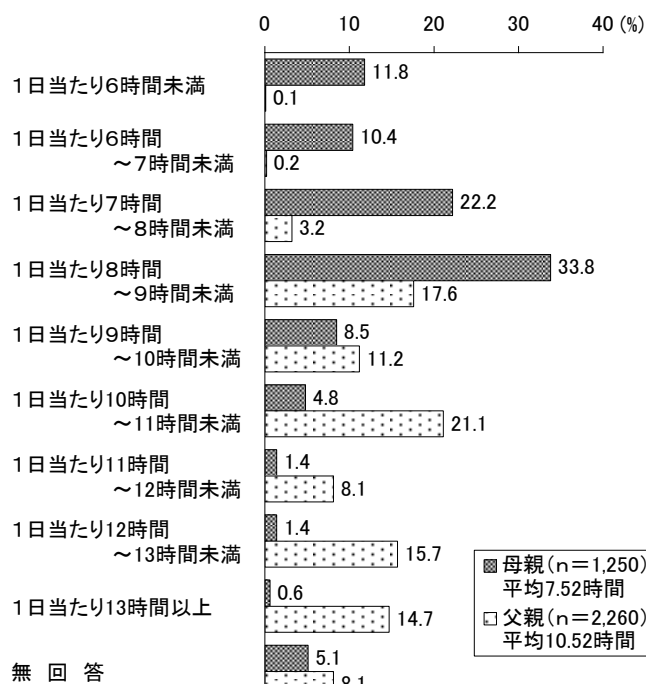
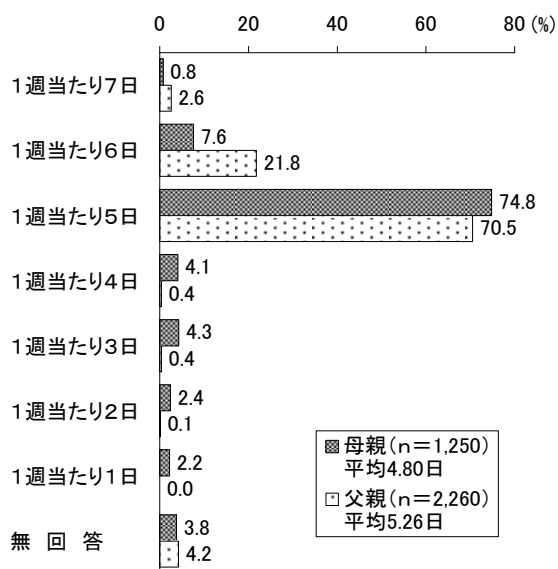


(1-1) 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間

問11-1 問11でフルタイムまたはパート・アルバイトで就労していると答えた方にうかがいます。1週当たりの就労日数・就労時間（残業時間を含む）をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

図3-4 就労日数

図3-5 就労時間



1週当たりの就労日数は、「5日」が母親で74.8%、父親で70.5%と最も多く、次いで「6日」が母親で7.6%、父親で21.8%と続いている。(図3-4)

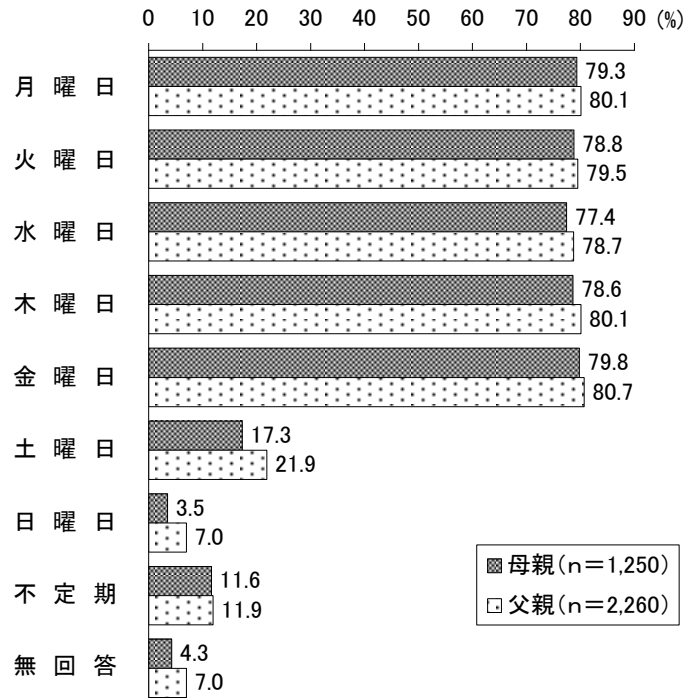
1日当たりの就労時間は、母親では「8時間～9時間未満」が33.8%で最も多く、次いで「7時間～8時間未満」が22.2%と続いている。

父親では「10時間～11時間未満」が21.1%で最も多く、次いで「8時間～9時間未満」が17.6%と続いている。(図3-5)

(1-2) 働いている曜日

問11-1 問11でフルタイムまたはパート・アルバイトで就労していると答えた方にうかがいます。1週当たりの就労日数・就労時間(残業時間を含む)などをお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

図3-6 働いている曜日

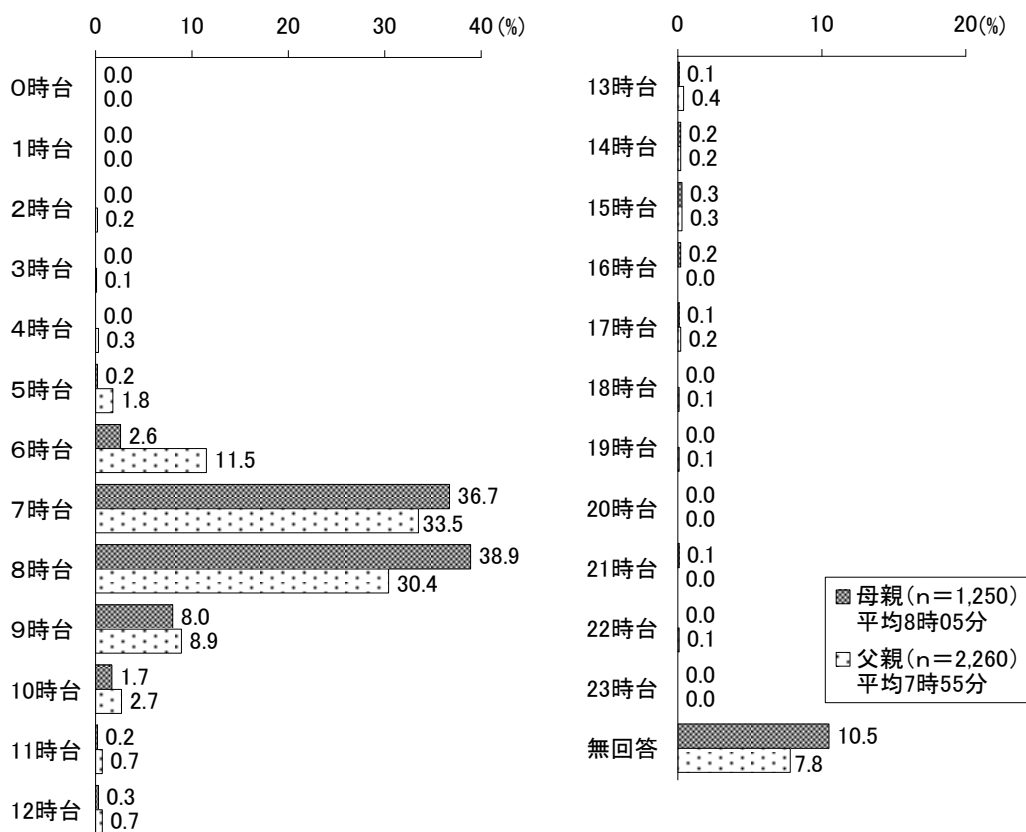


働いている曜日は、母親・父親ともに「月曜日」、「火曜日」、「水曜日」、「木曜日」、「金曜日」が8割前後となっている。(図3-6)

(1-3) 出勤時間と帰宅時間

問11-1 問11でフルタイムまたはパート・アルバイトで就労していると答えた方にうかがいます。1週当たりの就労日数・就労時間（残業時間を含む）などをお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

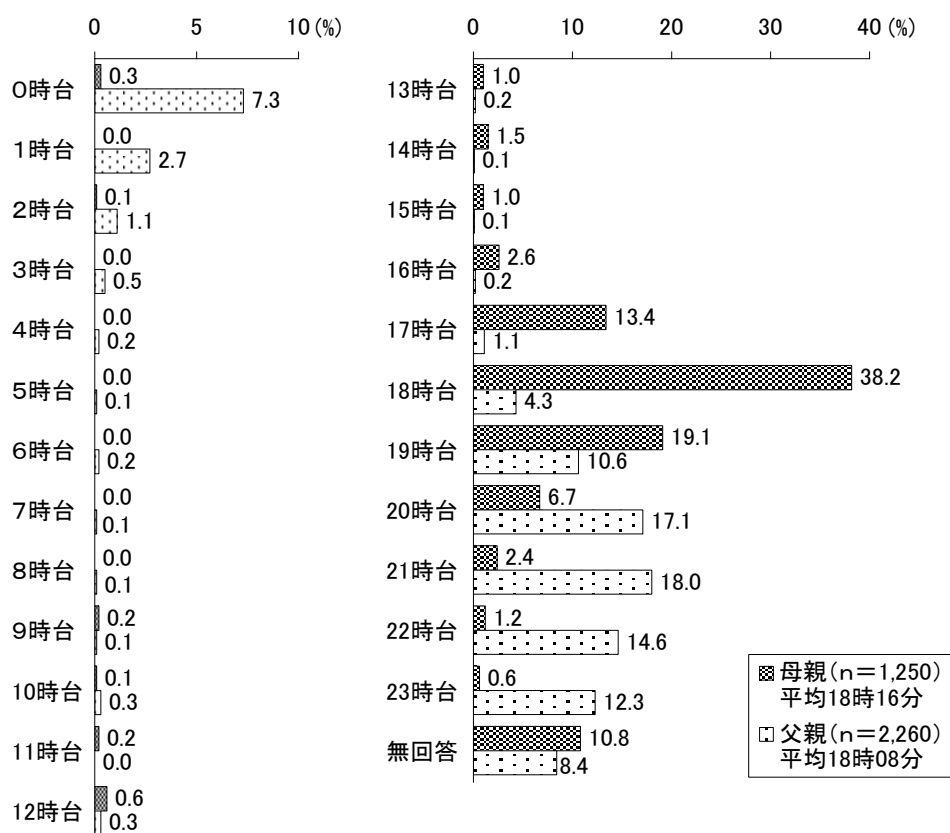
図3-7 出勤時間



出勤時間は、母親では「8時台」が38.9%で最も多く、次いで「7時台」が36.7%と続いている。

父親では「7時台」が33.5%で最も多く、次いで「8時台」が30.4%、「6時台」が11.5%と続いている。(図3-7)

図3-8 帰宅時間



帰宅時間は、母親では「18時台」が38.2%で最も多く、次いで「19時台」が19.1%、「17時台」が13.4%と続いている。

父親では「21時台」が18.0%で最も多く、次いで「20時台」が17.1%、「22時台」が14.6%と続いている。(図3-8)

在宅勤務の方の仕事開始時間は、「9時台」が母親で9.8%、父親で6.9%と最も多く、次いで「8時台」が母親で4.0%、父親で4.6%と続いている。(図3-9)

在宅勤務の方の仕事終了時間は、母親では「17時台」が6.6%で最も多く、父親では「18時台」と「21時台」がともに2.7%で最も多くなっている。(図3-10)

図3-9 在宅勤務の方の仕事開始時間

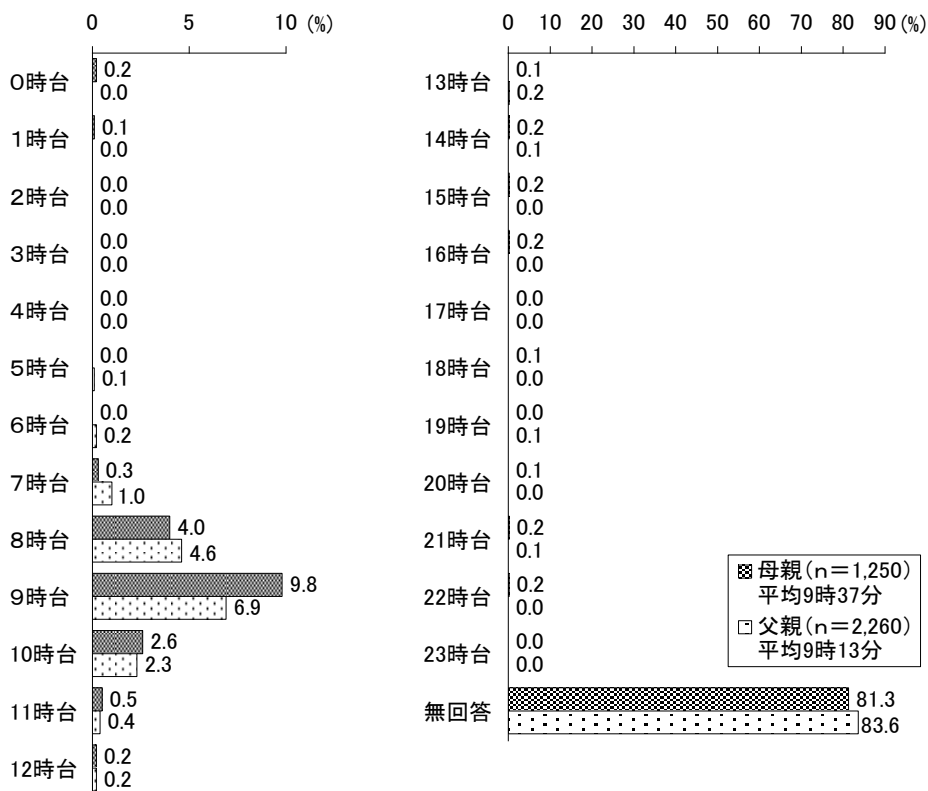
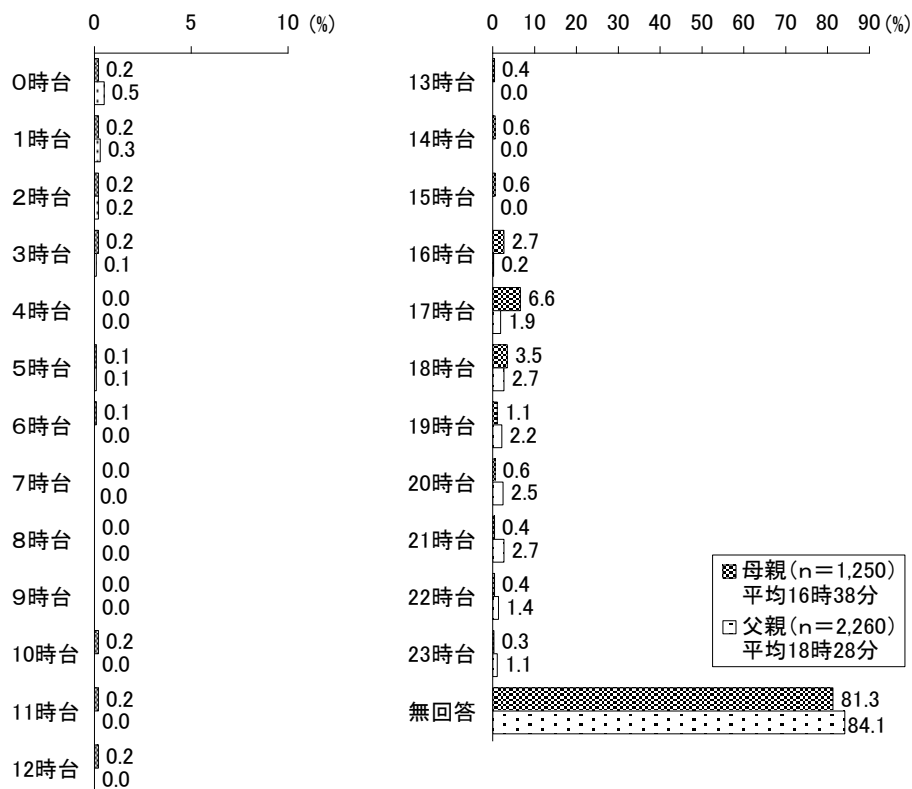


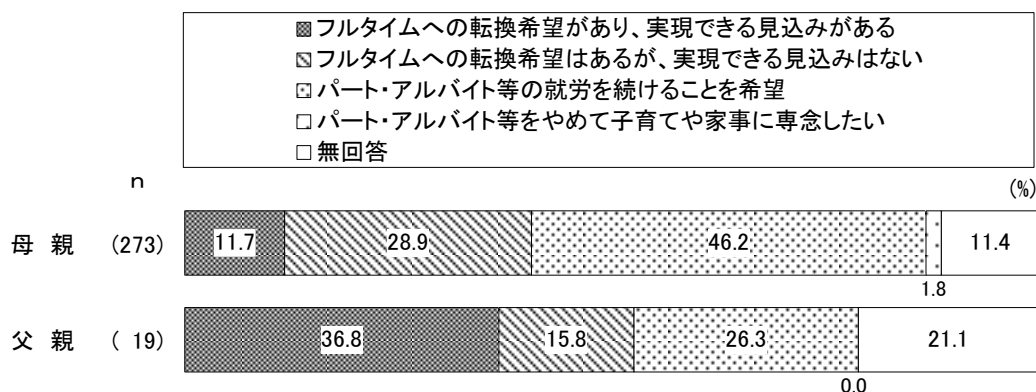
図3-10 在宅勤務の方の仕事終了時間



(2) パートタイムで就労している人の今後の就労意向

問12 問11で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である」と答えた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。「母親」「父親」それぞれ教えてください。「フルタイム」とは1週間に5日・1日8時間程度の仕事をさします。

図3-11



パートタイムで就労している人の今後の就労意向は、母親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が46.2%で最も多くなっている。また、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が11.7%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は28.9%となっており、フルタイムへの転換希望は合わせて40.6%となっている。

父親では「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が36.8%で最も多く、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は15.8%となっており、フルタイムへの転換希望は合わせて52.6%となっている。また、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」は26.3%となっている。(図3-11)

子どもの年齢別にみると、母親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が4歳で51.7%、5歳で55.9%、6歳で56.5%と、低い年齢層と比べて多くなっている。また、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が3歳で40.4%と多く、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」は1歳で23.7%と多くなっている。

父親については、対象数が少ないため、参考までに図示する。(図3-12・13)

図3-12 パートタイムで就労している人の今後の就労意向（子どもの年齢別）【母親】

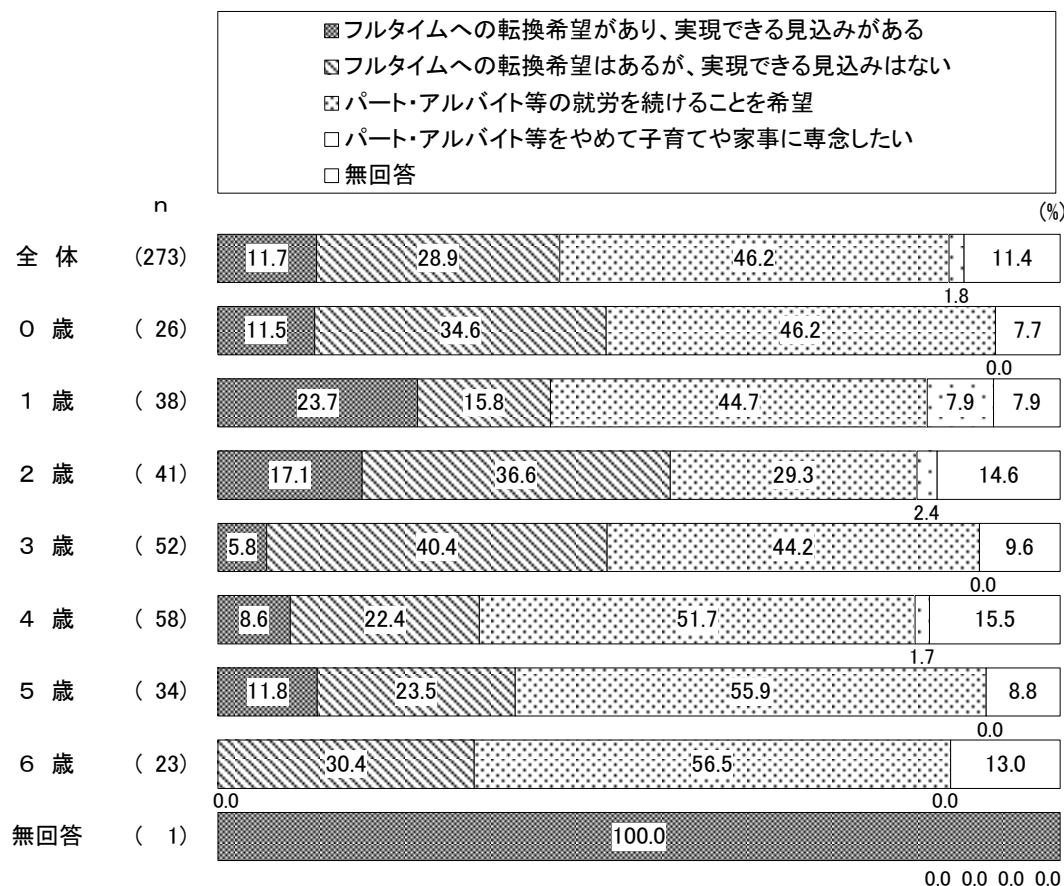
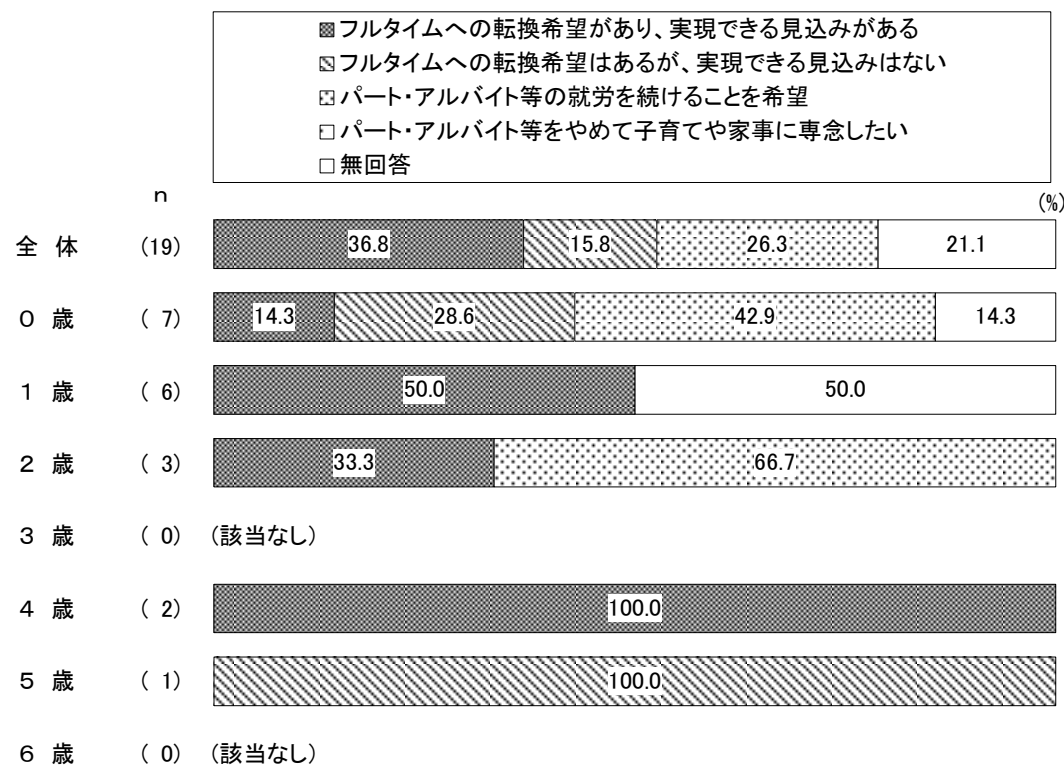


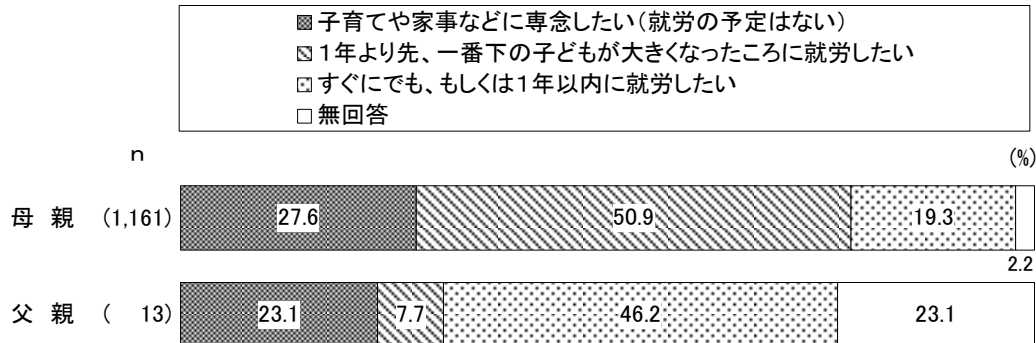
図3-13 パートタイムで就労している人の今後の就労意向（子どもの年齢別）【父親】



(3) 未就労者の今後の就労意向

問 13 問 11 で「就労していないまたは求職中である」と答えた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。

図 3-14



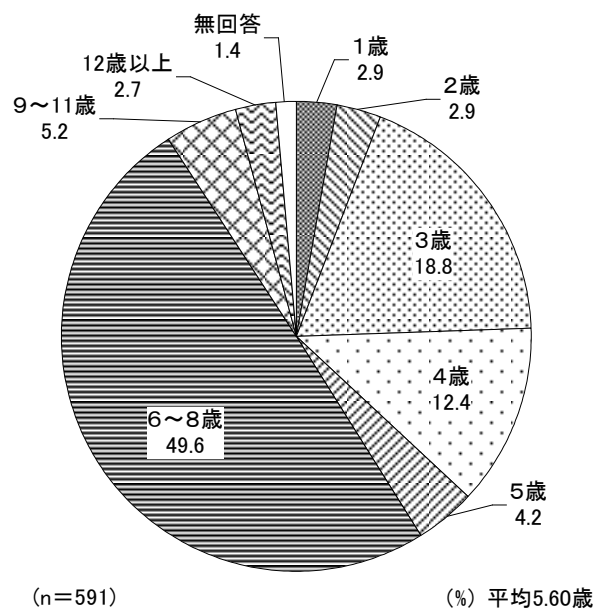
未就労者の今後の就労意向は、母親では「1年より先、一番下の子どもが大きくなったところに就労したい」が50.9%で最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が27.6%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が19.3%と続いている。

父親では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が46.2%で最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が23.1%、「1年より先、一番下の子どもが大きくなったところに就労したい」が7.7%と続いている。(図3-14)

「1年より先、一番下の子どもが大きくなったところに就労したい」と答えた人が、子どもが何歳になったところに就労したいかは、母親では「6~8歳」が49.6%で最も多く、次いで「3歳」が18.8%、「4歳」が12.4%と続いている。

父親については、対象が1名と少ないため割愛する。(図3-15)

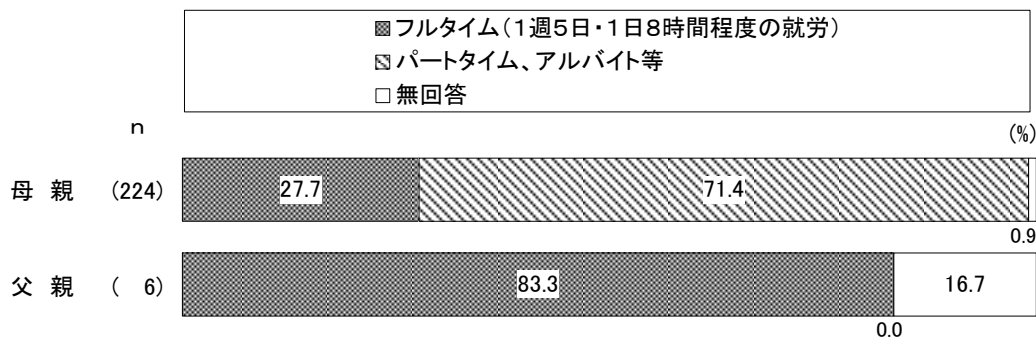
図 3-15 子どもが何歳になったところに就労したいか【母親】



「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と答えた人の希望する就労形態は、母親では「パートタイム、アルバイト等」が71.4%、「フルタイム（1週5日・1日8時間程度の就労）」は27.7%となっている。

父親については、対象が6名と少ないため、参考までに図示する。（図3-16）

図3-16 希望する就労形態



希望する就労形態で「パートタイム、アルバイト等」と答えた人の、1週当たりの希望勤務日数は、母親では「3日」が54.4%で最も多く、次いで「4日」が26.3%、「5日」が11.9%と続いている。

父親については対象者がいなかった。（図3-17）

1日当たりの希望勤務時間は、母親では「5時間～6時間未満」が36.9%で最も多く、次いで「5時間未満」が34.4%、「6時間～7時間未満」が17.5%と続いている。

父親については対象者がいなかった。（図3-18）

図3-17 希望勤務日数【母親】

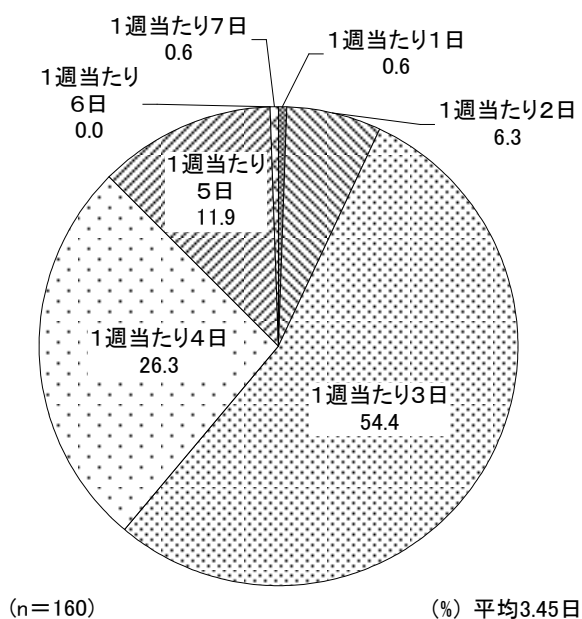
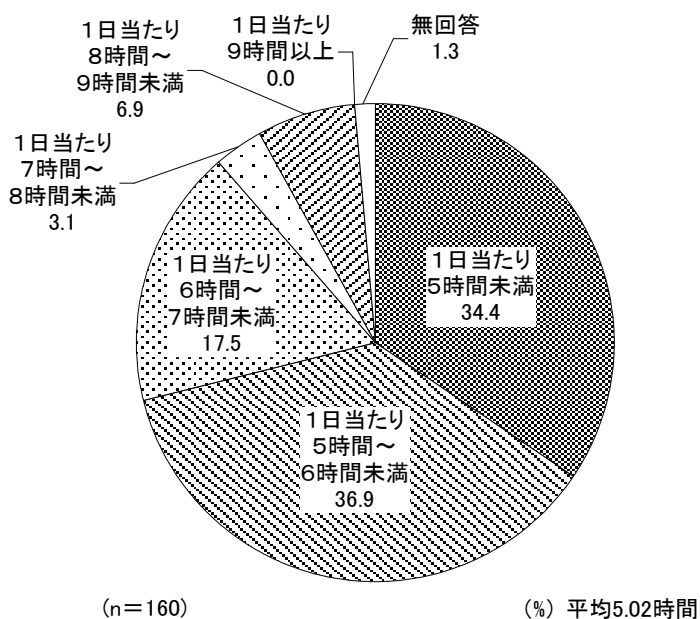


図3-18 希望勤務時間【母親】

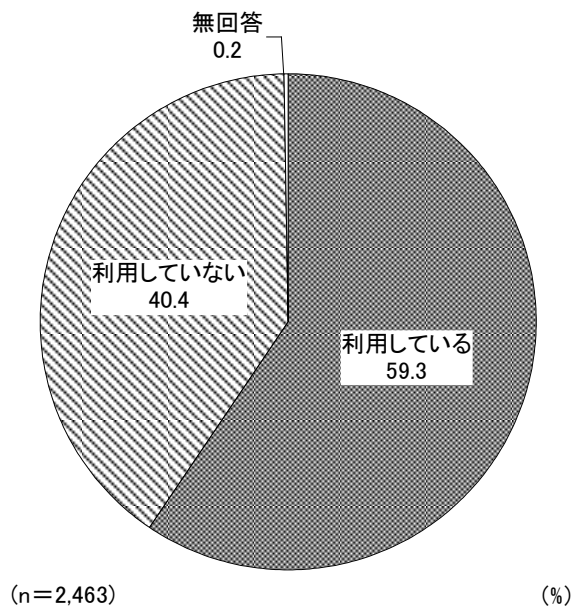


4. 平日の保育園・幼稚園等の利用状況

(1) 保育園や幼稚園などの利用状況

問 14 宛名のお子さんは現在、保育園や幼稚園など問 14-1 に示した施設・事業を定期的に利用されていますか。

図 4-1

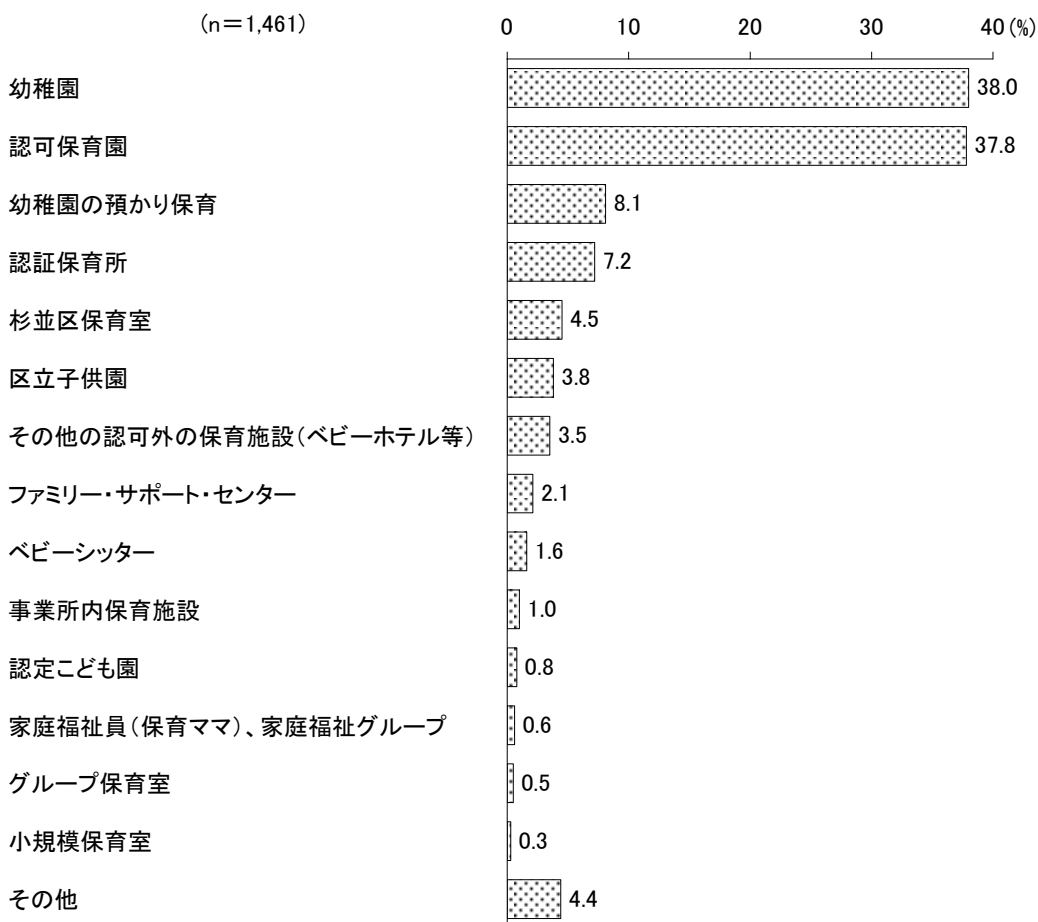


保育園や幼稚園などの利用状況は、「利用している」が 59.3%、「利用していない」は 40.4%となっている。(図 4-1)

(1-1) 平日に利用している施設・事業

問14-1 問14で「利用している」と答えた方にうかがいます。宛名のお子さんは、平日どのような施設・事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業のすべてにお答えください。(〇はいくつでも)

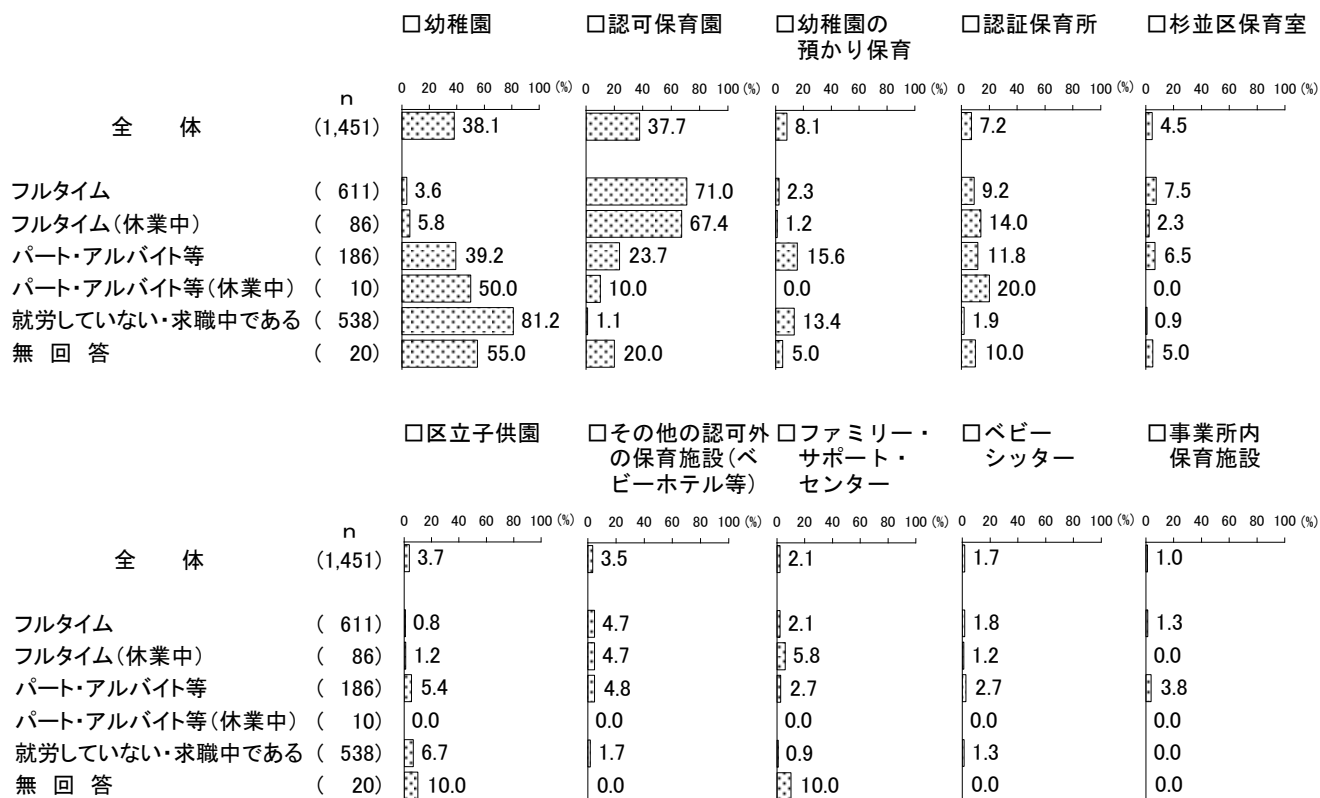
図4-2



平日に利用している施設・事業は、「幼稚園」が38.0%、「認可保育園」が37.8%で多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が8.1%、「認証保育所」が7.2%と続いている。(図4-2)

母親の就労状況別にみると、「認可保育園」は“フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない”で71.0%、“フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である”で67.4%と多くなっている。また、「幼稚園」は“就労していないまたは求職中である”で81.2%と多くなっている。(図4-3)

図4-3 平日に利用している施設・事業（母親の就労状況別）（上位10項目）

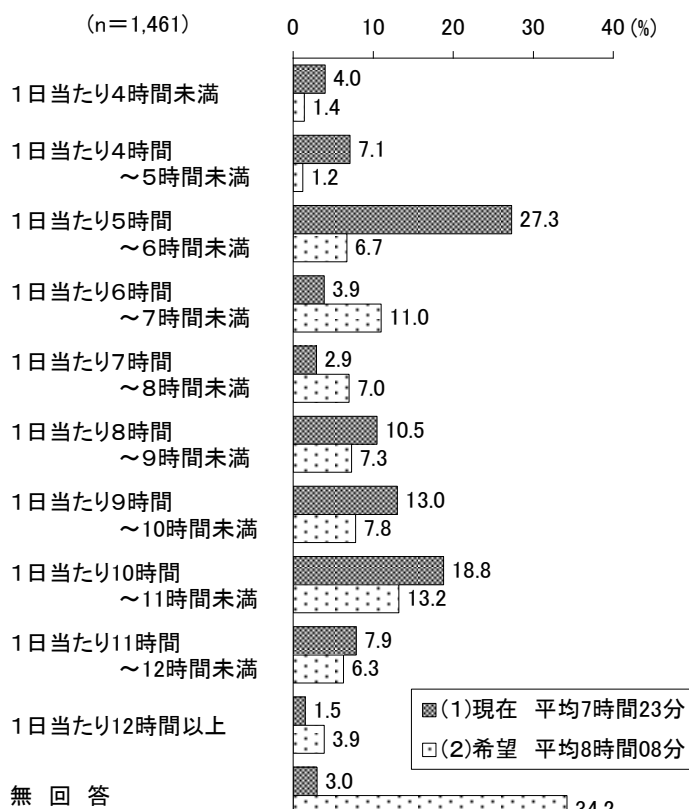
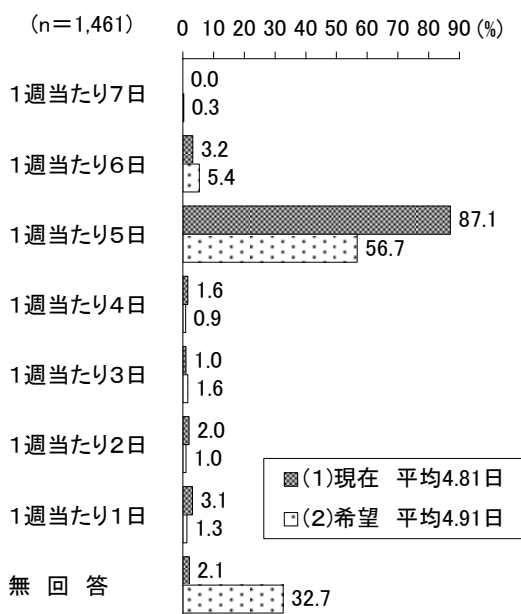


(1-2) 施設・事業の現在の利用頻度と希望する利用頻度

問 14-2 問 14 で「利用している」と答えた方にうかがいます。問 14-1 で施設・事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間（何時から何時まで）かを、お答えください。複数の施設・事業を利用または希望している場合は、それらを合計した時間をご記入ください。

図 4-4 利用日数

図 4-5 利用時間



1 週当たりの利用日数は、「5 日」が現在で 87.1%、希望で 56.7%と最も多くなっている。

(図 4-4)

1 日当たりの利用時間は、現在では「5 時間～6 時間未満」が 27.3%で最も多く、次いで「10 時間～11 時間未満」が 18.8%、「9 時間～10 時間未満」が 13.0%と続いている。

希望では「10 時間～11 時間未満」が 13.2%で最も多く、次いで「6 時間～7 時間未満」が 11.0%、「9 時間～10 時間未満」が 7.8%と続いている。(図 4-5)

利用開始時間は、「9時台」が現在で51.8%、希望で32.2%と最も多く、次いで「8時台」が現在で29.5%、希望で21.2%と続いている。(図4-6)

利用終了時間は、現在では「14時台」が29.6%で最も多く、次いで「18時台」が27.9%、「17時台」が16.8%と続いている。

希望では「18時台」が16.3%で最も多く、次いで「15時台」が11.1%、「17時台」が10.7%と続いている。(図4-7)

図4-6 利用開始時間

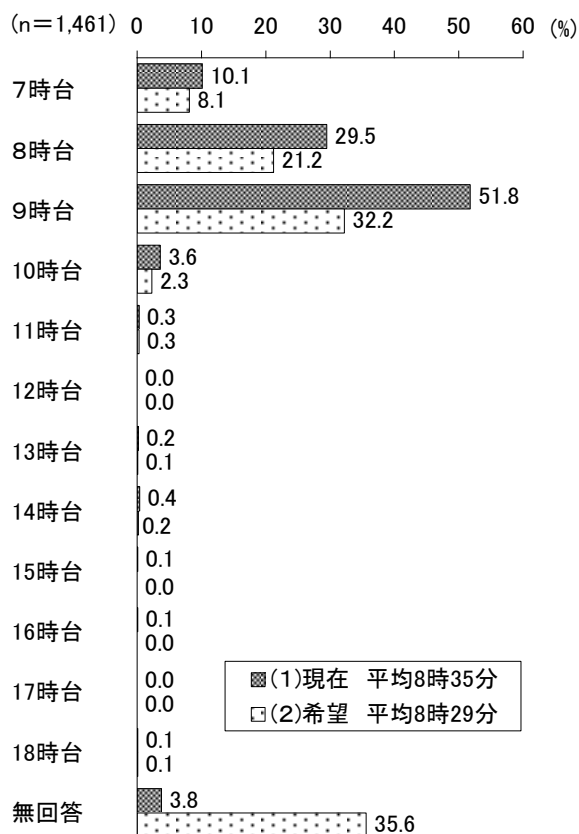
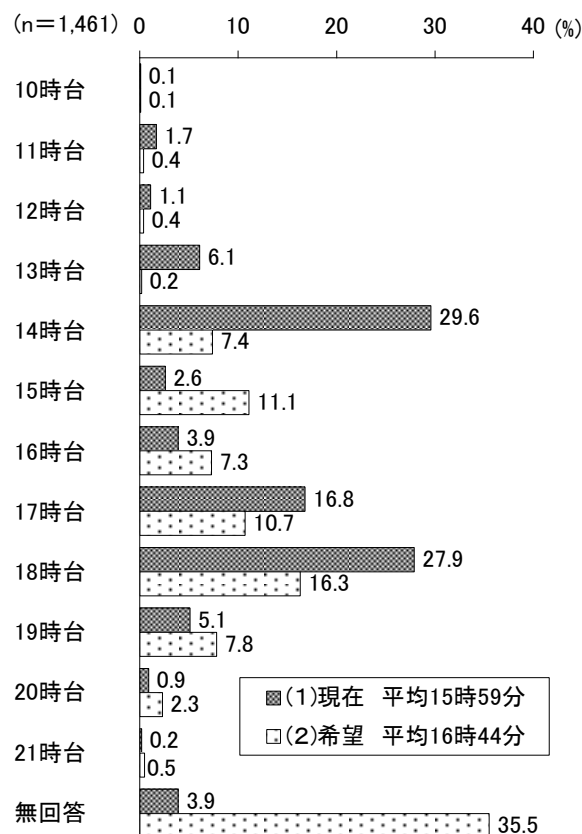


図4-7 利用終了時間



(1-3) 利用している施設・事業の実施場所

問14-3 問14で「利用している」と答えた方にうかがいます。現在、利用している施設・事業の実施場所お答えください。(複数回答可)

図4-8

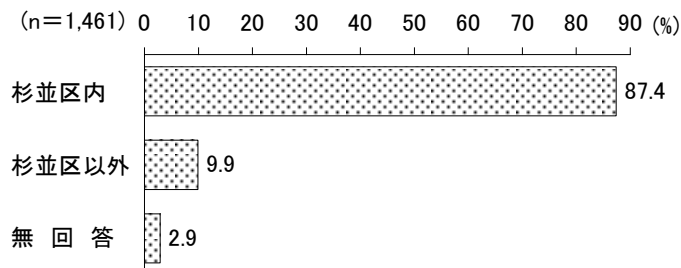
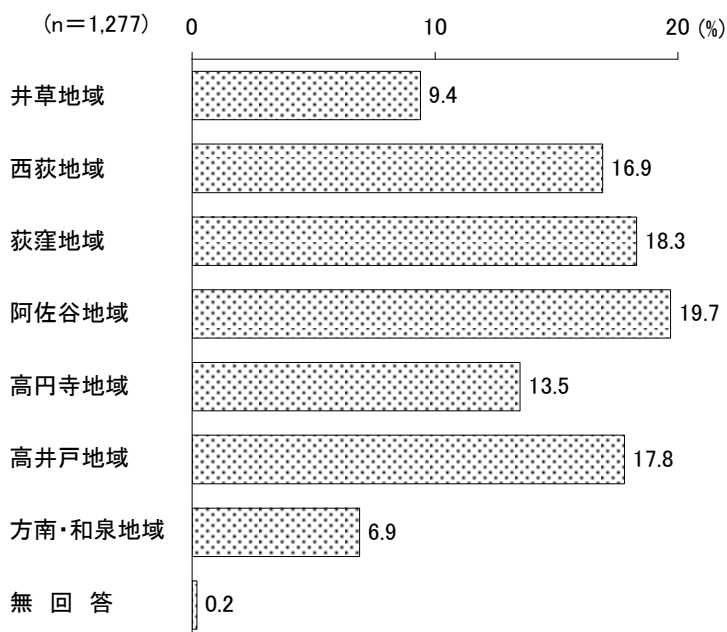


図4-9 杉並区内で利用している施設・事業の実施場所



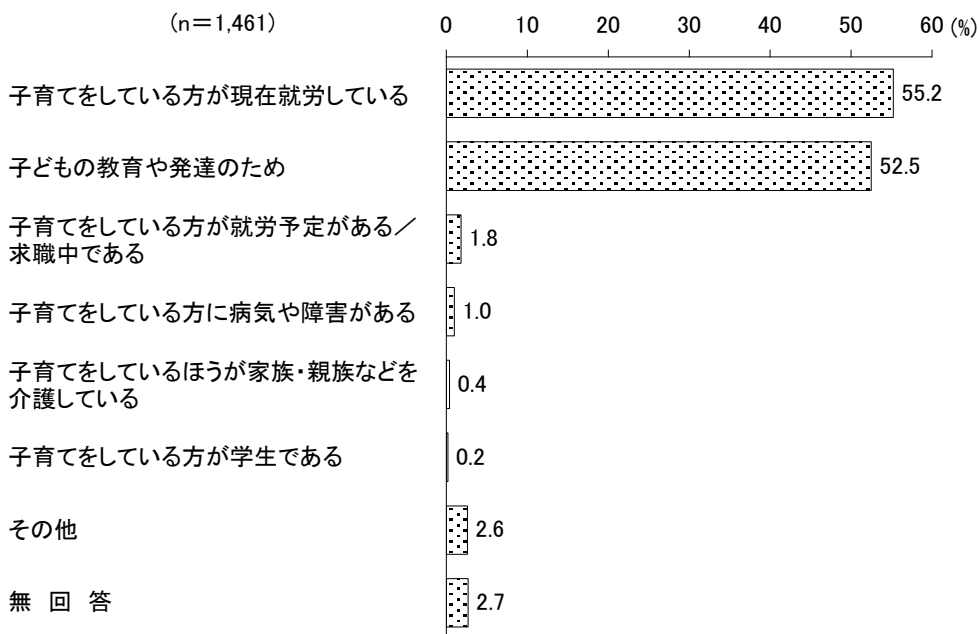
利用している施設・事業の実施場所は、「杉並区内」が87.4%、「杉並区以外」は9.9%となっている。(図4-8)

杉並区内での実施場所は、「阿佐谷地域」が19.7%で最も多く、次いで「荻窪地域」が18.3%、「高井戸地域」が17.8%と続いている。(図4-9)

(1-4) 平日に定期的に施設・事業を利用している理由

問 14-4 問 14 で「利用している」と答えた方にうかがいます。平日に定期的に施設・事業を利用されている理由についてうかがいます。(〇はいくつでも)

図 4-10

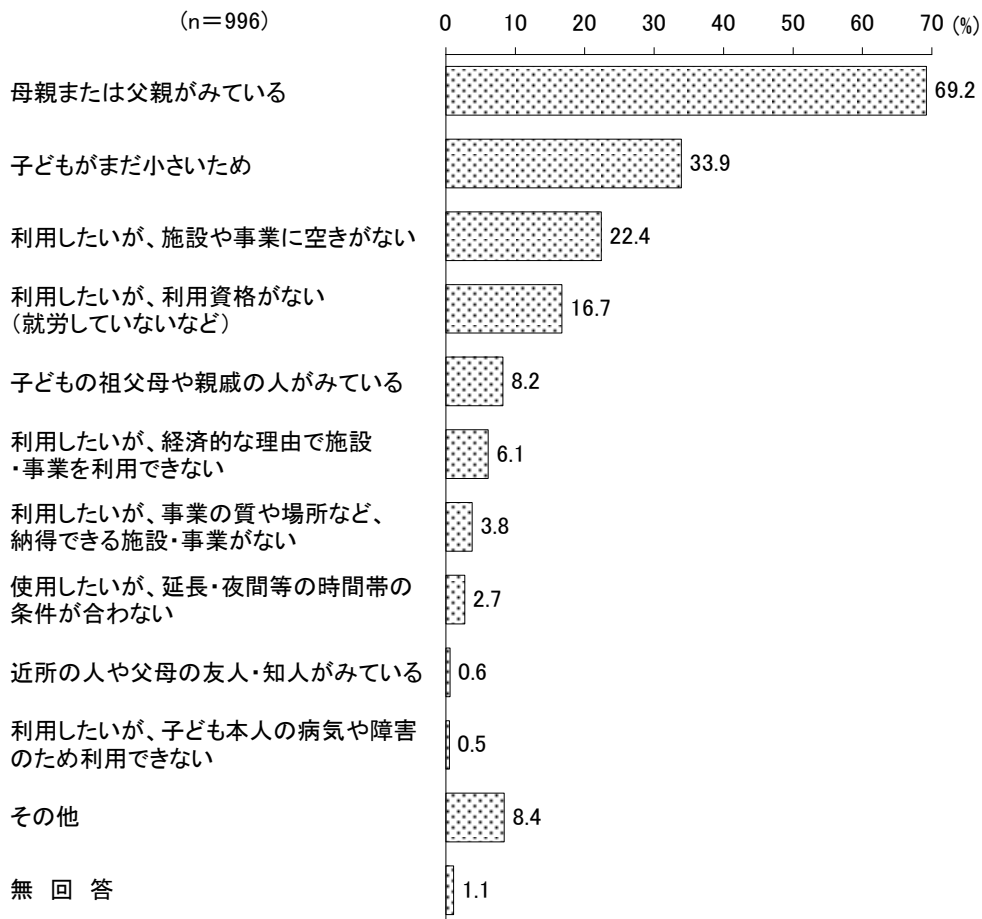


平日に定期的に施設・事業を利用している理由は、「子育てをしている方が現在就労している」が 55.2%、「子どもの教育や発達のため」が 52.5%と多くなっている。(図 4-10)

(1-5) 施設・事業を利用していない理由

問 14-5 問 14 で「利用していない」と答えた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

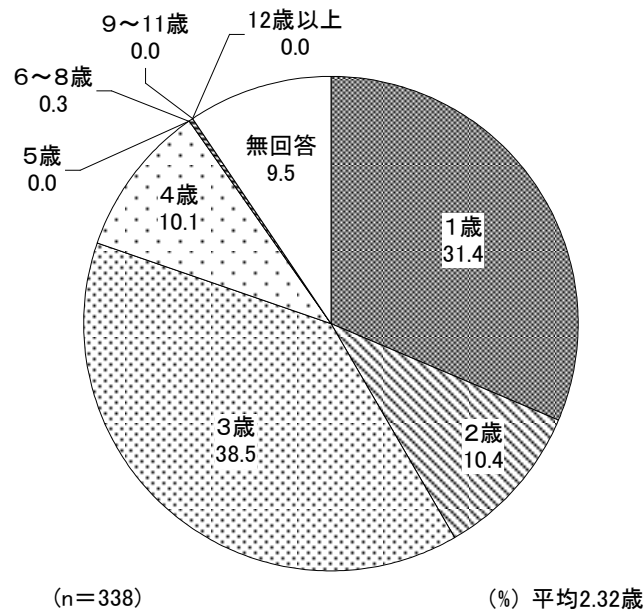
図 4-11



施設・事業を利用していない理由は、「母親または父親がみている」が 69.2%で最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため」が 33.9%、「利用したいが、施設や事業に空きがない」が 22.4%と続いている。(図 4-11)

「子どもがまだ小さいため」と答えた人が、子どもが何歳くらいになったら利用しようと考えているかは、「3歳」が38.5%で最も多く、次いで「1歳」が31.4%、「2歳」が10.4%と続いている。(図4-12)

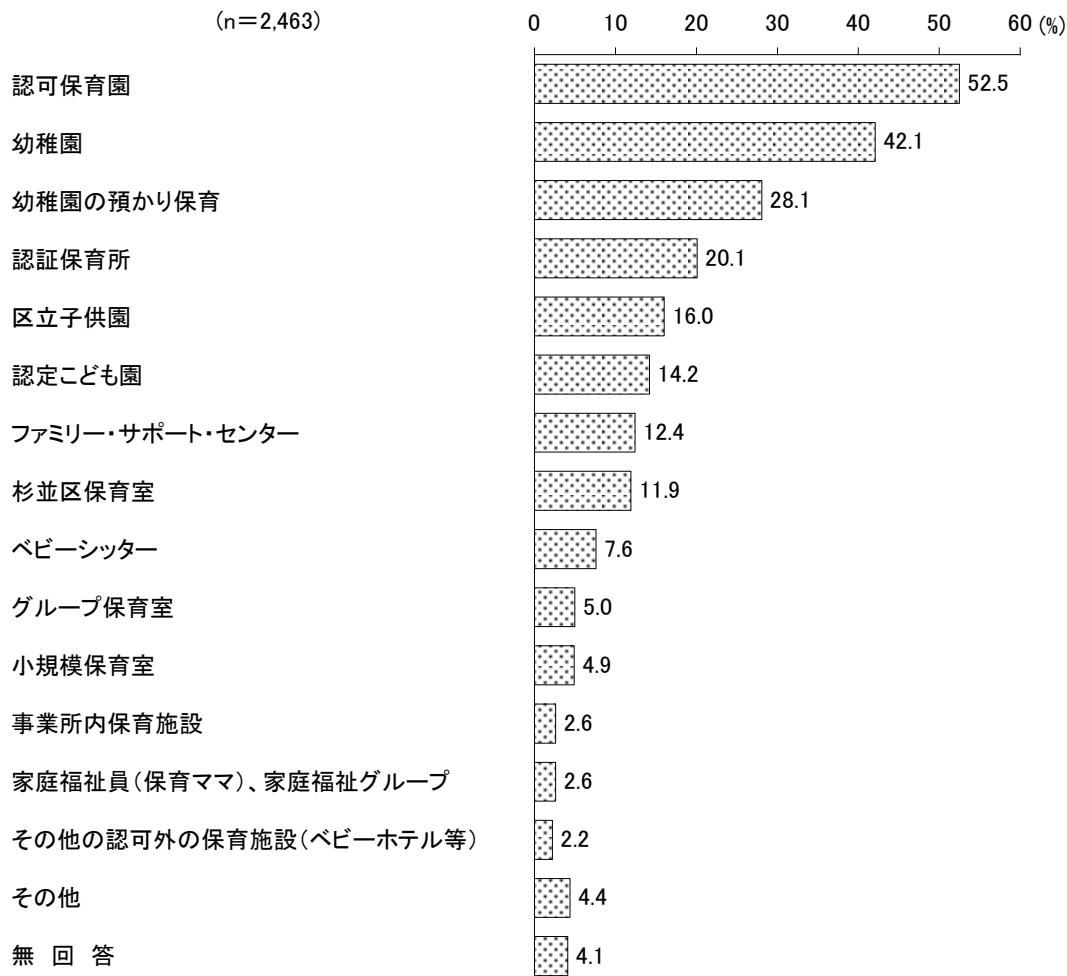
図4-12 子どもが何歳くらいになったら利用しようと考えているか



(2) 平日の施設・事業の今後の利用意向

問 15 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんについて、今後平日に、「定期的に」利用したいと考える施設・事業をお答えください。(〇はいくつでも)

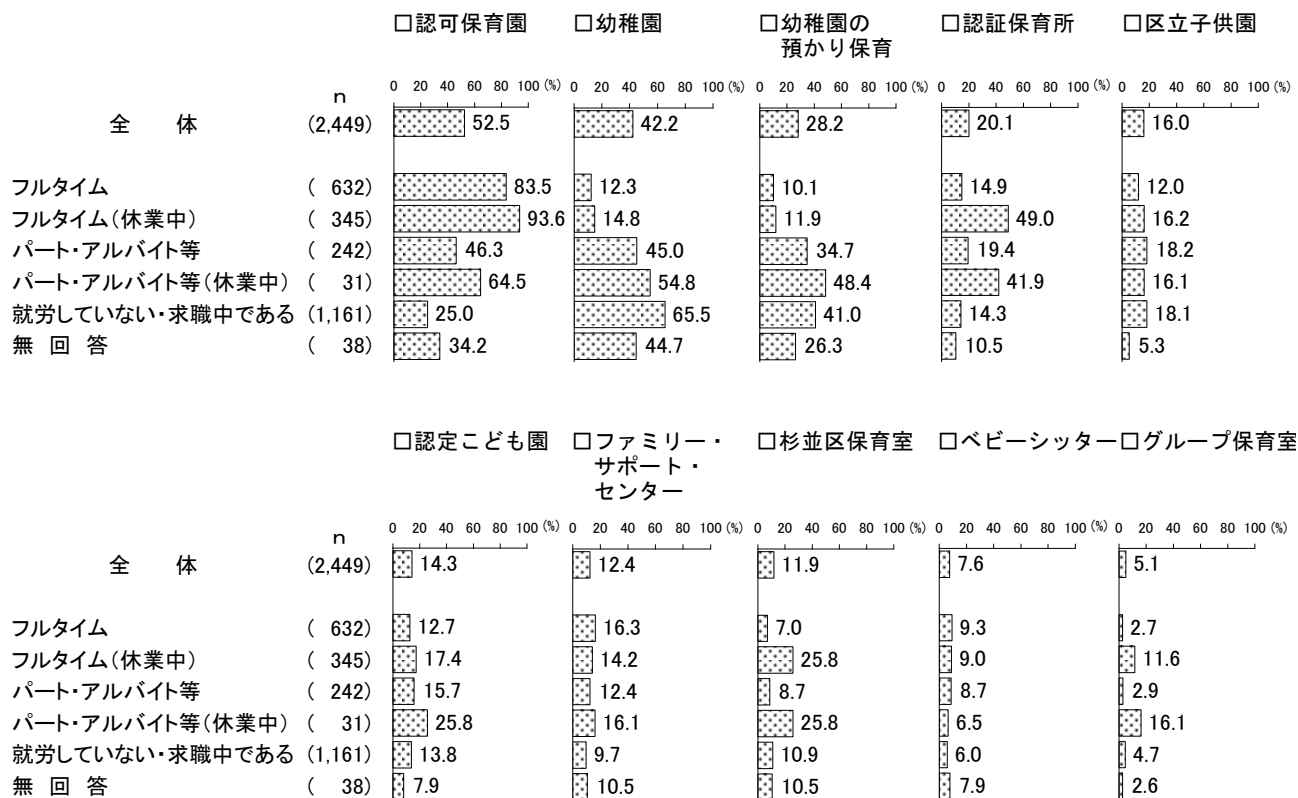
図 4-13



平日の施設・事業の今後の利用意向は、「認可保育園」が 52.5%で最も多く、次いで「幼稚園」が 42.1%、「幼稚園の預かり保育」が 28.1%と続いている。(図 4-13)

母親の就労状況別にみると、「認可保育園」は“フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である”で93.6%、“フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない”で83.5%と多くなっている。また、「幼稚園」は“就労していないまたは求職中である”で65.5%と多く、「認証保育所」は“フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である”で49.0%と多くなっている。(図4-14)

図4-14 平日の施設・事業の今後の利用意向(母親の就労状況別)(上位10項目)



(2-1) 利用したい施設・事業の実施場所

問 15-1 利用したい施設・事業の場所についてうかがいます。希望の町名をお答えください。(複数回答可)

図 4-15

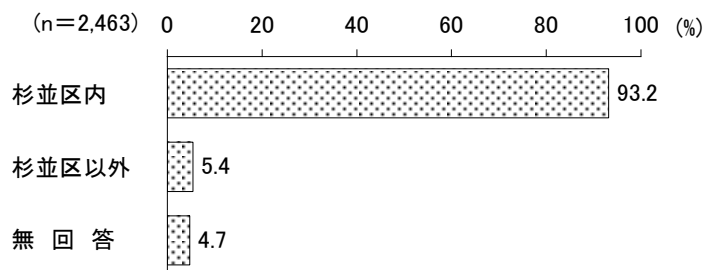
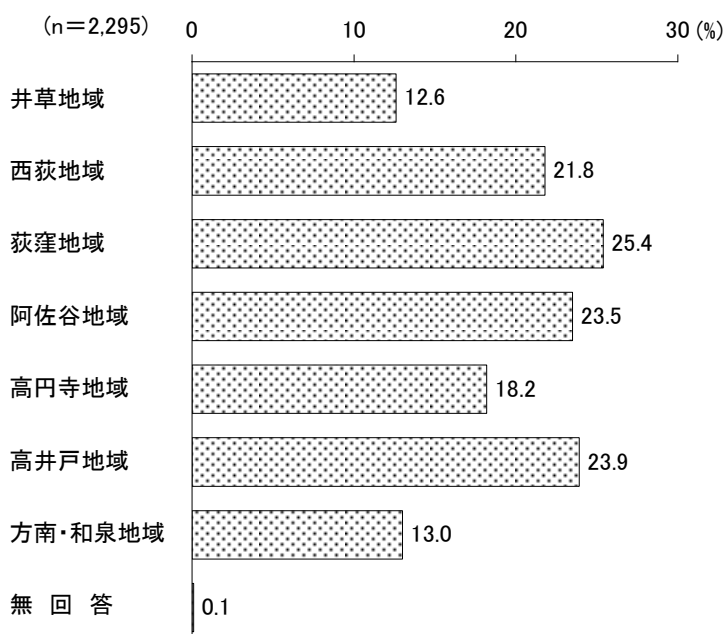


図 4-16 杉並区内で利用したい施設・事業の実施場所



利用したい施設・事業の実施場所は、「杉並区内」が 93.2%、「杉並区以外」は 5.4%となっている。(図 4-15)

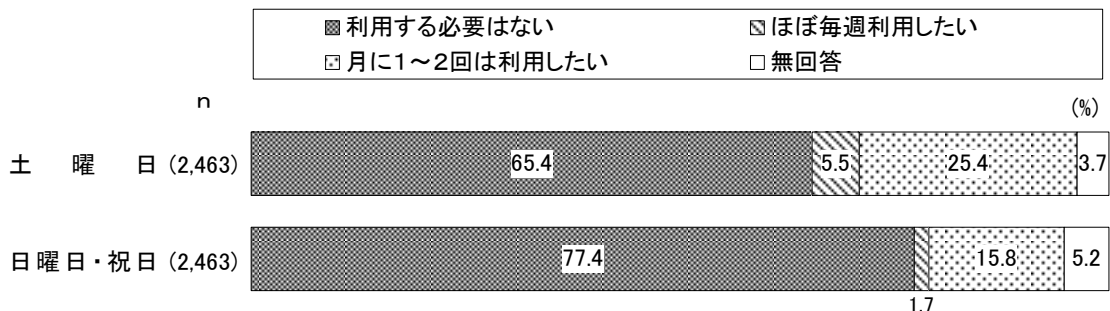
杉並区内での実施場所は、「荻窪地域」が 25.4%で最も多く、次いで「高井戸地域」が 23.9%、「阿佐谷地域」が 23.5%と続いている。(図 4-16)

5. 土曜日、休日や長期休暇中の定期的な施設・事業等の利用意向

(1) 土曜日、休日の施設・事業の利用希望

問 16 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的に利用したい施設・事業の希望はありますか（一時的な利用は除きます）。施設・事業の内容は「問 14-1」に示したものです。希望がある場合は、利用したい時間帯を24時間制でご記入ください。

図 5-1



土曜日、休日の施設・事業の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」が土曜日で5.5%、日曜日・祝日で1.7%、「月に1~2回は利用したい」が土曜日で25.4%、日曜日・祝日で15.8%となっており、利用希望は合わせて、土曜日で30.9%、日曜日・祝日で17.5%となっている。また、「利用する必要はない」は土曜日で65.4%、日曜日・祝日で77.4%と最も多くなっている。(図5-1)

「ほぼ毎週利用したい」、「月に1~2回は利用したい」と答えた人の、希望する利用開始時間は、「9時台」が土曜日で39.2%、日曜日・祝日で37.9%と最も多くなっている。(図5-2)

希望する利用終了時間は、「18時台」が土曜日で25.0%、日曜日・祝日で24.2%と最も多くなっている。(図5-3)

図 5-2 希望する利用開始時間

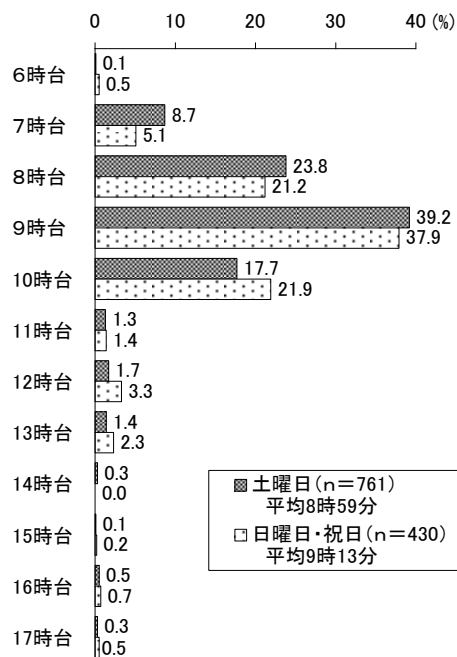
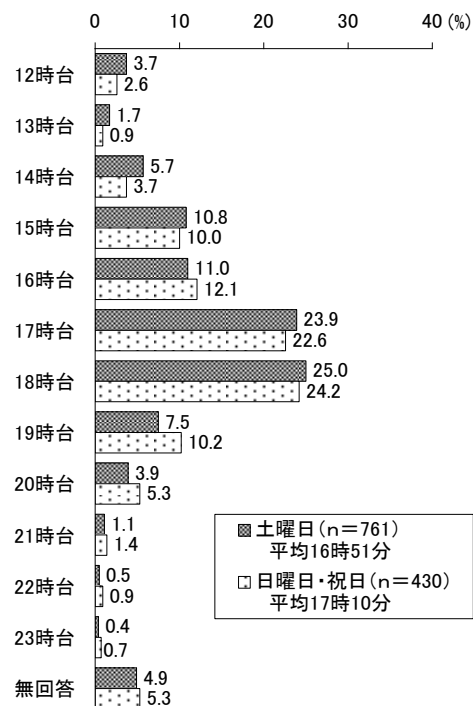


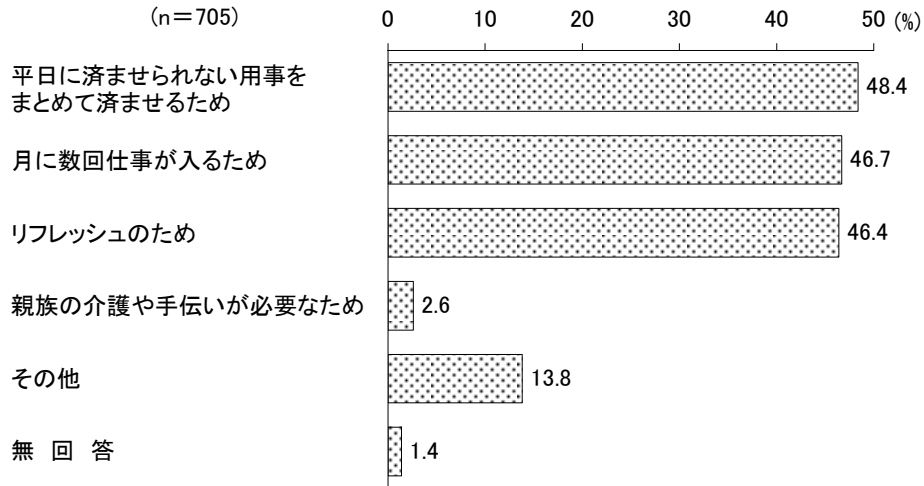
図 5-3 希望する利用終了時間



(1-1) 施設・事業をたまに利用したい理由

問16-1 問16で「月に1～2回は利用したい」と答えた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

図5-4

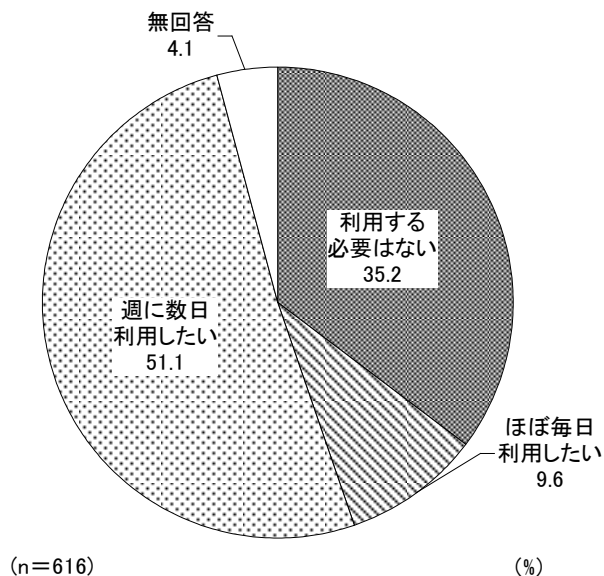


施設・事業をたまに利用したい理由は、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が48.4%で最も多く、次いで「月に数回仕事が入るため」が46.7%、「リフレッシュのため」が46.4%と続いている。(図5-4)

(2) 幼稚園・区立子供園が長期休暇期間中の際の施設・事業の利用希望

問 17 問 14-1で「幼稚園」「区立子供園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の施設・事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯をお答えください。

図 5-5



幼稚園・区立子供園が長期休暇期間中の際の施設・事業の利用希望は、「ほぼ毎日利用したい」は9.6%、「週に数日利用したい」が51.1%となっており、利用希望は合わせて60.7%となっている。一方、「利用する必要はない」は35.2%となっている。(図5-5)

「ほぼ毎日利用したい」、「週に数日利用したい」と答えた人の、希望する利用開始時間は、「9時台」が62.8%で最も多く、次いで「10時台」が19.5%と続いている。(図5-6)

希望する利用終了時間は、「15時台」が25.4%で最も多く、次いで「14時台」が24.3%と続いている。(図5-7)

図 5-6 希望する利用開始時間

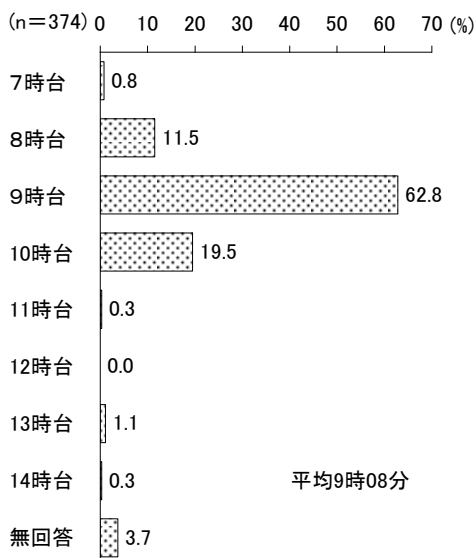
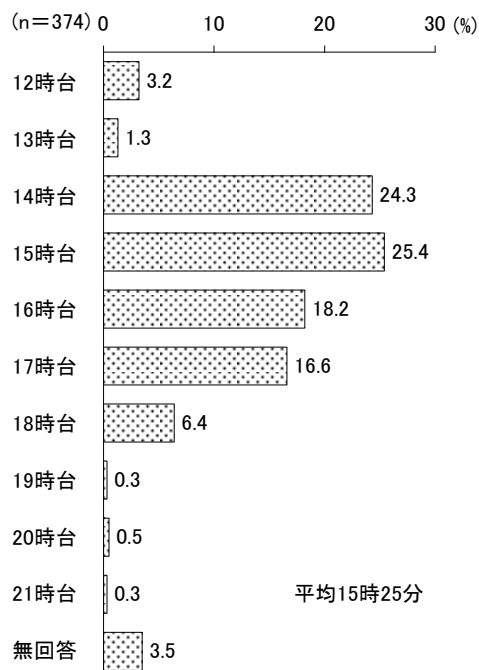


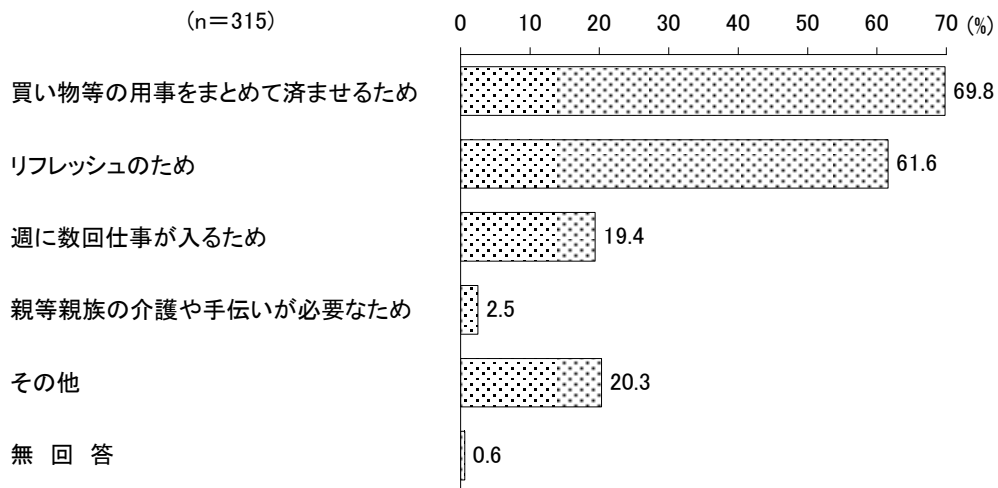
図 5-7 希望する利用終了時間



(2-1) 長期休暇期間中に施設・事業をたまに利用したい理由

問 17-1 問 17 で「週に数日利用したい」と答えた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

図 5-8



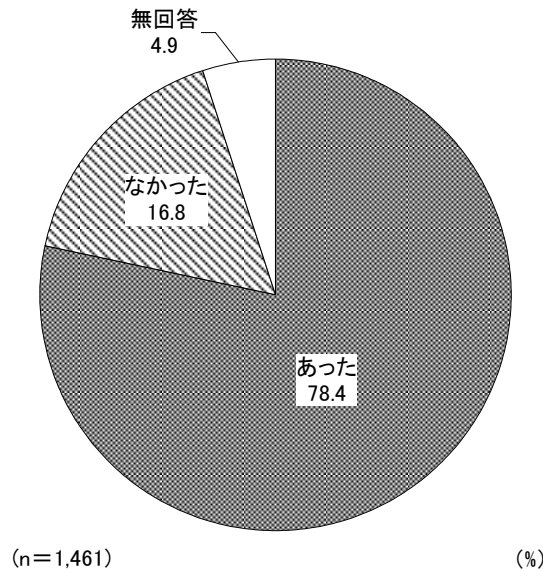
長期休暇期間中に施設・事業をたまに利用したい理由は、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が 69.8%で最も多く、次いで「リフレッシュのため」が 61.6%、「週に数回仕事が入るため」が 19.4%と続いている。(図 5-8)

6. 子どもの病気の際の対応

(1) 子どもが病気やケガで通常の施設・事業が利用できなかった経験の有無

問 18 平日に定期的に施設・事業を利用していると答えた保護者の方（問 14 で「利用している」と答えた方）にうかがいます。この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の施設・事業が利用できなかったことはありますか。

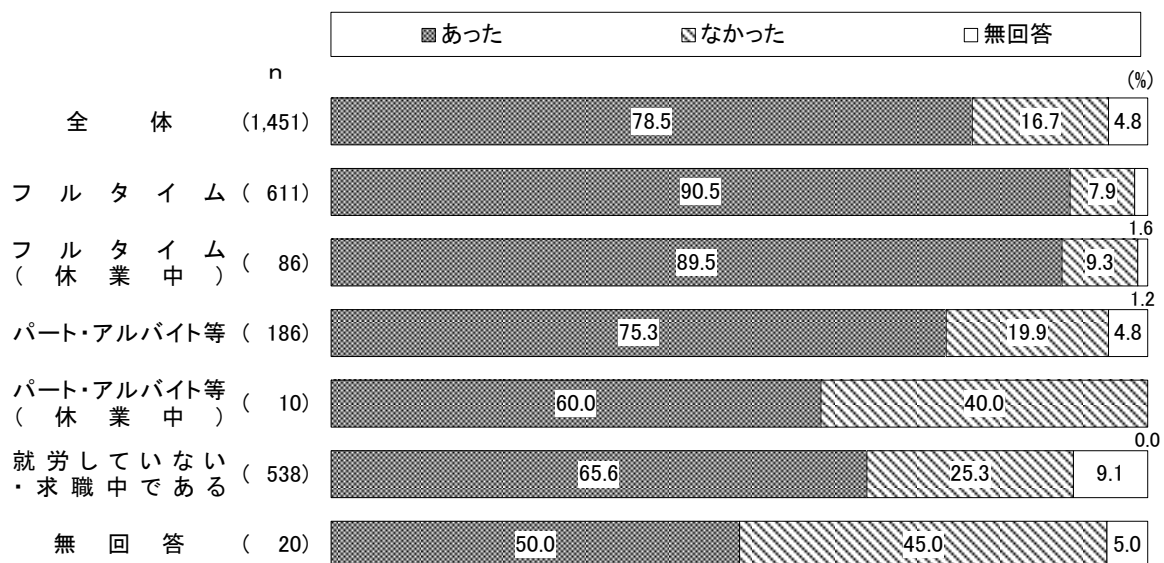
図 6 - 1



子どもが病気やケガで通常の施設・事業が利用できなかった経験の有無は、「あった」が 78.4%、「なかった」は 16.8%となっている。(図 6 - 1)

母親の就労状況別にみると、「あった」は“フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない”で 90.5%、“フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である”で 89.5%と多くなっている。(図 6 - 2)

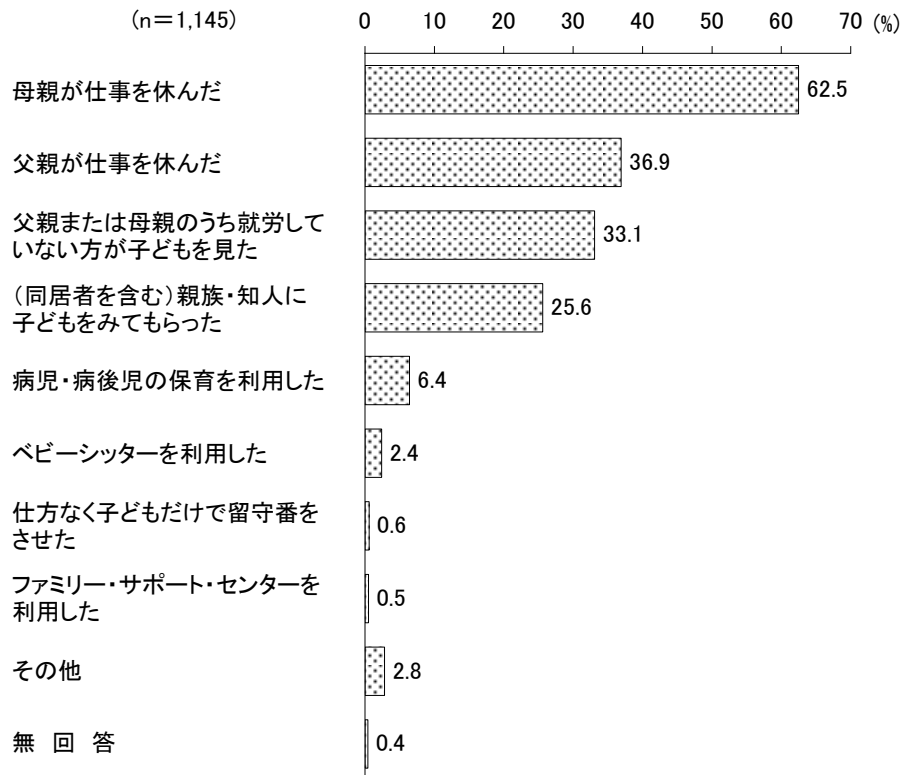
図6-2 子どもが病気やケガで通常の施設・事業が利用できなかった経験の有無(母親の就労状況別)



(1-1) 施設・事業が利用できなかったときの対応

問 18-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している施設・事業が利用できなかった場合に、この1年間にとった行動として当てはまるものをお答えください。それぞれの日数もお答えください。

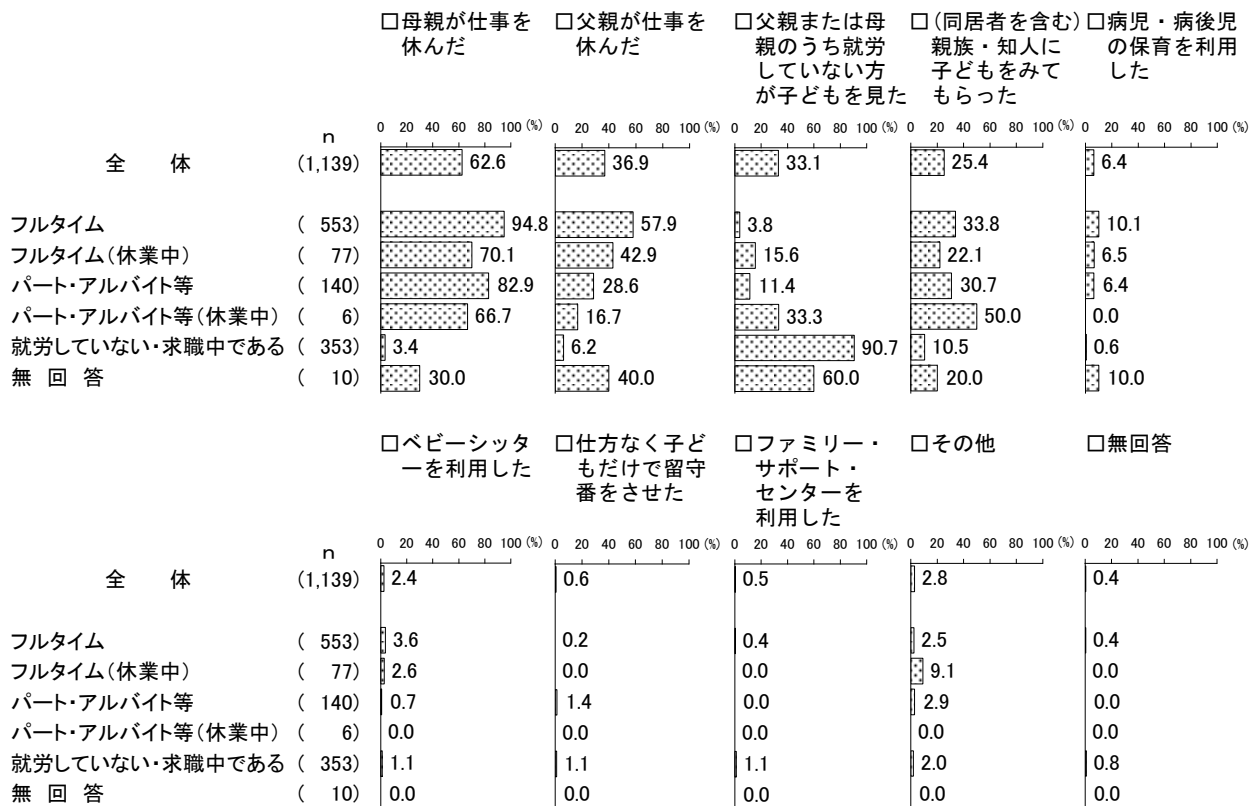
図 6-3



施設・事業が利用できなかったときの対応は、「母親が仕事を休んだ」が 62.5%で最も多く、次いで「父親が仕事を休んだ」が 36.9%、「父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た」が 33.1%と続いている。(図 6-3)

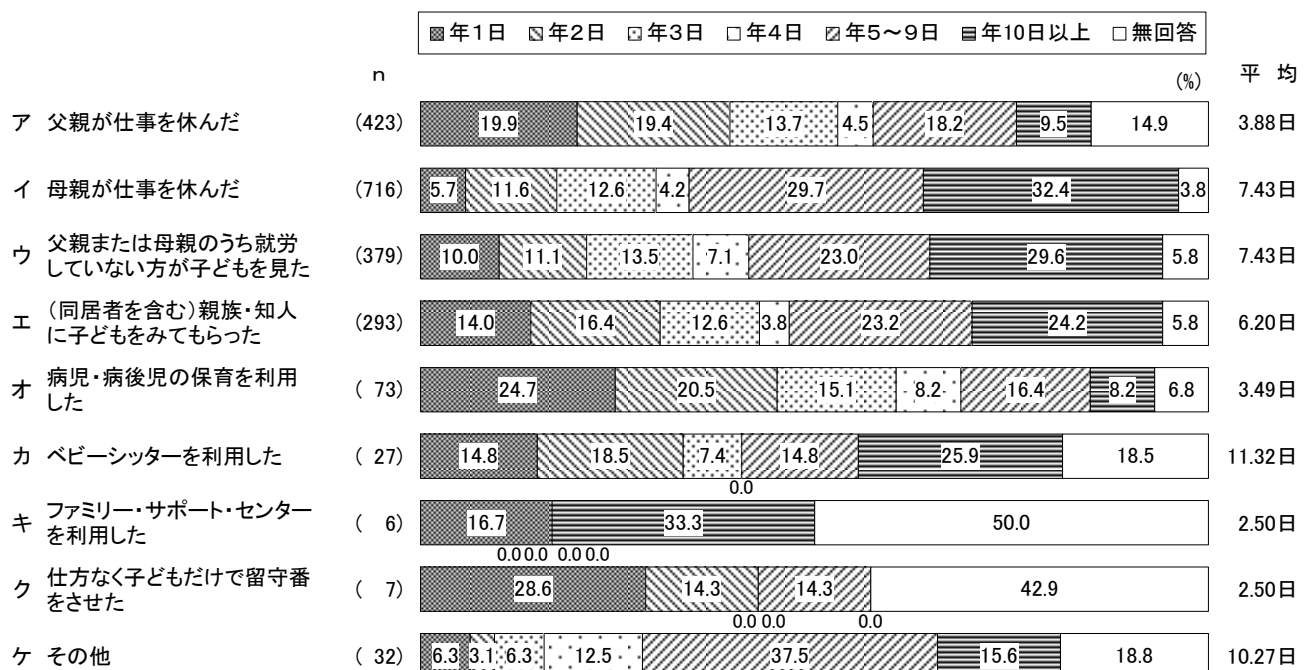
母親の就労状況別にみると、「母親が仕事を休んだ」は“フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない”で94.8%と多く、「父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た」は“就労していないまたは求職中である”で90.7%と多くなっている。(図6-4)

図6-4 施設・事業が利用できなかったときの対応（母親の就労状況別）



施設・事業が利用できなかったときの対応日数は、「年10日以上」は“母親が仕事を休んだ”で32.4%、“父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た”で29.6%と多くなっている。(図6-5)

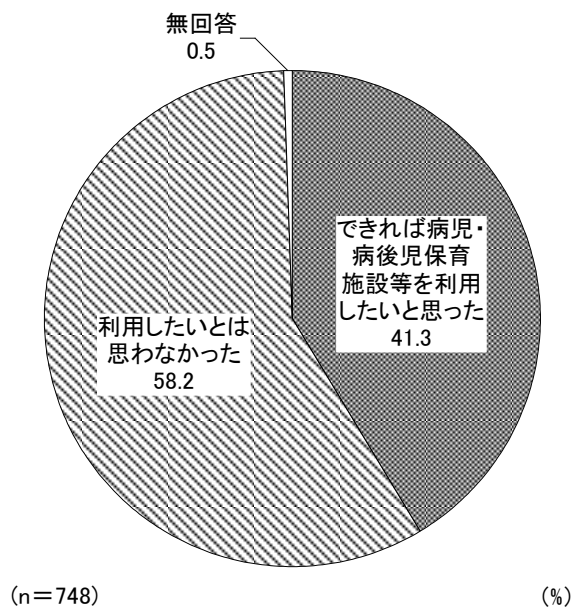
図6-5 施設・事業が利用できなかったときの対応日数



(1-2) 病児・病後児のための保育施設等の利用希望

問 18-2 問 18-1 で「父親が仕事を休んだ」「母親が仕事を休んだ」のいずれかに回答した方にかかっています。子どもの病気やケガで父親または母親が休んだ際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

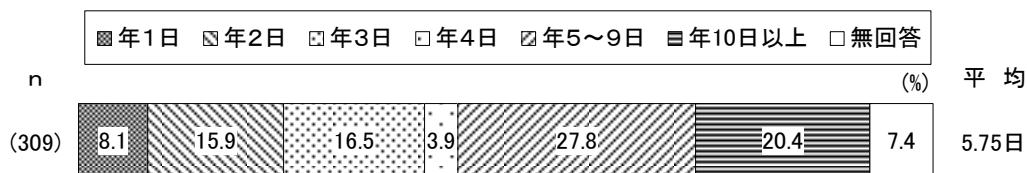
図 6-6



病児・病後児のための保育施設等の利用希望は、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思った」は 41.3%、「利用したいとは思わなかった」が 58.2%となっている。(図 6-6)

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思った」と答えた人の、利用希望日数は、「年 5～9 日」が 27.8%で最も多く、次いで「年 10 日以上」が 20.4%、「年 3 日」が 16.5%と続いている。(図 6-7)

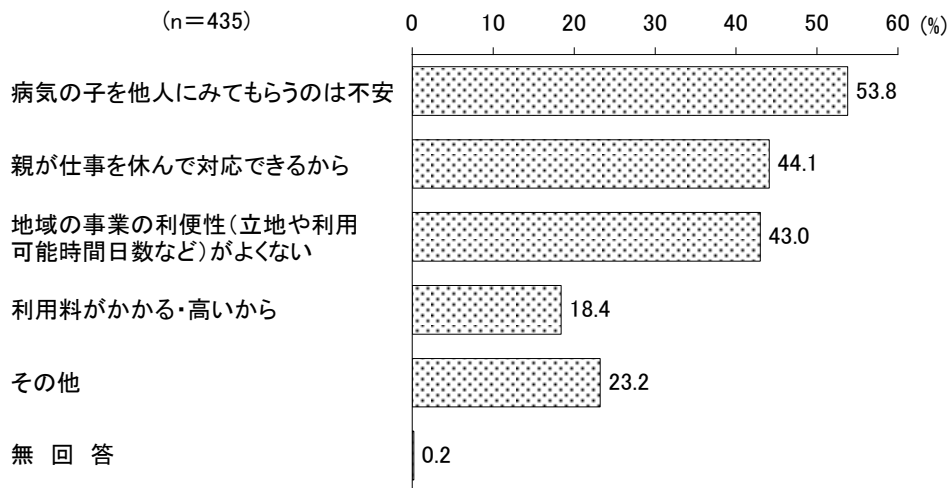
図 6-7 病児・病後児のための保育施設等の利用希望日数



(1-3) 病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由

問 18-3 問 18-2 で「利用したいとは思わなかった」と答えた方にうかがいます。そう思われる理由についてお答えください。(〇はいくつでも)

図 6-8

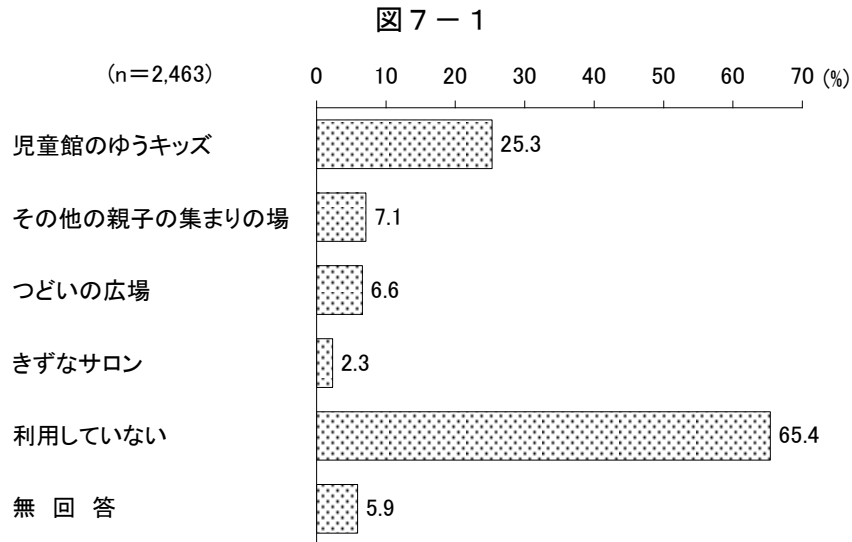


病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由は、「病気の子を他人にみてもらうのは不安」が 53.8%で最も多く、次いで「親が仕事を休んで対応できるから」が 44.1%、「地域の事業の利便性(立地や利用可能時間日数など)がよくない」が 43.0%と続いている。(図 6-8)

7. 地域での親子の集りの利用状況

(1) 親子が集まって過ごす事業の利用状況

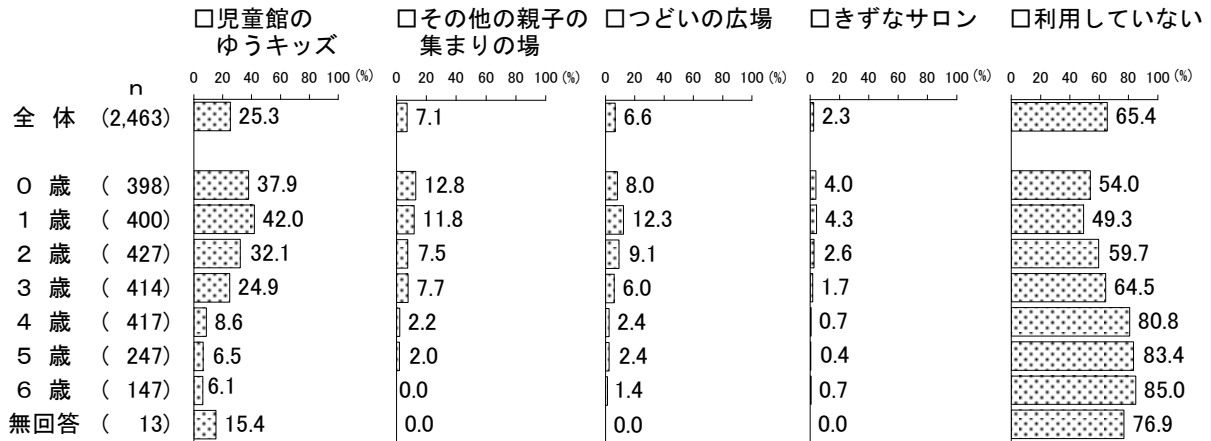
問 19 宛名のお子さんは、現在、親子が集まって過ごす、以下の事業を利用していますか。
(○はいくつでも) おおよその利用回数もお答えください。



親子が集まって過ごす事業の利用状況は、利用している中では「児童館のゆうキッズ」が 25.3% で最も多く、次いで「その他の親子の集まりの場」が 7.1%、「つどいの広場」が 6.6%と続いている。一方、「利用していない」は 65.4%となっている。(図 7 - 1)

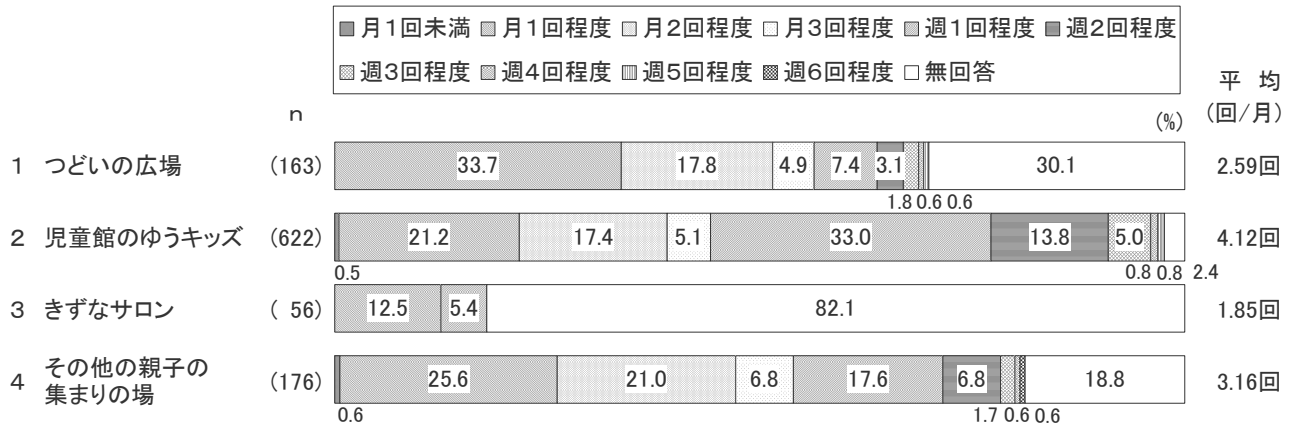
子どもの年齢別にみると、すべての事業においておおむね子どもの年齢が下がるにつれて多くなっており、「児童館のゆうキッズ」は1歳で42.0%と多くなっている。(図7-2)

図7-2 親子が集まって過ごす事業の利用状況(子どもの年齢別)



利用している人の利用頻度は、「週1回程度」は児童館のゆうキッズで33.0%と多くなっている。また、「月1回程度」はつどいの広場で33.7%、その他の親子の集まりの場で25.6%と多くなっている。(図7-3)

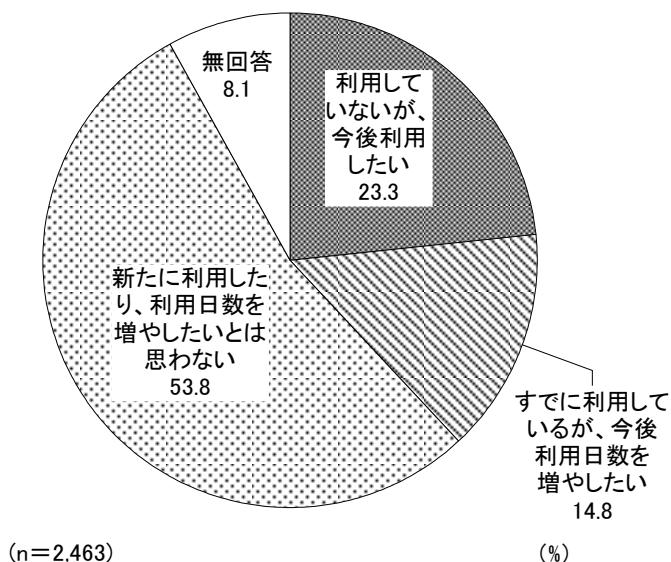
図7-3 親子が集まって過ごす事業の利用頻度



(2) 乳幼児親子の集りの場の今後の利用意向

問 20 問 19 のような乳幼児親子の集りの場について、今は利用していないができれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。(〇はひとつだけ) また、おおよその利用回数を回答してください。

図 7-4



乳幼児親子の集りの場の今後の利用意向は、「利用していないが、今後利用したい」が 23.3%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」は 14.8%となっている。一方、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 53.8%となっている。(図 7-4)

子どもの年齢別にみると、「利用していないが、今後利用したい」は 0 歳で 39.2%と多くなっている。一方、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」はおおむね子どもの年齢が上がるにつれて多くなっており、5 歳では 70.9%、6 歳では 70.1%となっている。(図 7-5)

「利用していないが、今後利用したい」と答えた人の、今後利用したい日数は、「月 1 回程度」と「週 1 回程度」がともに 31.3%で多くなっている。

「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と答えた人の、増やしたい利用日数は、「週 1 回程度」が 39.7%で最も多く、次いで「週 2 回程度」が 21.4%と続いている。(図 7-6)

図 7-5 乳幼児親子の集りの場の今後の利用意向（子どもの年齢別）

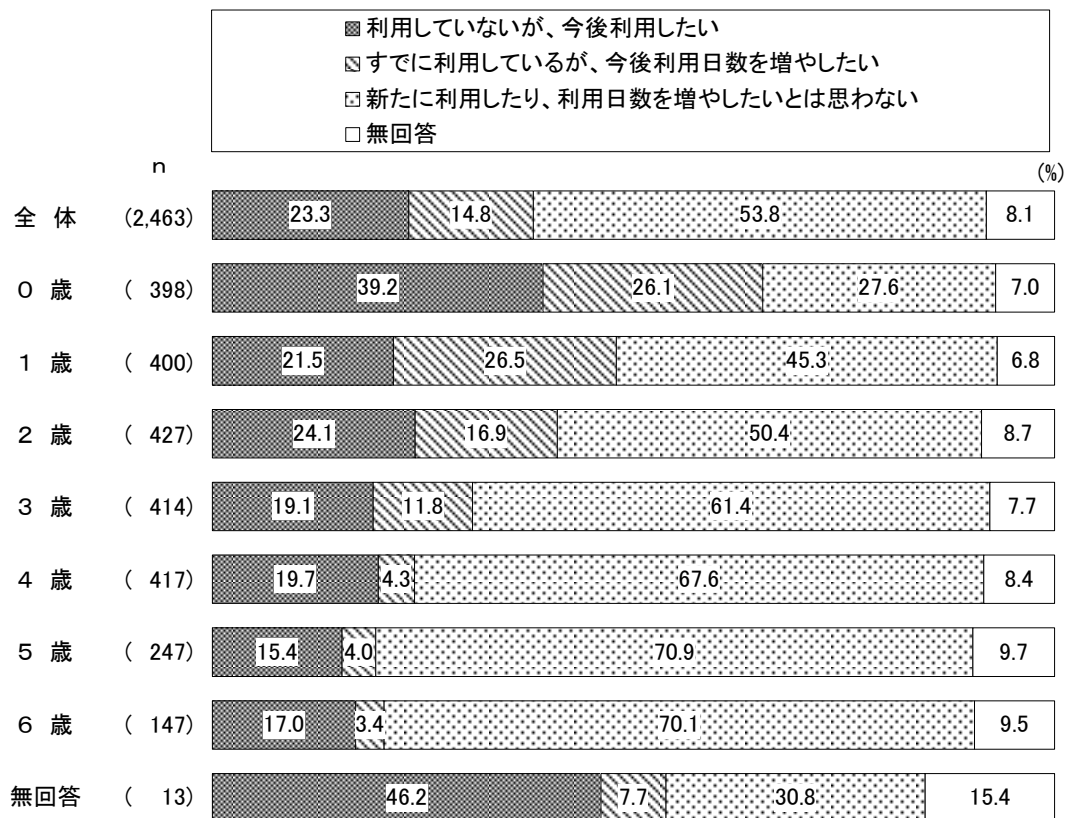
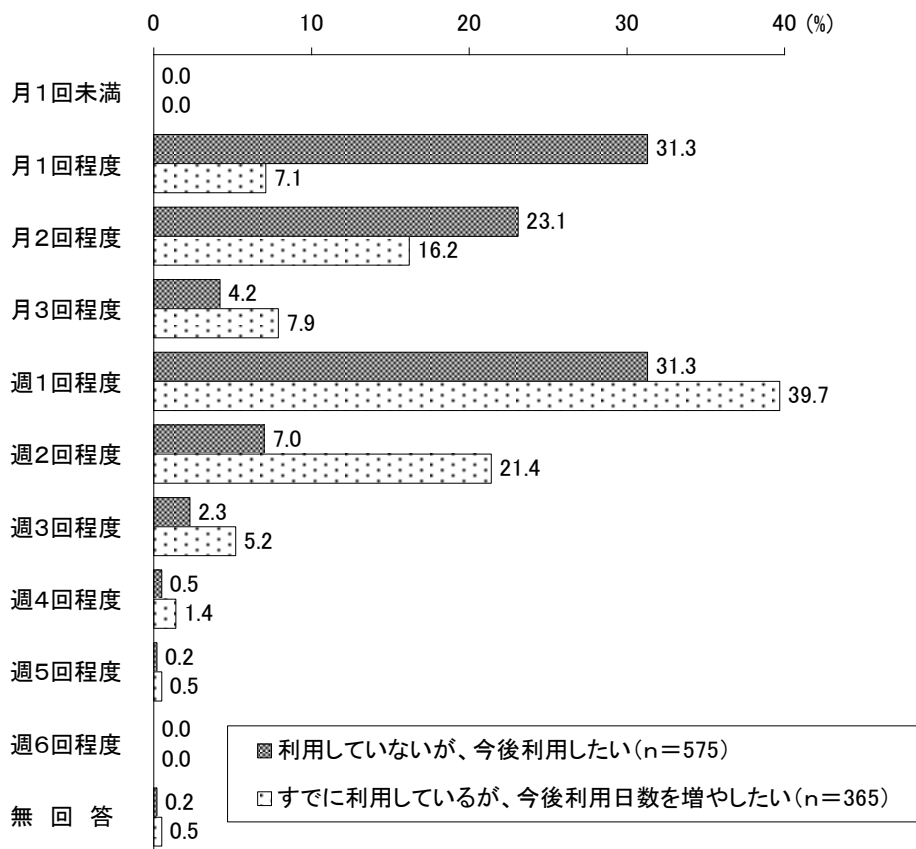
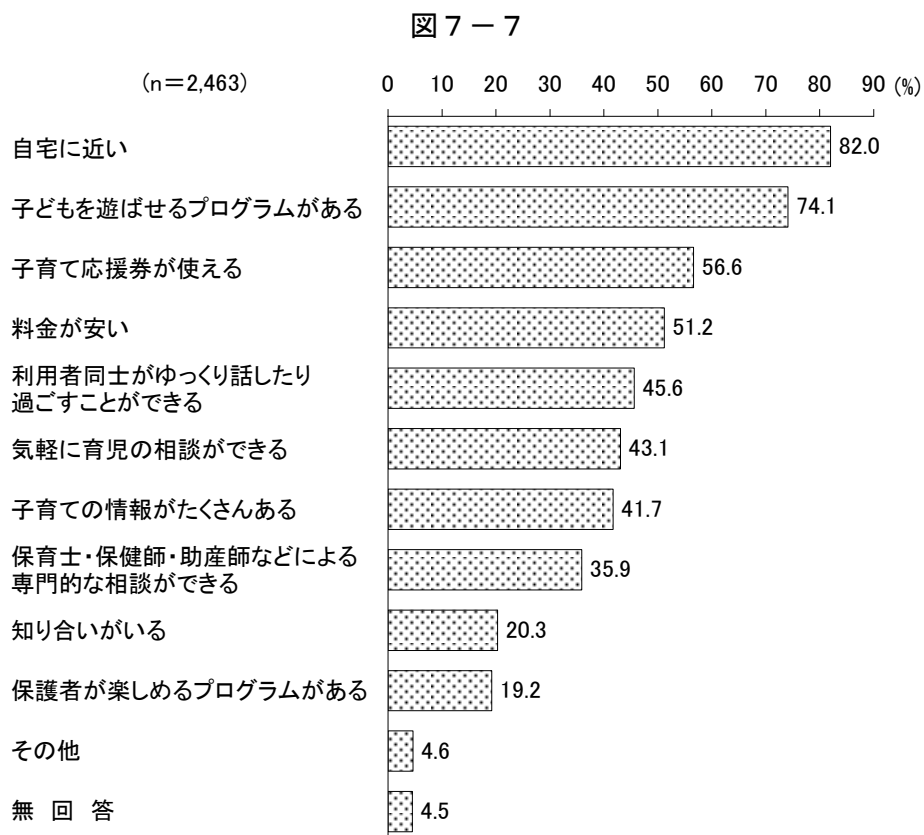


図 7-6 今後利用したい日数と増やしたい利用日数



(3) 乳幼児親子の集りを利用する際に大事なこと

問 21 乳幼児親子の集まりを利用する際に、大事だと思う点はどのようなことですか。(〇はいくつでも)



乳幼児親子の集りを利用する際に大事なことは、「自宅に近い」が82.0%で最も多く、次いで「子どもを遊ばせるプログラムがある」が74.1%、「子育て応援券が使える」が56.6%と続いている。

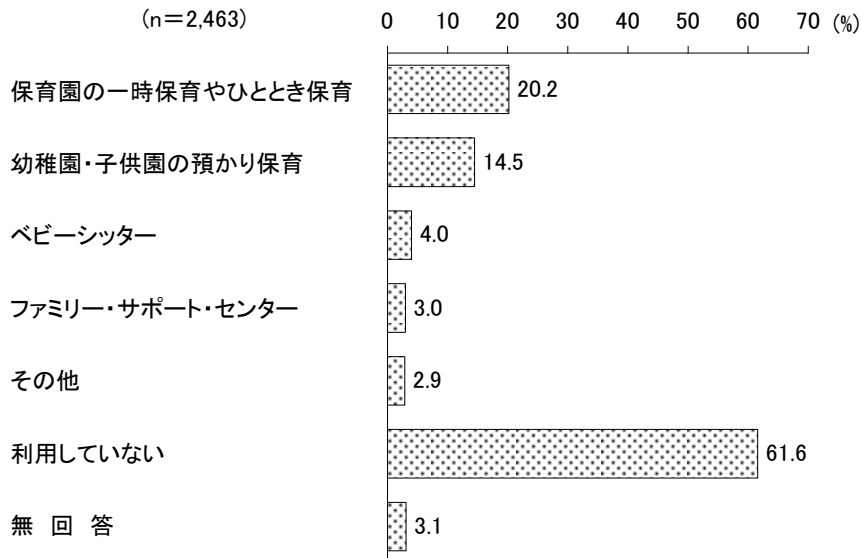
(図 7-7)

8. 一時預かり等の利用状況

(1) 不定期に利用している預かり事業

問 22 宛名のお子さんについて、保護者の私用（買い物、リフレッシュ等）、通院、不規則の就労等の目的で、不定期に利用している預かり事業はありますか。（○はいくつでも）1年間の利用日数（おおよそ）も回答してください。

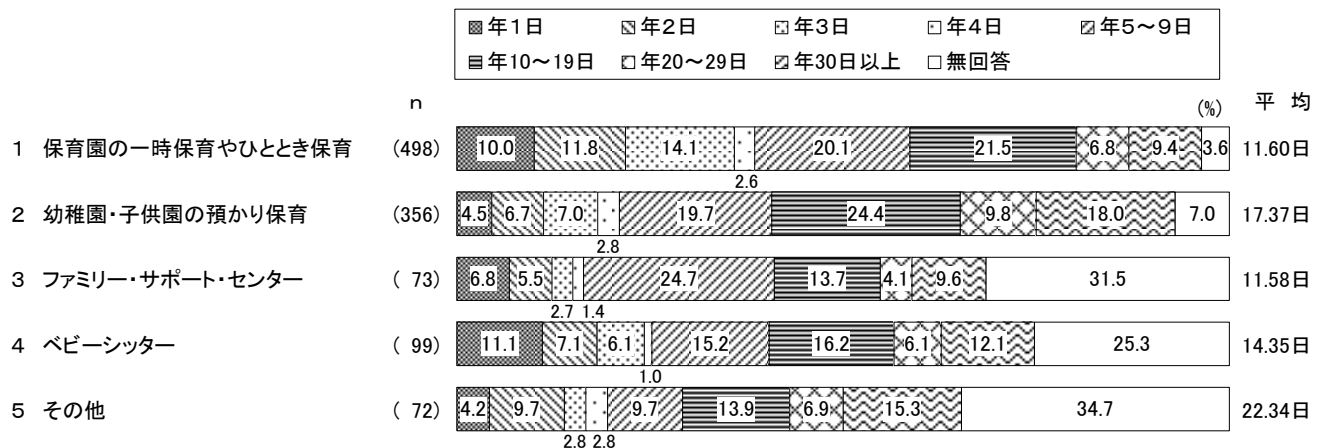
図 8 - 1



不定期に利用している預かり事業は、利用している中では「保育園の一時保育やひととき保育」が 20.2%で最も多く、次いで「幼稚園・子供園の預かり保育」が 14.5%、「ベビーシッター」が 4.0%と続いている。一方、「利用していない」は 61.6%となっている。（図 8 - 1）

不定期に預かり事業を利用している人の1年間の利用日数は、「年 30 日以上」が幼稚園・子供園の預かり保育で 18.0%と多くなっている。（図 8 - 2）

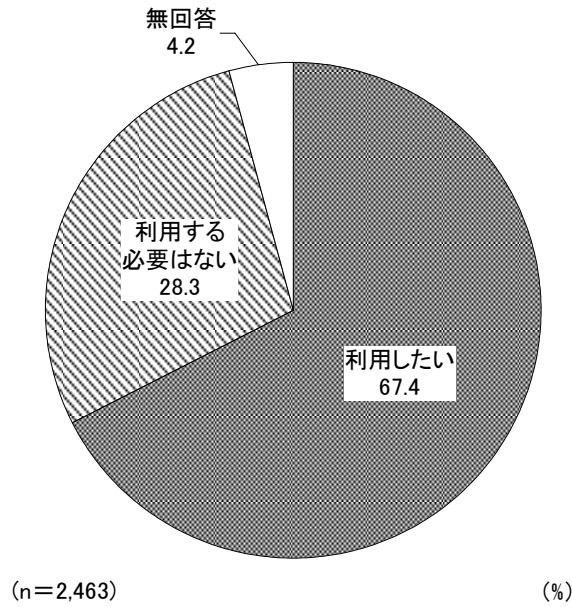
図 8 - 2 利用日数



(2) 不定期の預かり事業の利用希望

問 23 宛名のお子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無、目的別の必要な日数を回答してください

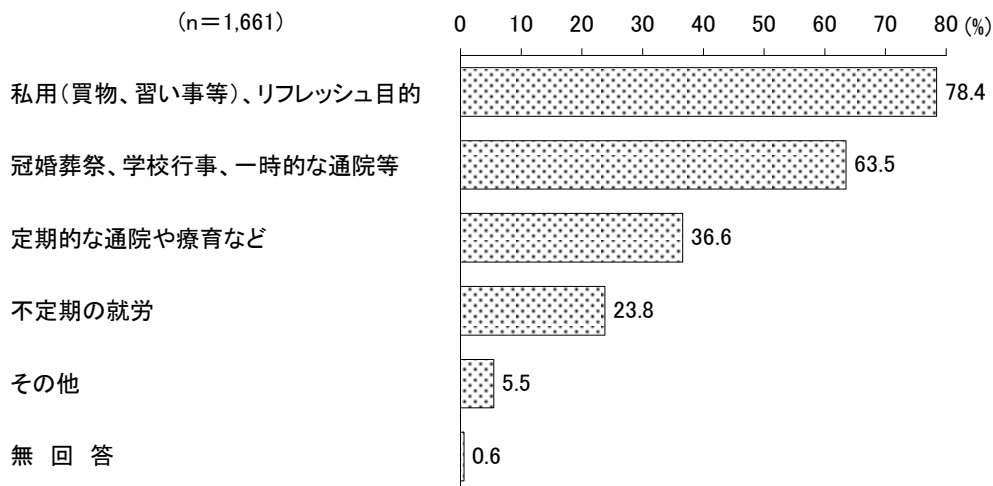
図 8 - 3



不定期の預かり事業の利用希望は、「利用したい」が 67.4%、「利用する必要はない」は 28.3% となっている。(図 8 - 3)

「利用したい」と答えた人の利用目的は、「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」が78.4%で最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、一時的な通院等」が63.5%、「定期的な通院や療育など」が36.6%と続いている。（図8-4）

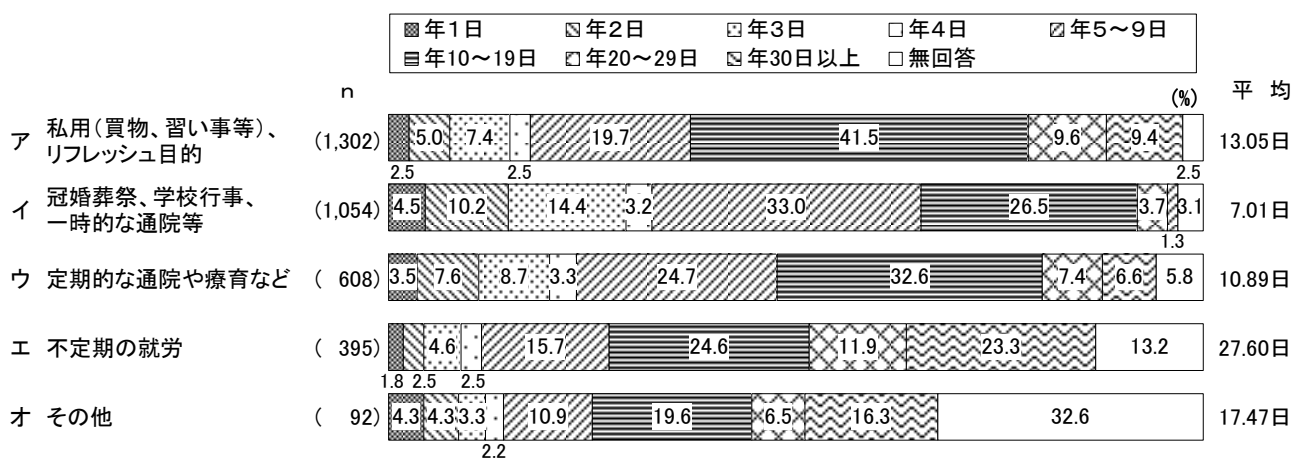
図8-4 利用目的



「利用したい」と答えた人の1年間の利用希望日数は、「年30日以上」が不定期の就労で23.3%と多く、「年10~19日」は私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的で41.5%と多くなっている。

（図8-5）

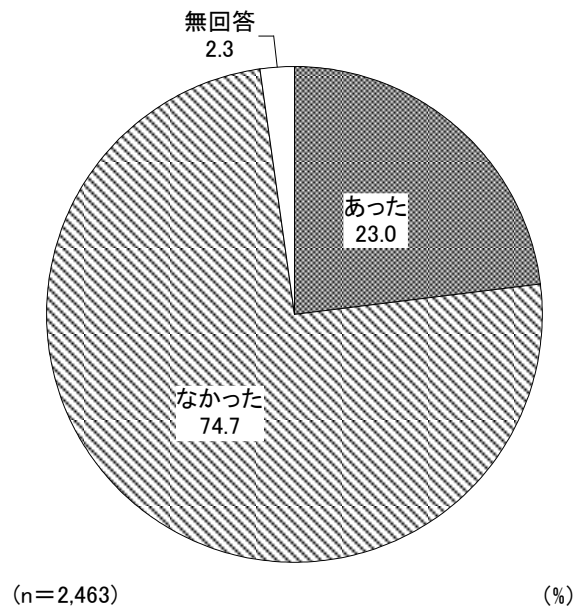
図8-5 利用希望日数



(3) この1年間に宿泊を伴って子どもを預けた経験の有無

問 24 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。あった場合は、この1年間にとった行動として当てはまる内容と、それぞれの日数もお答えください。

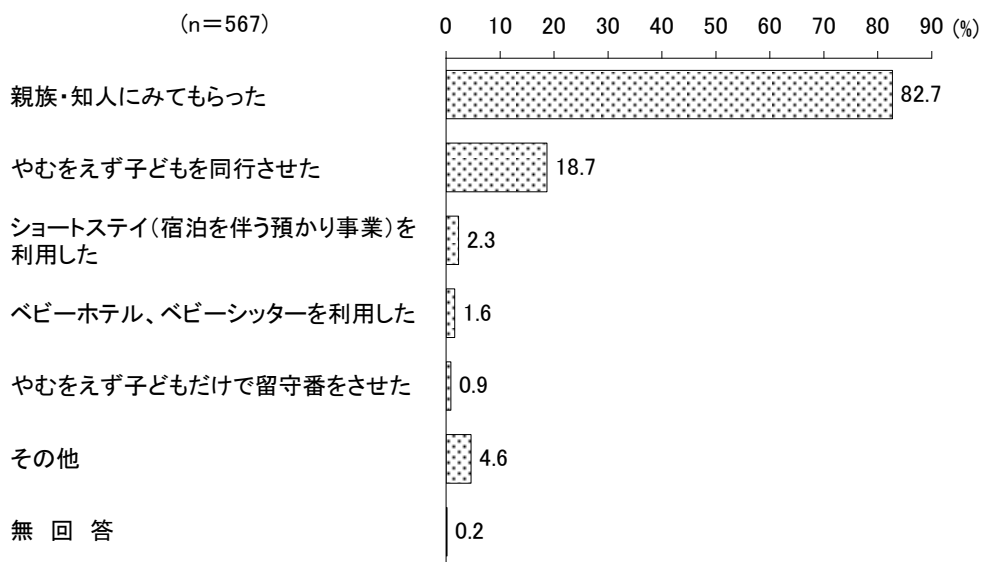
図 8 - 6



この1年間に宿泊を伴って子どもを預けた経験の有無は、「あった」は 23.0%、「なかった」が 74.7%となっている。(図 8 - 6)

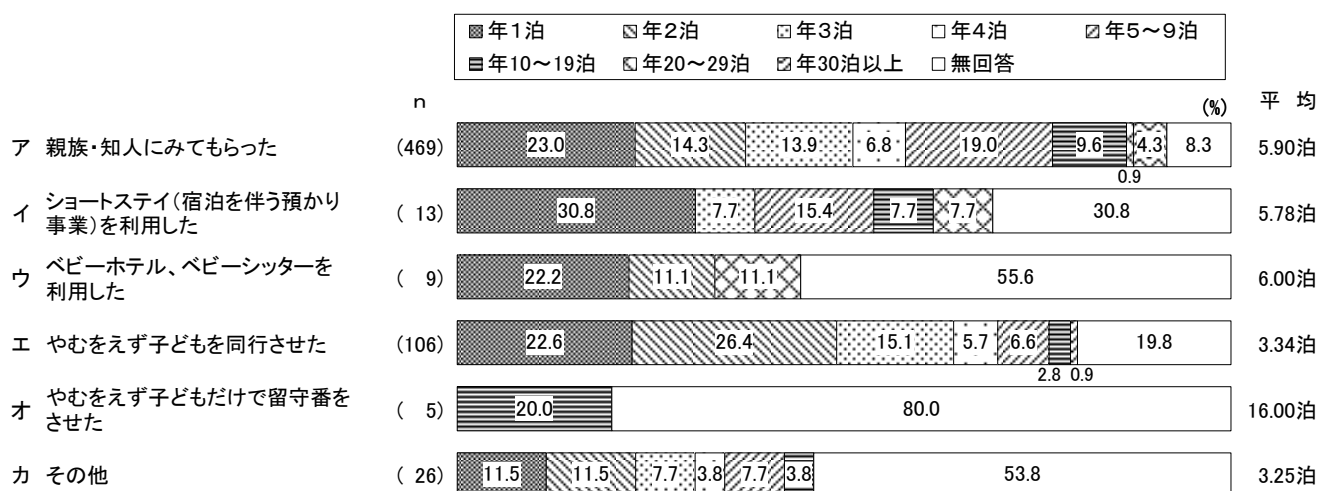
この1年間に宿泊を伴って子どもを預けた経験が「あった」と答えた人の、その際の行動は、「親族・知人にみてもらった」が82.7%で最も多く、次いで「やむをえず子どもを同行させた」が18.7%と続いている。(図8-7)

図8-7 この1年間に宿泊を伴って子どもを預けた際の行動



この1年間に宿泊を伴って子どもを預けた経験が「あった」と答えた人の、子どもを預けた日数は、「年2泊」が「やむをえず子どもを同行させた」で26.4%と多く、「年1泊」は「ショートステイ(宿泊を伴う預かり事業)を利用した」で30.8%と多くなっている。(図8-8)

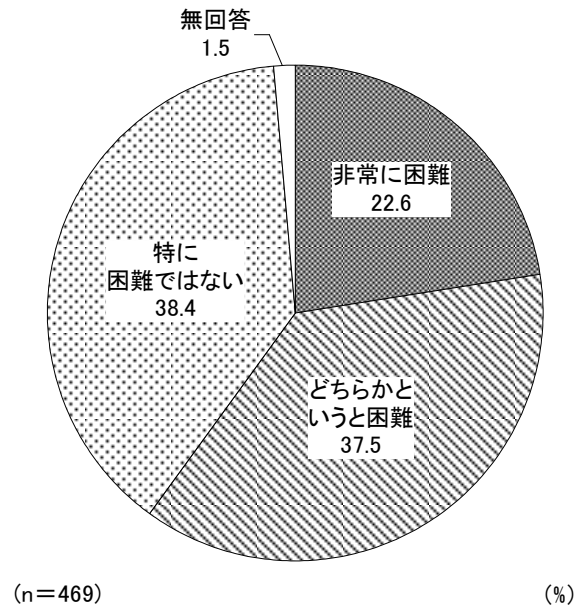
図8-8 子どもを預けた日数



(3-1) 子どもを泊まりがけで親族・知人に預けた際の困難度

問 24-1 問 24 で「あった、親族・知人にみてもらった」と答えた方にかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。(○は1つだけ)

図 8-9

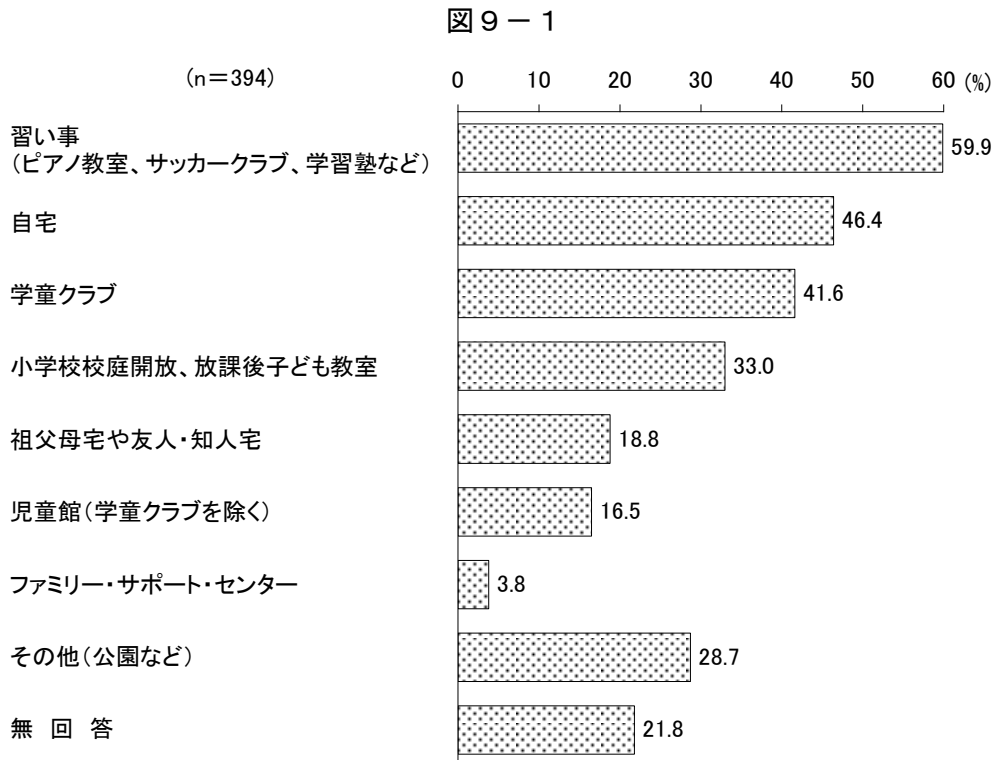


子どもを泊まりがけで親族・知人に預けた際の困難度は、「非常に困難」は22.6%、「どちらかという困難」が37.5%となっており、困難と感じる人は合わせて60.1%となっている。一方、「特に困難ではない」は38.4%となっている。(図8-9)

9. 子どもの小学校就学後の放課後の過ごし方

(1) 希望する放課後の過ごし方

問 25 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。1～4年生と5～6年生それぞれに希望する内容とともに、週当たり日数をお答えください。

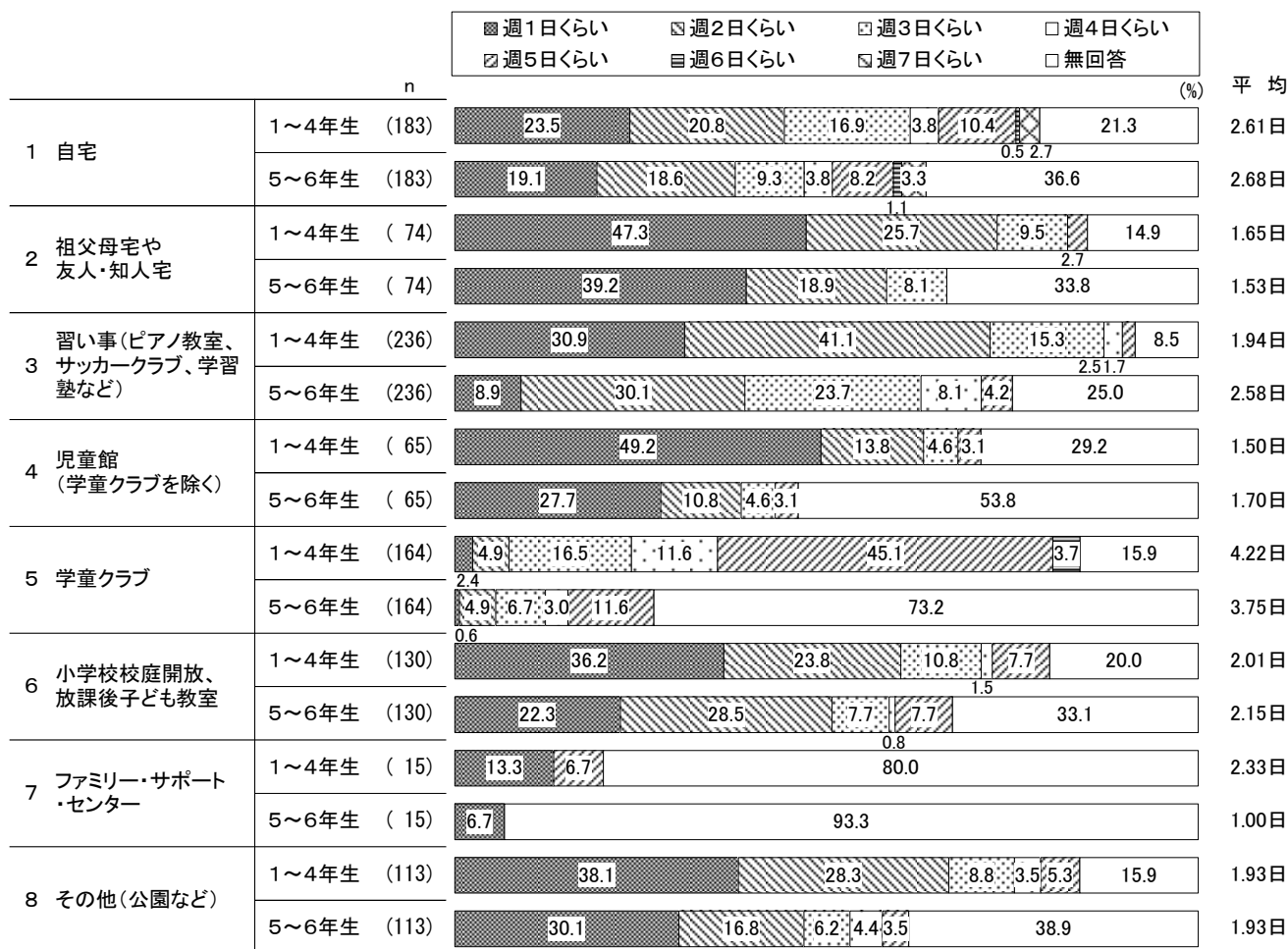


希望する放課後の過ごし方は、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 59.9% で最も多く、次いで「自宅」が 46.4%、「学童クラブ」が 41.6%と続いている。(図 9 - 1)

1週当たりの希望日数は、1～4年生では「週1日くらい」が“児童館（学童クラブを除く）”で49.2%、“祖父母宅や友人・知人宅”で47.3%と多くなっている。また、「週2日くらい」は“習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）”で41.1%と多く、「週5日くらい」が“学童クラブ”で45.1%と多くなっている。

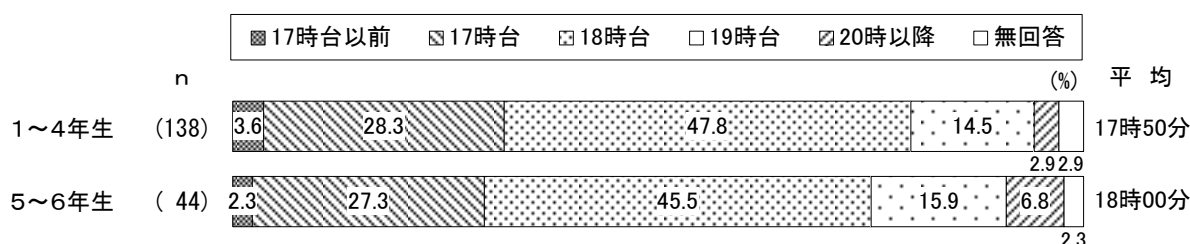
5～6年生では「週1日くらい」が“祖父母宅や友人・知人宅”で39.2%、“その他（公園など）”で30.1%と多くなっている。また、「週2日くらい」は“習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）”で30.1%と多くなっている。（図9-2）

図9-2 希望日数



希望する放課後の過ごし方で「学童クラブ」と答えた人が、下校時から何時まで利用を希望するかは、「18時台」が1～4年生で47.8%、5～6年生で45.5%と最も多く、次いで「17時台」が1～4年生で28.3%、5～6年生で27.3%と続いている。（図9-3）

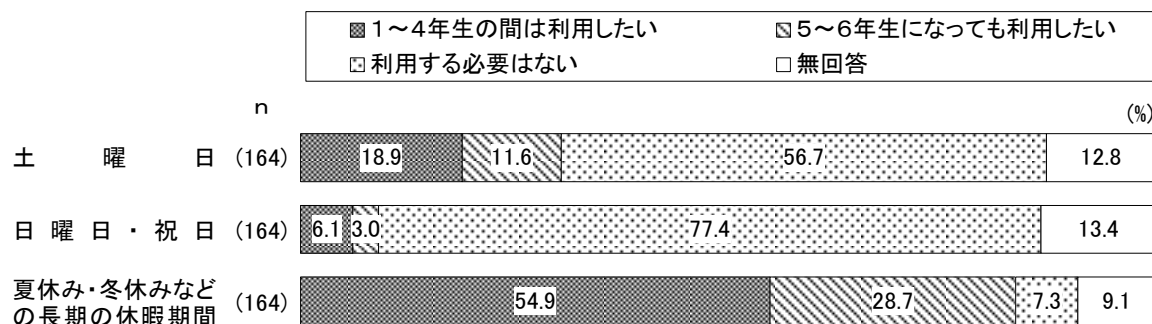
図9-3 学童クラブの利用希望時間



(2) 学童クラブの土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の利用希望

問 26 問 25 で「学童クラブ」と答えた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、夏休みや冬休みなどの長期休暇中の、学童クラブの利用希望はありますか。それぞれについて、回答してください。また利用したい時間帯を、24 時間制で回答してください。

図 9 - 4



学童クラブの土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の利用希望は、「利用する必要はない」が土曜日で56.7%、日曜日・祝日で77.4%と多くなっている。また、「1~4年生の間は利用したい」は夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間で54.9%と多くなっている。(図9-4)

「1～4年生の間は利用したい」、「5～6年生になっても利用したい」と答えた人の、希望する利用開始時間は、「8時台」が土曜日で36.0%、日曜日・祝日で33.3%、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間で46.0%と、それぞれ最も多くなっている。(図9-5)

希望する利用終了時間は、「18時台」が土曜日で34.0%、日曜日・祝日で40.0%、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間で45.3%と、それぞれ最も多くなっている。(図9-6)

図9-5 希望する利用開始時間

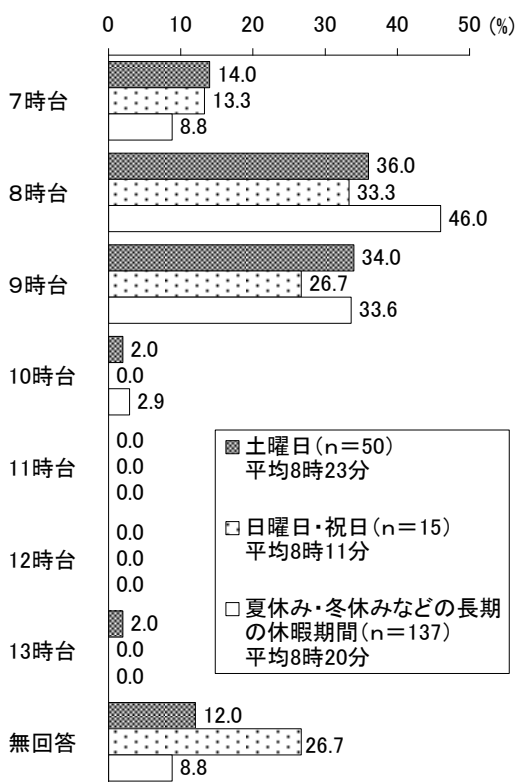
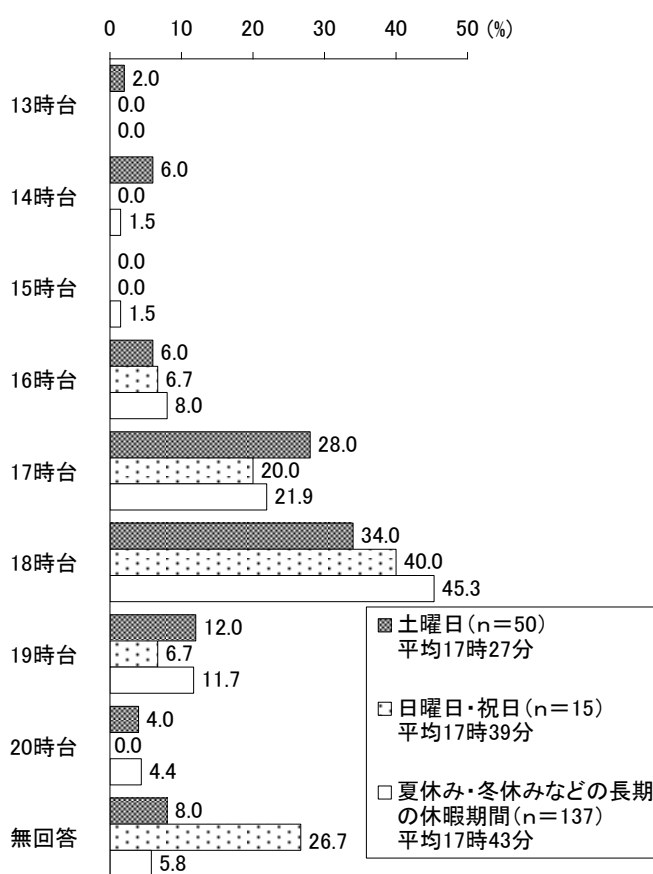


図9-6 希望する利用終了時間

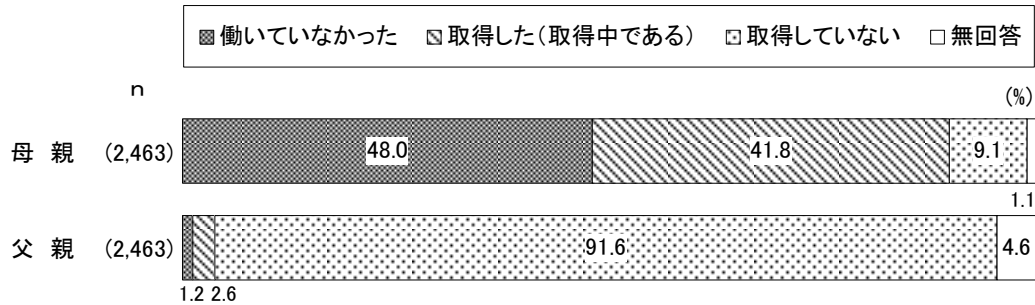


10. 育児休業や短時間勤務制度などの利用状況

(1) 育児休業の取得状況

問 27 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

図 10-1



育児休業の取得状況は、母親では「取得した（取得中である）」が41.8%、「取得していない」は9.1%となっている。また、「働いていなかった」は48.0%となっている。

父親では「取得した（取得中である）」が2.6%、「取得していない」は91.6%となっている。また、「働いていなかった」は1.2%となっている。（図 10-1）

子どもの年齢別にみると、母親では「取得した（取得中である）」はおおむね子どもの年齢が下がるにつれて多くなっており、0歳では50.8%となっている。

父親では「取得していない」がすべての年齢で9割台となっている。（図 10-2・3）

図 10-2 育児休業の取得状況（子どもの年齢別）【母親】

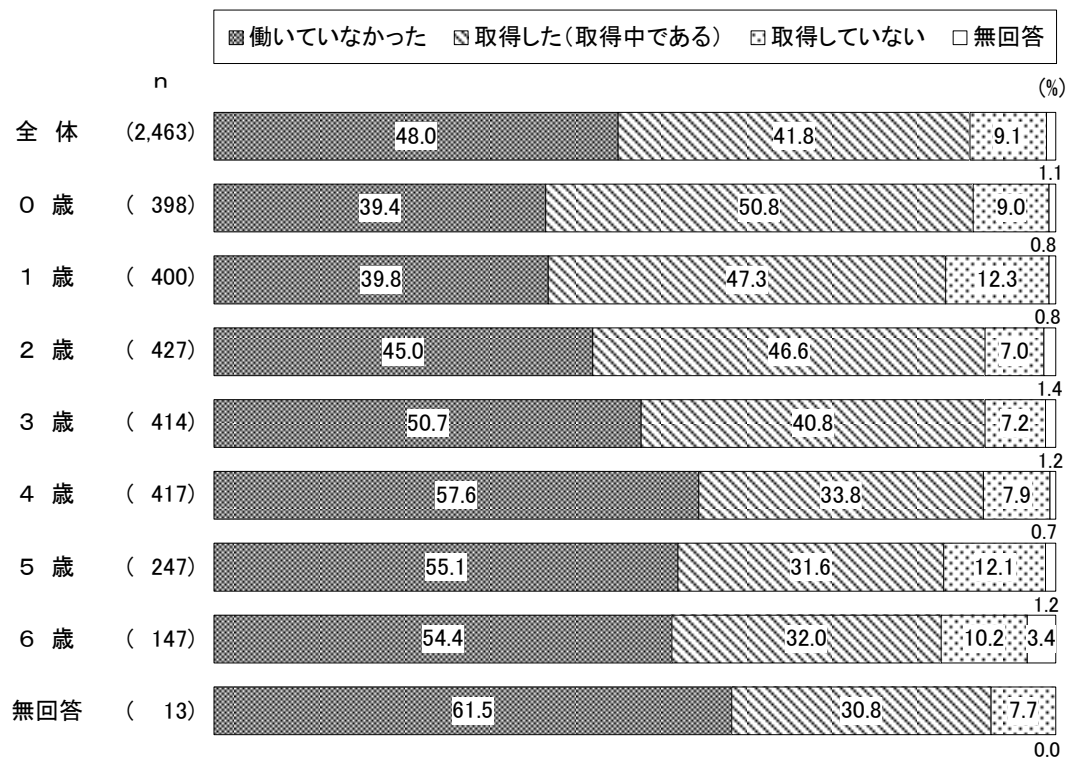
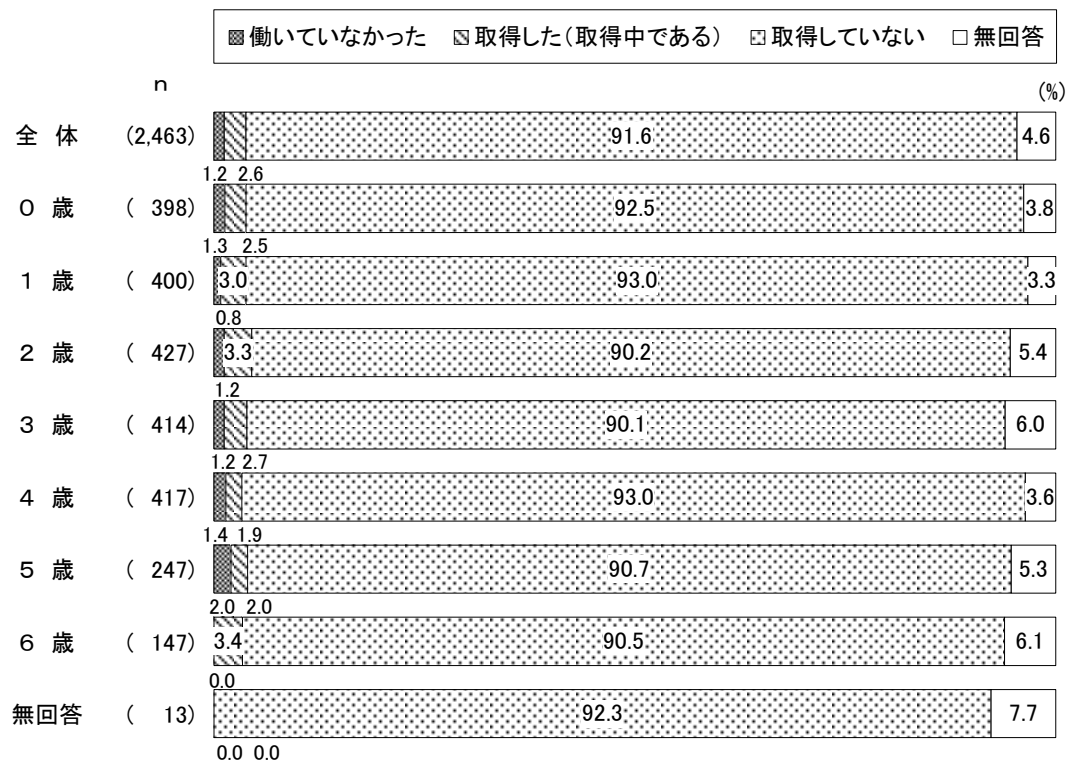


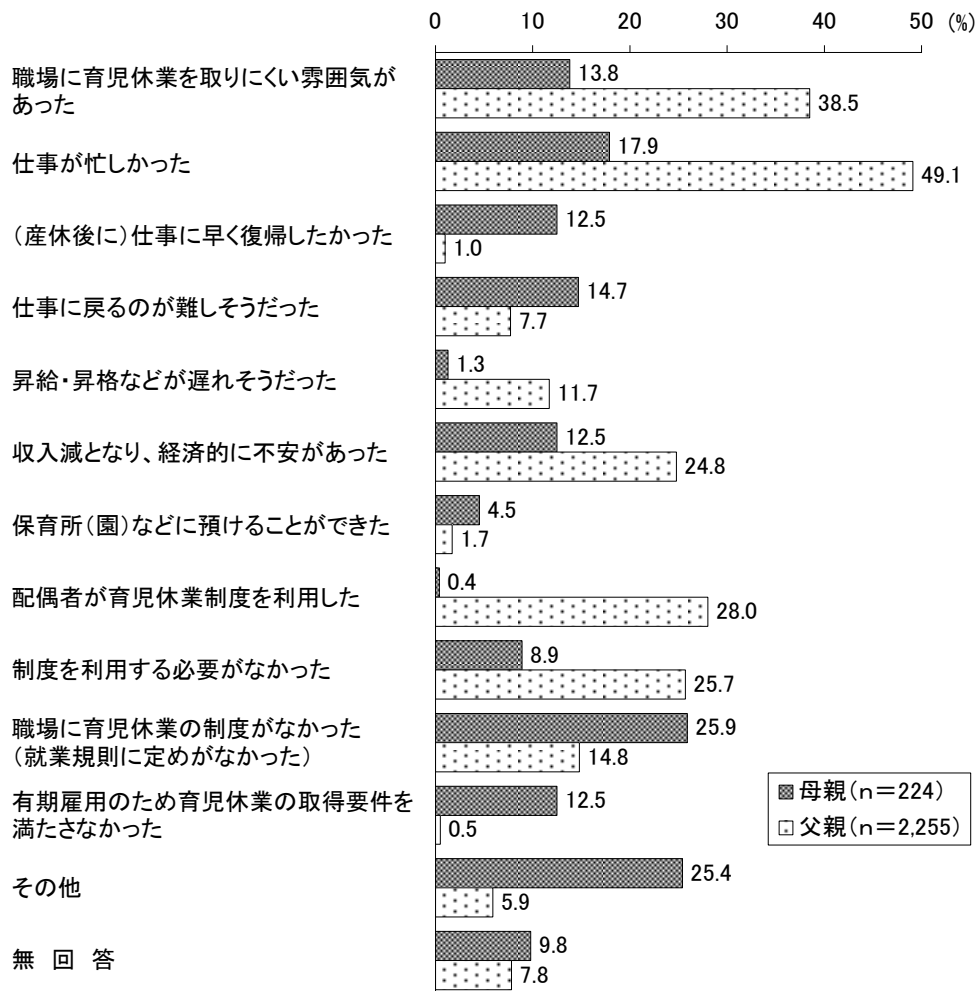
図 10-3 育児休業の取得状況（子どもの年齢別）【父親】



(1-1) 育児休業を取得しなかった理由

問 27-1 問 27 で「取得していない」と回答した方にうかがいます。取得しなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

図 10-4



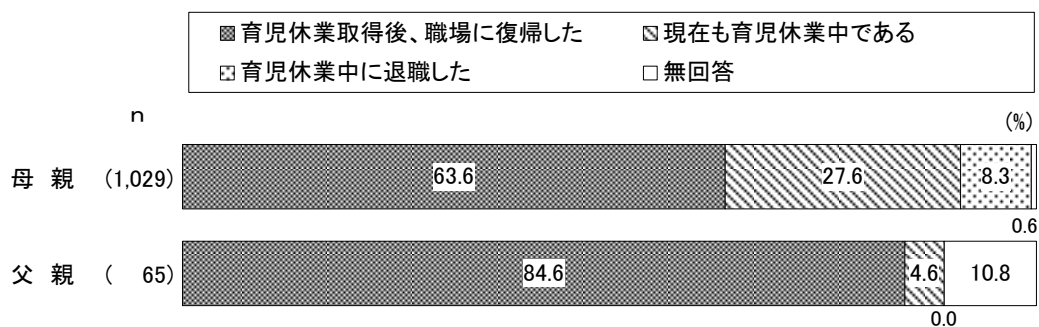
育児休業を取得しなかった理由は、母親では「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が25.9%で最も多くなっている。

父親では「仕事が忙しかった」が49.1%で最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が38.5%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が28.0%と続いている。(図 10-4)

(1-2) 育児休業取得後の職場復帰の有無

問 27-2 問 27 で「取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

図 10-5



育児休業取得後の職場復帰の有無は、母親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が 63.6%、「現在も育児休業中である」は 27.6%、「育児休業中に退職した」は 8.3%となっている。

父親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が 84.6%、「現在も育児休業中である」は 4.6%となっている。(図 10-5)

子どもの年齢別にみると、母親では「育児休業取得後、職場に復帰した」は 2 歳から 6 歳で 8 割台となっている。また、「現在も育児休業中である」は 0 歳で 92.1%、1 歳で 39.2%と多く、「育児休業中に退職した」は子どもの年齢が上がるにつれて多くなっており、6 歳では 17.0%となっている。

父親については、対象数が少ないため、参考までに図示する。(図 10-6・7)

図 10-6 育児休業取得後の職場復帰の有無（子どもの年齢別）【母親】

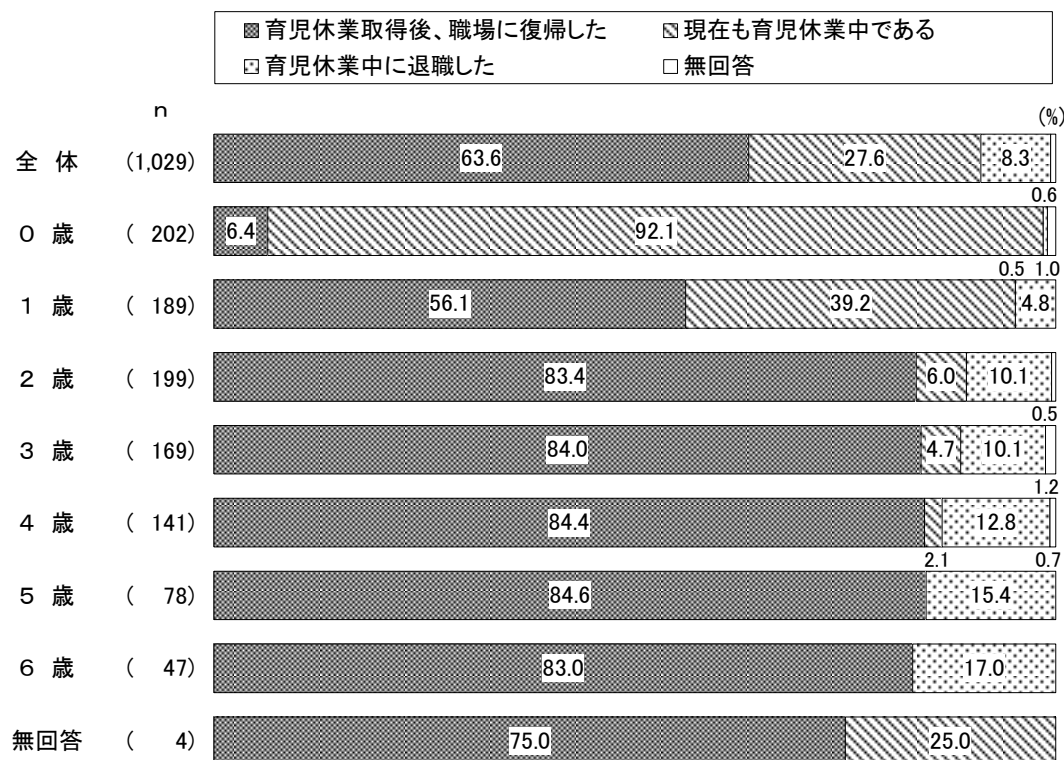
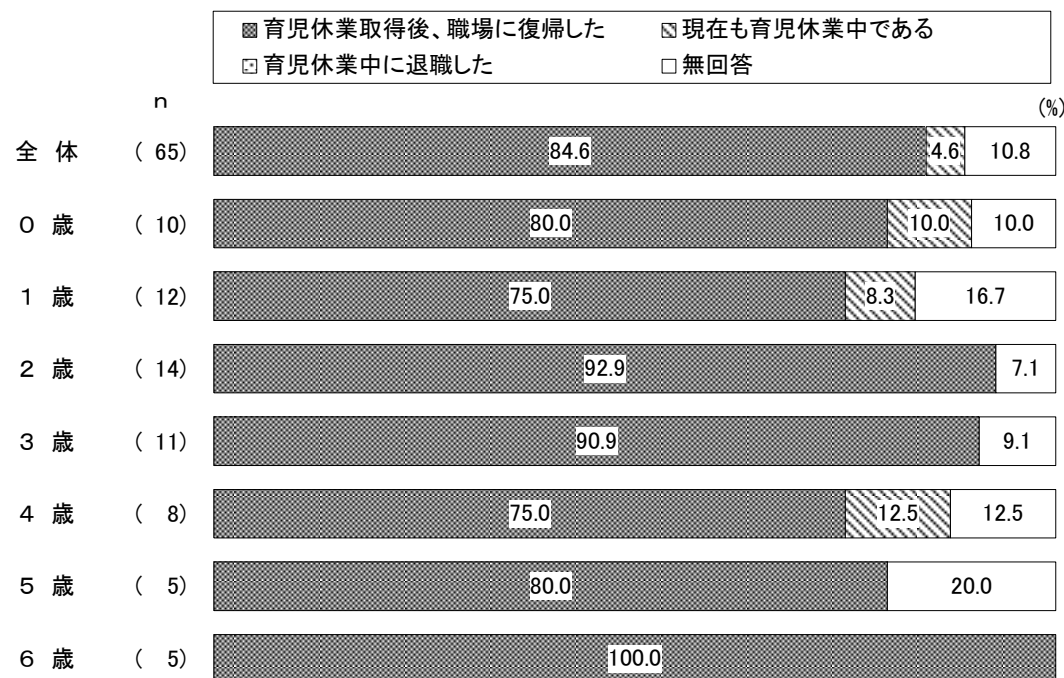


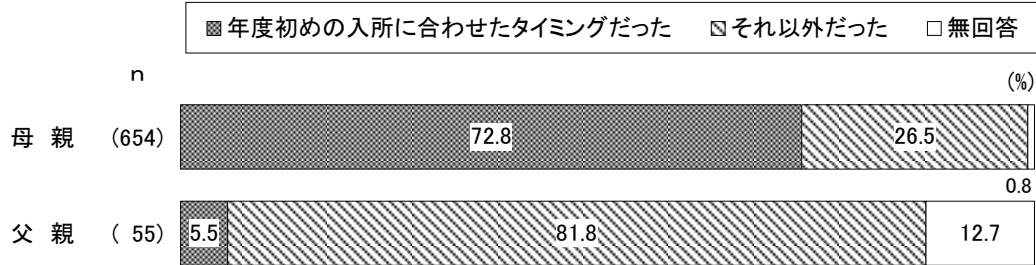
図 10-7 育児休業取得後の職場復帰の有無（子どもの年齢別）【父親】



(1-3) 育児休業取得後の職場復帰の時期

問 27-3 問 27-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、いつでしたか。

図 10-8



子育児休業取得後の職場復帰の時期は、母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 72.8%、「それ以外だった」は 26.5%となっている。

父親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」は 5.5%、「それ以外だった」が 81.8%となっている。(図 10-8)

(1-4) 実際の職場復帰した時期と希望していた職場復帰の時期

問 27-4 問 27-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。

図 10-9 実際の職場復帰した時期

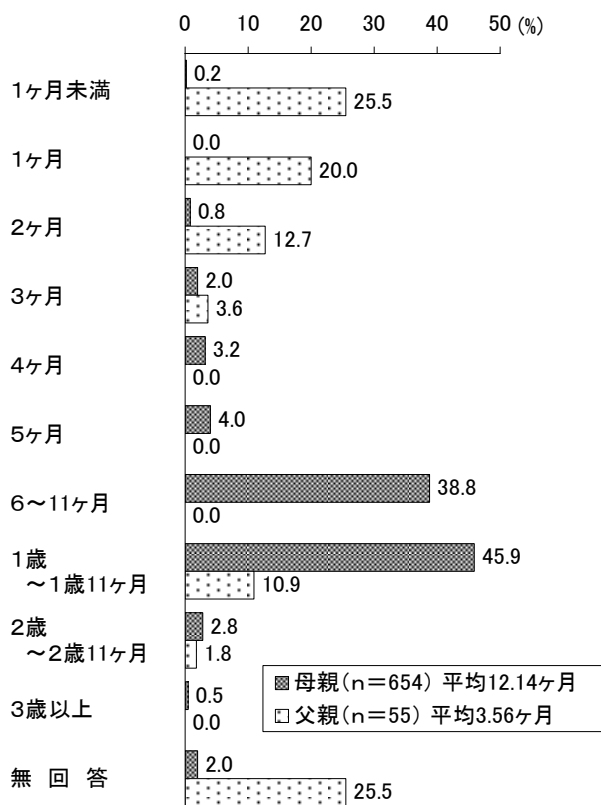
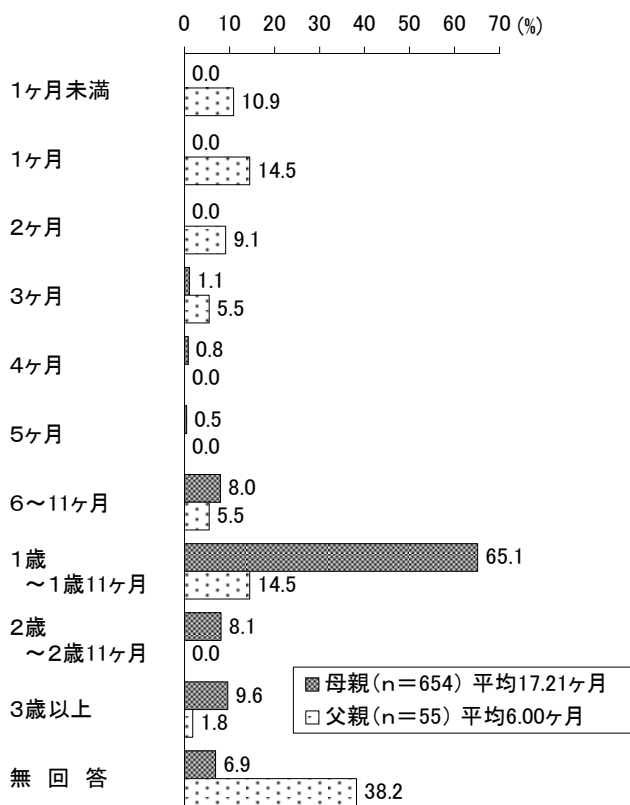


図 10-10 希望していた職場復帰の時期



実際の職場復帰した時期は、母親では「1歳～1歳11ヶ月」が45.9%で最も多く、次いで「6～11ヶ月」が38.8%と続いている。

父親では「1ヶ月未満」が25.5%で最も多く、次いで「1ヶ月」が20.0%と続いている。

(図 10-9)

希望していた職場復帰の時期は、母親では「1歳～1歳11ヶ月」が65.1%で最も多く、次いで「3歳以上」が9.6%と続いている。

父親では「1ヶ月」と「1歳～1歳11ヶ月」がともに14.5%と多くなっている。(図 10-10)

(1-5) 希望の時期に職場復帰しなかった理由

問 27-5 問 24-4 で「実際の復帰と希望が異なる方」にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

図 10-11 希望の時期に職場復帰しなかった理由 【「希望」より早く復帰した人】

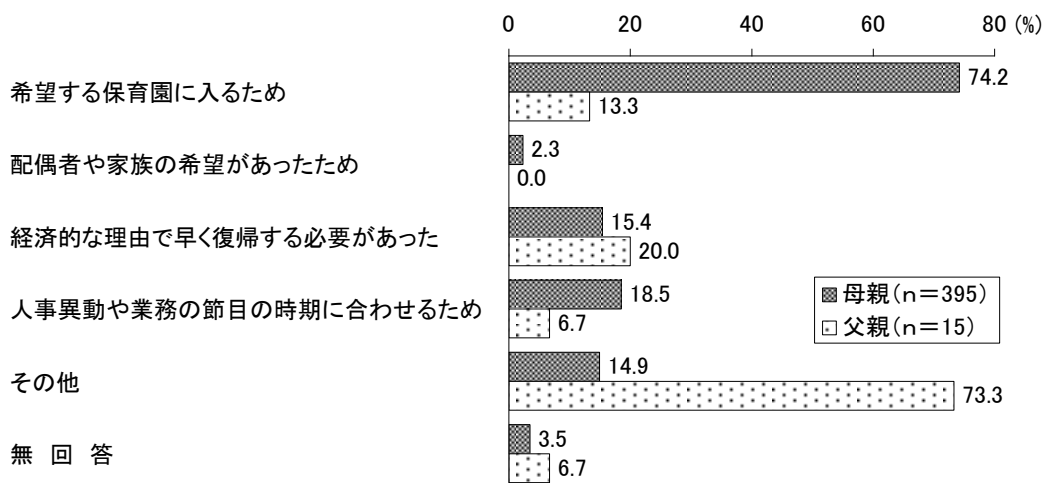
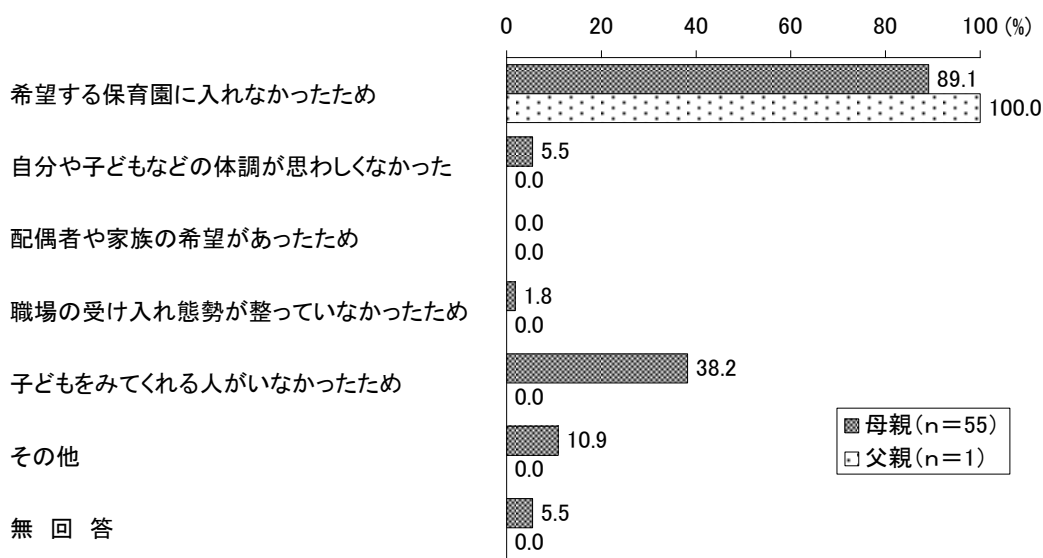


図 10-12 希望の時期に職場復帰しなかった理由 【「希望」より遅く復帰した人】



「希望」より早く復帰した理由は、母親では「希望する保育園に入るため」が 74.2%で最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 18.5%と続いている。

父親では「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が 20.0%となっている。(図 10-11)

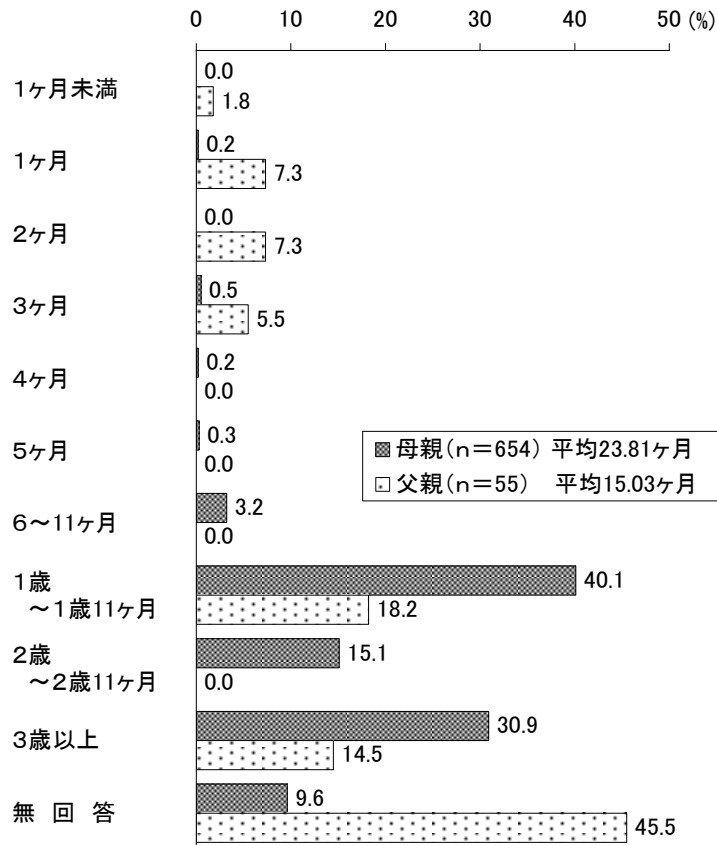
「希望」より遅く復帰した理由は、母親では「希望する保育園に入れなかったため」が 89.1%で最も多く、次いで「子どもをみってくれる人がいなかったため」が 38.2%と続いている。

父親については、対象が 1 名と少ないため、参考までに図示する。(図 10-12)

(1-6) 子どもが3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望する職場復帰の時期

問 27-6 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。

図 10-13

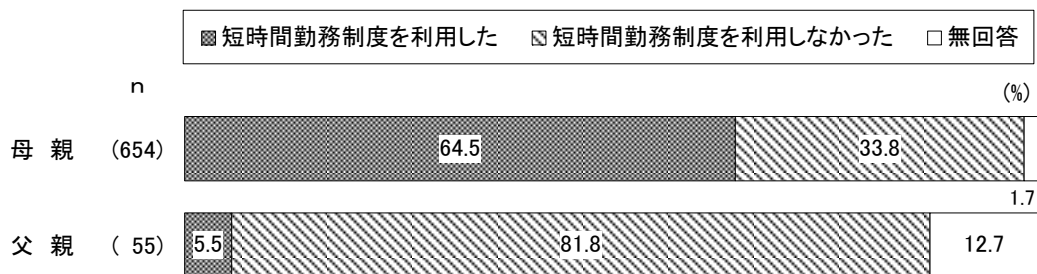


子どもが3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望する職場復帰の時期は、「1歳～1歳11ヶ月」が母親で40.1%、父親で18.2%と最も多く、次いで「3歳以上」が母親で30.9%、父親で14.5%と続いている。(図 10-13)

(1-7) 職場復帰時の短時間勤務制度の利用の有無

問 27-7 問 27-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

図 10-14



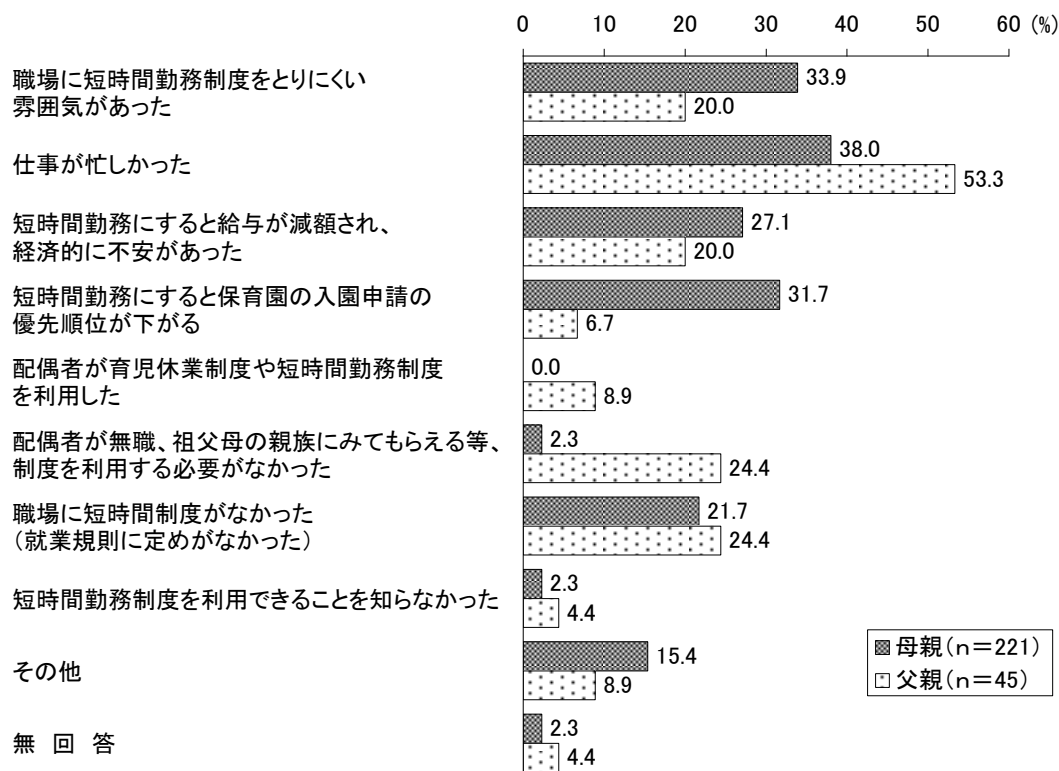
職場復帰時の短時間勤務制度の利用の有無は、母親では「短時間勤務制度を利用した」が 64.5%、「短時間勤務制度を利用しなかった」は 33.8%となっている。

父親では「短時間勤務制度を利用した」は 5.5%、「短時間勤務制度を利用しなかった」が 81.8%となっている。(図 10-14)

(1-8) 短時間勤務制度を利用しなかった理由

問 27-8 問 27-7 で「短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった理由はなんですか。(〇いくつでも)

図 10-15



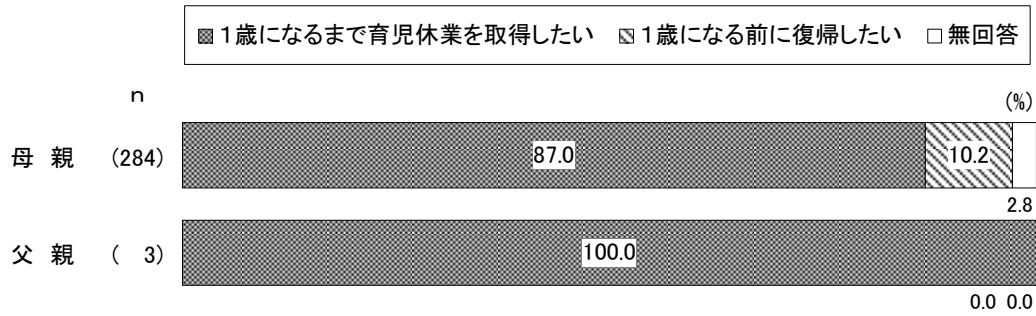
短時間勤務制度を利用しなかった理由は、母親では「仕事が忙しかった」が 38.0%で最も多く、次いで「職場に短時間勤務制度をとりにくい雰囲気があった」が 33.9%と続いている。

父親では「仕事が忙しかった」が 53.3%で最も多く、次いで「配偶者が無職、祖父母の親族にみてもらえる等、制度を利用する必要がなかった」と「職場に短時間制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」がともに 24.4%と続いている。(図 10-15)

(1-9) 子どもが1歳になったときに利用できる施設・事業がある場合の職場復帰の時期

問 27-9 問 27-2で「現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる施設・事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

図 10-16



子どもが1歳になったときに利用できる施設・事業がある場合の職場復帰の時期は、母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」が87.0%、「1歳になる前に復帰したい」は10.2%となっている。

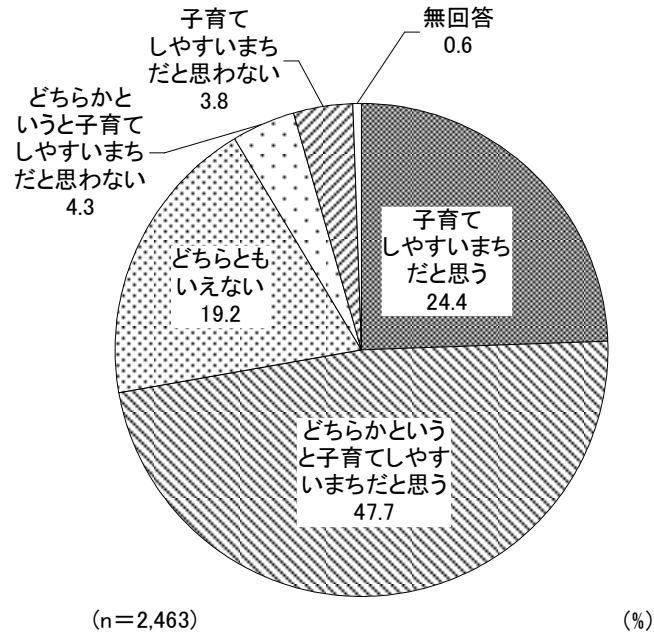
父親については、対象が3名と少ないため、参考までに図示する。(図 10-16)

11 杉並区の子育てについて

(1) 杉並区の子育てのしやすさ

問 28 杉並区は子育てしやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

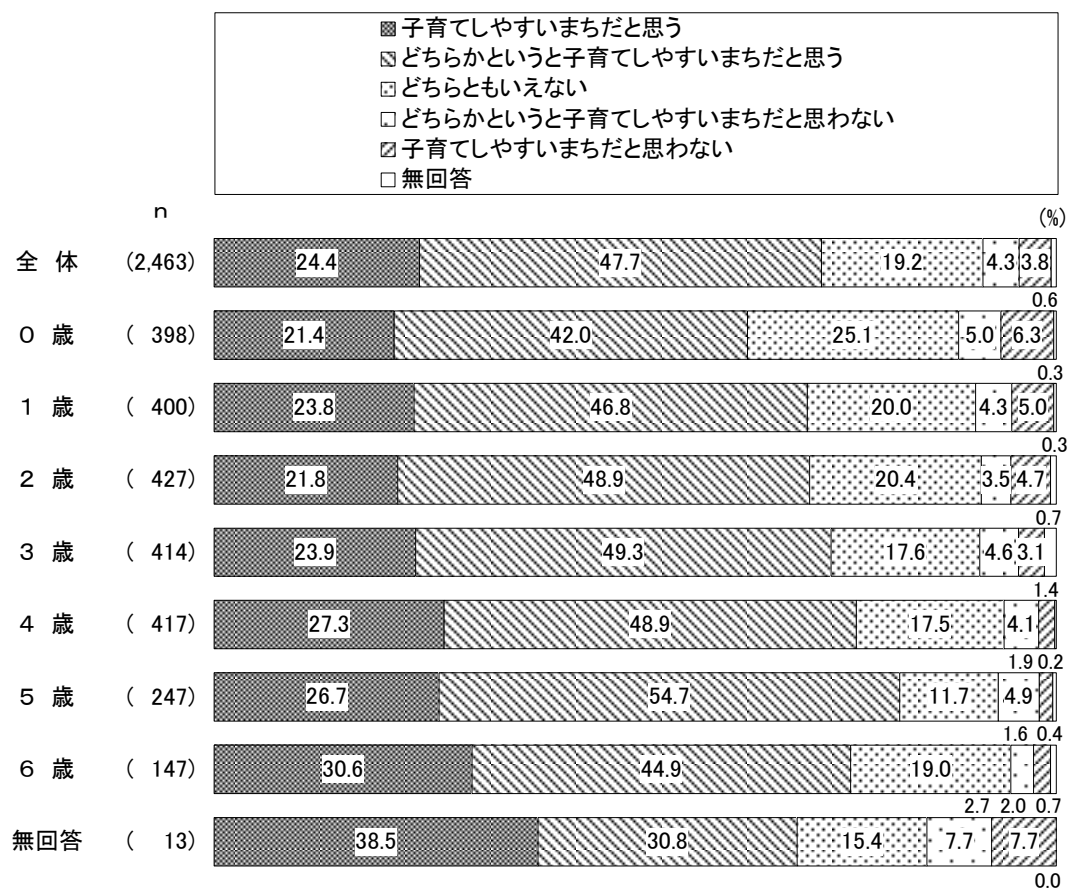
図 11-1



杉並区の子育てのしやすさは、「子育てしやすいまちだと思う」は24.4%、「どちらかという子育てしやすいまちだと思う」が47.7%となっており、子育てしやすいまちだと思う人は合わせて72.1%となっている。一方、「どちらかという子育てしやすいまちだと思わない」は4.3%、「子育てしやすいまちだと思わない」は3.8%となっている。(図 11-1)

子どもの年齢別にみると、「子育てしやすいまちだと思う」は6歳で30.6%と多く、「どちらかという子育てしやすいまちだと思う」は5歳で54.7%と多くなっている。(図11-2)

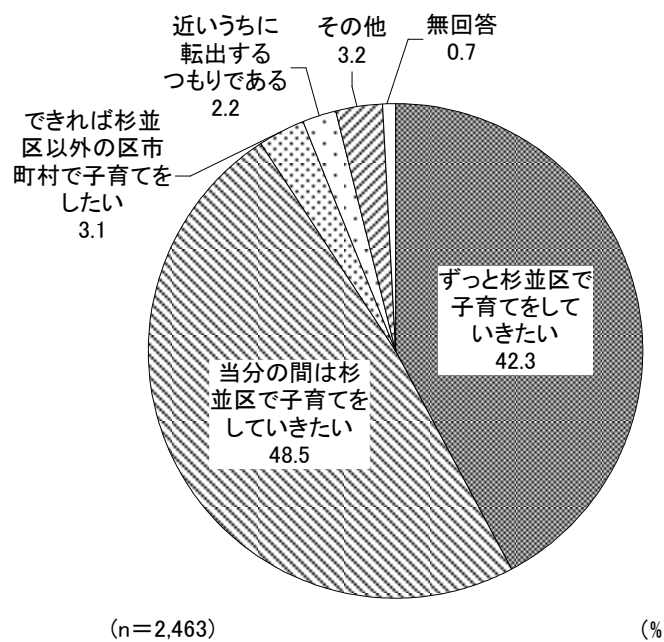
図11-2 杉並区の子育てのしやすさ(子どもの年齢別)



(2) 杉並区での子育ての継続意向

問 29 今後も、杉並区で子育てをしていきたいと思いませんか。(〇は1つ)

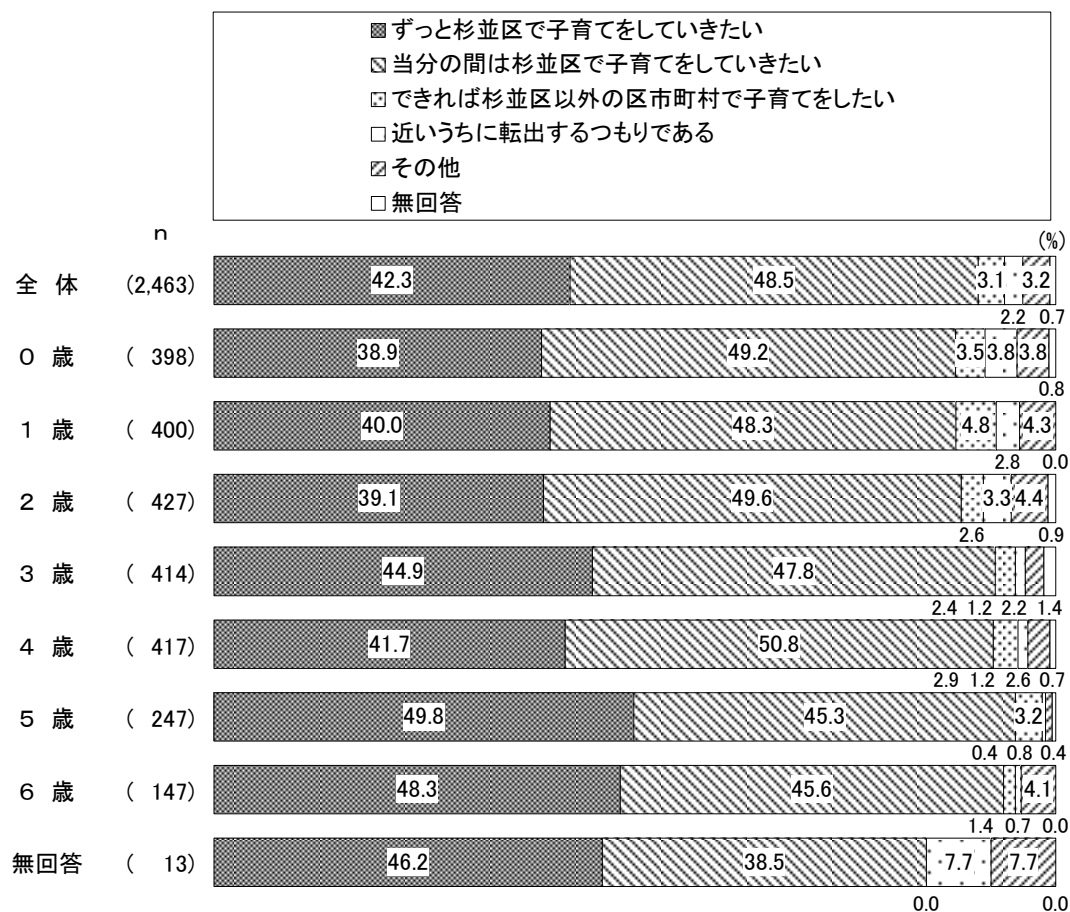
図 11-3



杉並区での子育ての継続意向は、「ずっと杉並区で子育てをしていきたい」が42.3%、「当分の間は杉並区で子育てをしていきたい」は48.5%となっており、杉並区で子育てをしていきたい人は合わせて90.8%となっている。一方、「できれば杉並区以外の区市町村で子育てをしたい」は3.1%、「近いうちに転出するつもりである」は2.2%となっている。(図 11-3)

子どもの年齢別にみると、「ずっと杉並区で子育てをしていきたい」は5歳で49.8%と多く、「当分の間は杉並区で子育てをしていきたい」は4歳で50.8%と多くなっている。(図11-4)

図11-4 杉並区での子育ての継続意向(子どもの年齢別)



(3) 杉並区の子育て環境や支援に関する意見

問 30 最後に、杉並区の子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

杉並区の子育て環境や支援に関する意見を自由に記述していただいたところ、1,684人から2,274件の回答が寄せられた。以下の分類項目で該当する意見を整理した。それぞれの分類項目ごとの、主な意見を掲載する。

1 保育・教育環境 (1,037件)

- 保育園の入所には、フルタイムが有利であり、入所要件を見直しも必要。
- 区立保育所の増設を望む。
- 幼稚園の入園が困難で、年々競争が激しくなるのではないかと心配である。
- 保育園の充実はもちろんだが、長期休暇や土日などの保育時間後の預け先がほとんどなく、幼稚園児の一時的な預け先の充実を希望する。

2 子育て支援施策 (623件)

- 子育て応援券はとてもよい制度だが、使い方や限度額などの方向性が定まらない。
- 学童クラブの料金は安すぎると思う。保育料のように収入に応じた料金体系はどうか。
- 有償分の子育て応援券をもう少し購入できると良い。

3 子育て施設の整備 (348件)

- 子育て応援住宅があると嬉しい。
- 子どもだけが自由に遊べるとうれしい。
- 学童クラブを卒業した児童や、中学生にとっても、それぞれ家庭以外で居場所を用意するべきと思う。

4 安心・安全な子育て環境 (57件)

- 人情味のある街づくりとして取組んでほしい。
- 学校、地域で、連携して子どもたちに良い環境をつくろう、皆で育てていこうとしているところがとても気に入っている。
- 父母会時に子どもたちを下校させるのではなく、学校の一室を開放して安全にすごせるようにしてほしい。

5 仕事と子育ての両立 (48件)

- 各家庭にあったライフスタイルがおくれるように、自由に選択できる子育て支援が確立されると良い。
- 子を育てる親自身が、子どもと過ごせる時間を取れる働き方、ワークライフバランスの奨励が大切であると思う。

6 保健と医療 (37件)

- 保健所が地理的に遠いので、健診などの際に隣接区の施設を利用できれば良い。

7 子どもへの個別の支援 (13件)

- 食物アレルギーの情報周知が必要である。
- こども発達センターはとてもよい施設で、多くの方が利用すべきであり、目的により施設を別にすると良い。
- 障害のあるきょうだいを見守るサービスなどがあると良い。

8 子育てにおける悩み (9件)

- 今後も、区内で生活をしていく上で、シングルマザーでも、住みやすい環境であると良い。
- 近所づきあいもなく預かってもらえる親族も遠く、友人もいないので、日中かなり孤立感がある。
- 産後すぐの時期は、行き場がなく、子どもと2人きりになることが多くて、孤立した感じがした。児童館も溶け込めない雰囲気だった。

9 その他 (102件)

- これからも子育てに熱心な区というイメージを続けてほしい。
- ベビーカーで買い物のしやすいスーパーを増やして欲しい。赤ちゃん連れで行きやすい飲食店が増えるともっと杉並区を訪れる人が増えると思う。

第3章 小学生調査の結果

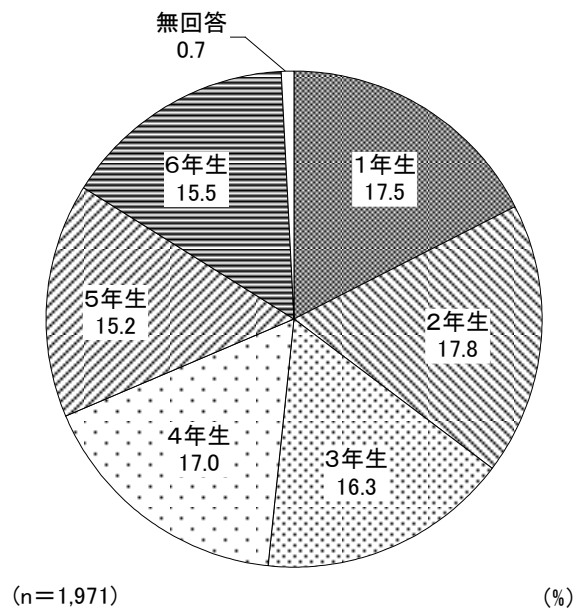
第3章 小学生調査の結果

1. 家族の状況

(1) 宛名の子どもの学年

問1 宛名のお子さんの学年をご記入ください。

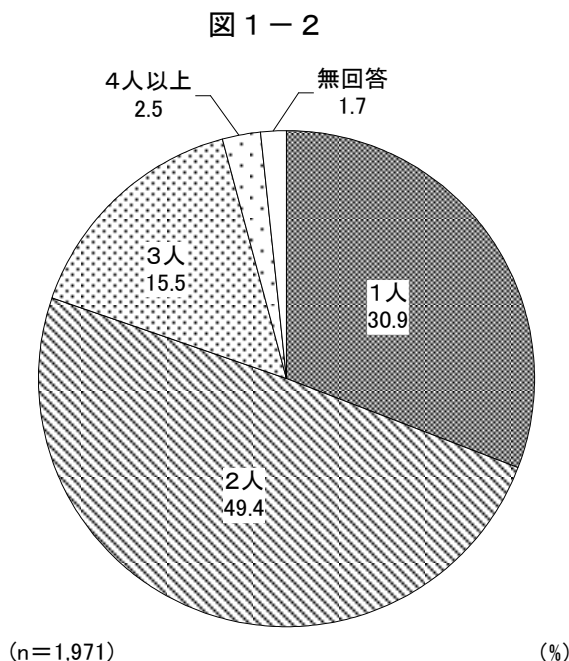
図1-1



各学年で概ねバランスのとれた回答となっている。(図1-1)

(2) きょうだいの人数

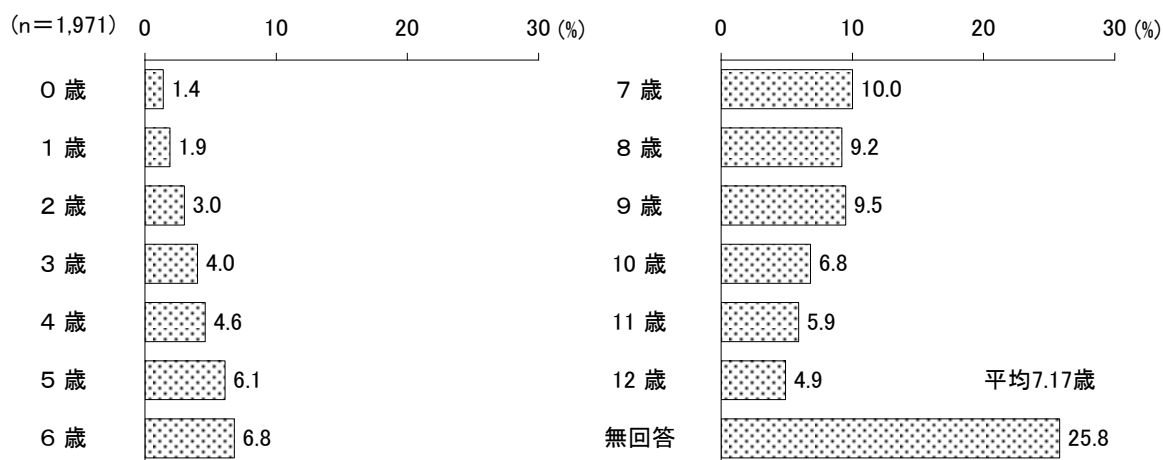
問2 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。



宛名の子どものきょうだいの人数は、「2人」が49.4%で最も多く、次いで「1人（きょうだい無）」が30.9%、「3人」が15.5%、「4人以上」が2.5%と続いている。（図1-2）

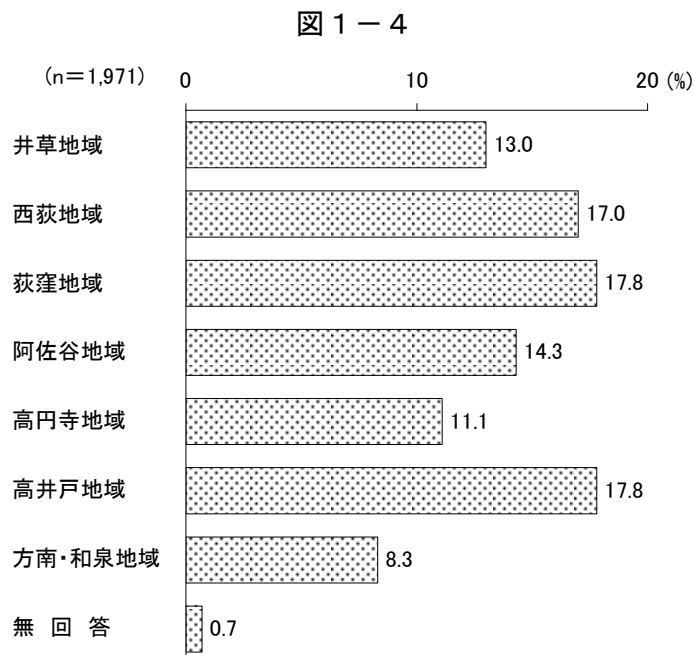
複数の子どもがいる場合の、末子の子どもの年齢は、「7歳」が10.0%で最も多く、次いで「9歳」が9.5%、「8歳」が9.2%と続いている。（図1-3）

図1-3 末子の子どもの年齢



(3) 居住地域

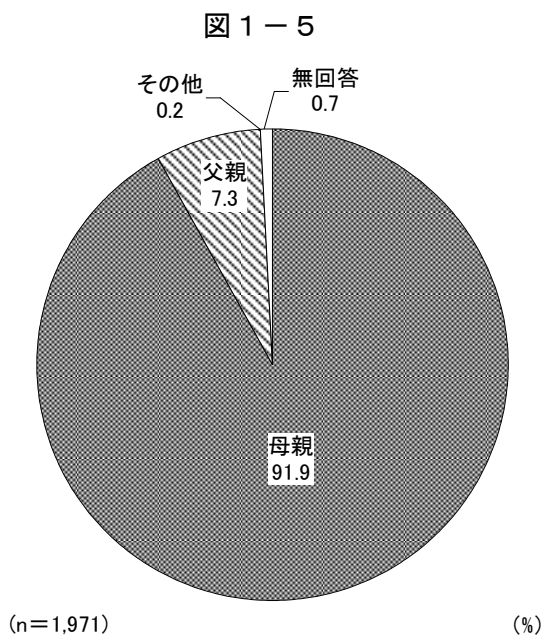
問3 お住まいの町名をおうかがいします。(○は1つだけ)



居住地域は、「荻窪地域」と「高井戸地域」がともに 17.8%で最も多く、次いで「西荻地域」が 17.0%と続いている。(図 1 - 4)

(4) 記入者

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(○は1つだけ)

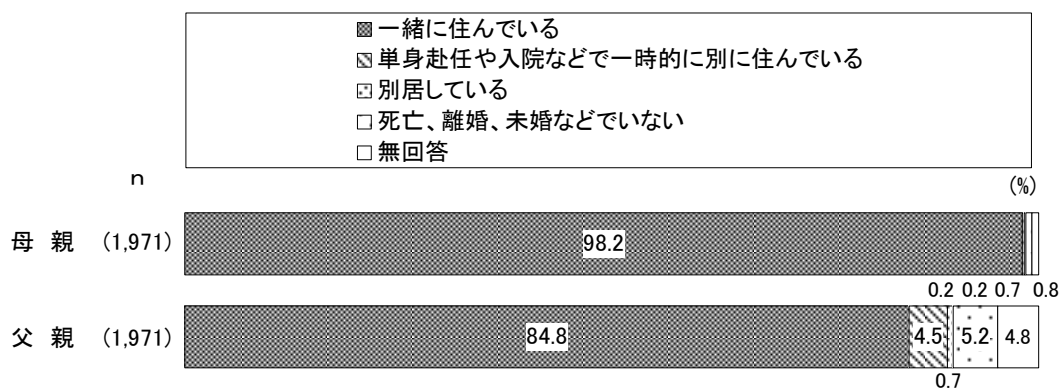


記入者は、「母親」が 91.9%、「父親」は 7.3%となっている。(図 1 - 5)

(5) 保護者の状況

問5 宛名のお子さんの保護者の状況についてうかがいます。(○は1つだけ)

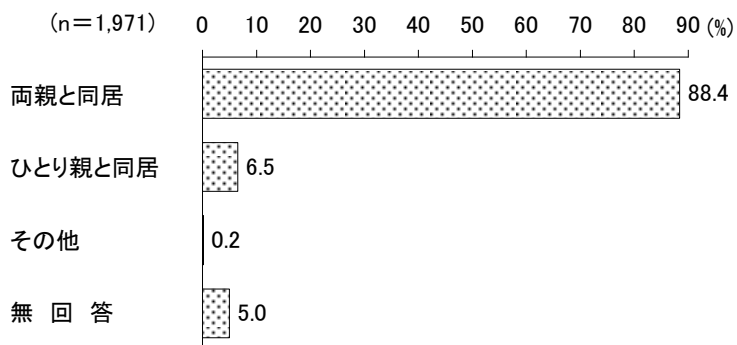
図1-6



保護者の状況については、「一緒に住んでいる」が母親で98.2%、父親で84.8%となっている。
(図1-6)

保護者との同居状況を見ると、「両親と同居」が88.4%、「ひとり親と同居」は6.5%となっている。
(図1-7)

図1-7 保護者の状況 (同居状況)

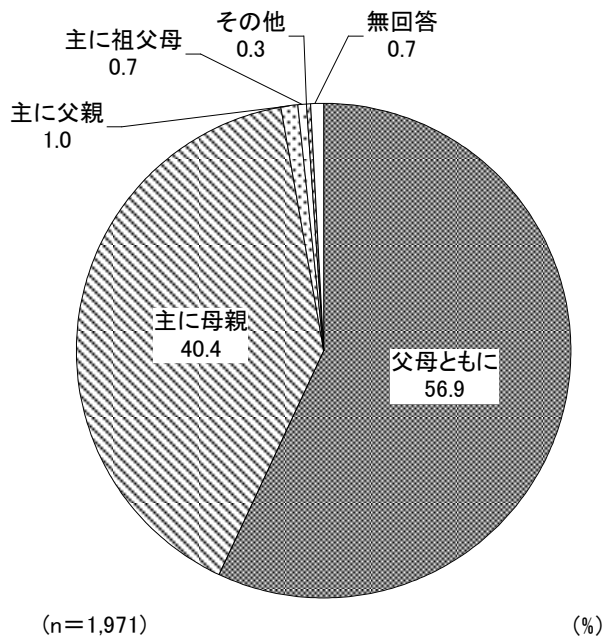


2. 子育ての環境

(1) 子育てを主に行っている人

問6 宛名のお子さんの子育てを主に行っている方は、どなたですか。(〇は1つだけ)

図2-1



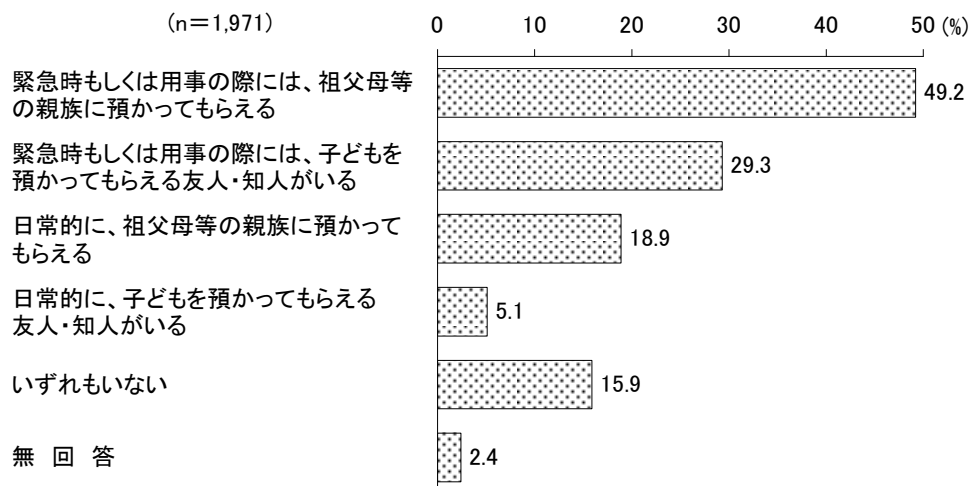
子育てを主に行っている人は、「父母ともに」が56.9%、「主に母親」は40.4%となっている。

(図2-1)

(2) 日頃子どもを預かってもらえる親族・知人の有無

問7 日頃、お子さんを預かってもらえる親族・知人はいらっしゃいますか。○はいくつでも)

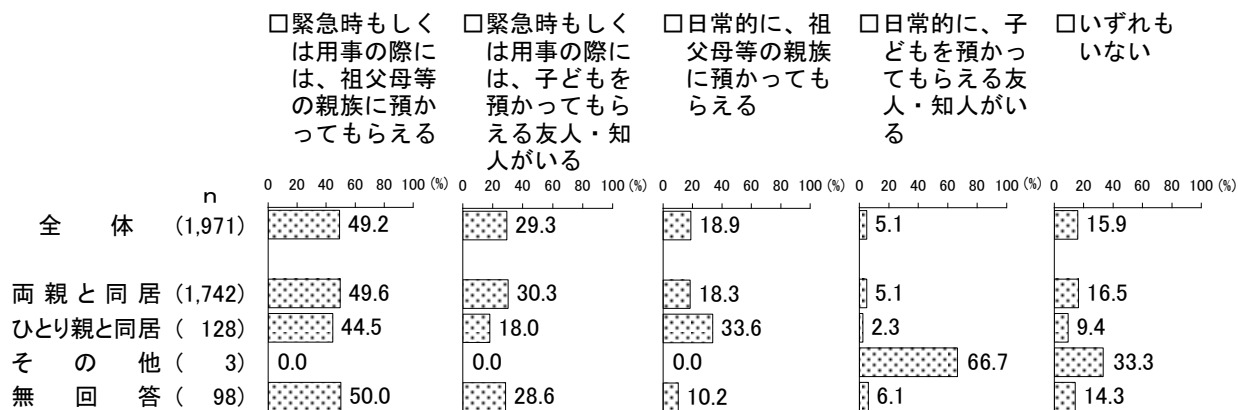
図2-2



日頃子どもを預かってもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族に預かってもらえる」が49.2%で最も多く、次いで「緊急時もしくは用事の際には、子どもを預かってもらえる友人・知人がいる」が29.3%と続いている。一方、「いずれもない」は15.9%となっている。(図2-2)

保護者の状況別にみると、「日常的に、祖父母等の親族に預かってもらえる」はひとり親と同居で33.6%と多くなっている。また、「緊急時もしくは用事の際には、子どもを預かってもらえる友人・知人がいる」は両親と同居で30.3%と多くなっている。(図2-3)

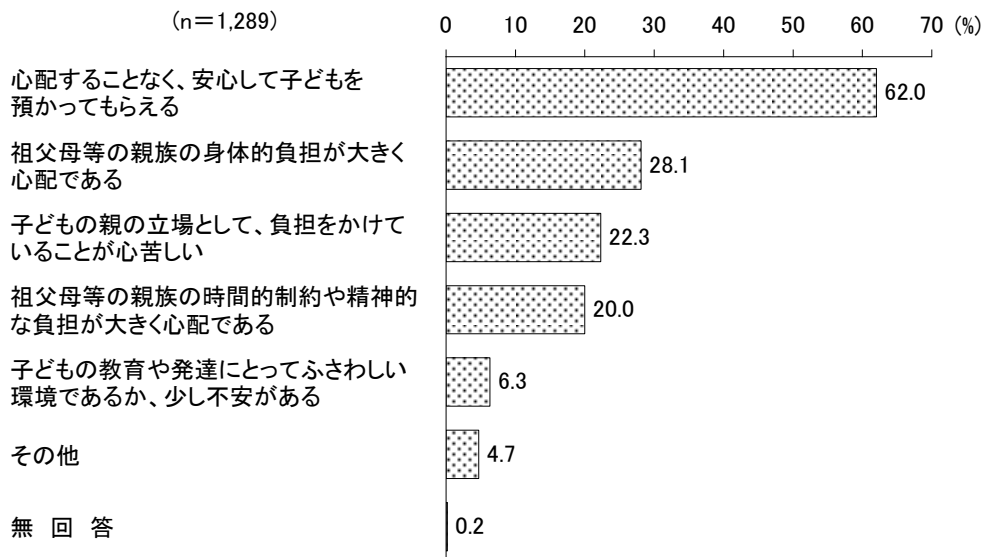
図2-3 子どもを預かってもらえる親族・知人の有無(保護者の状況別)



(2-1) 子どもを親族に預かってもらっている状況

問7-1 問7で「日常的に、祖父母等の親族に預かってもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族に預かってもらえる」と答えた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんを預かってもらっている状況についてお答えください。(〇はいくつでも)

図2-4

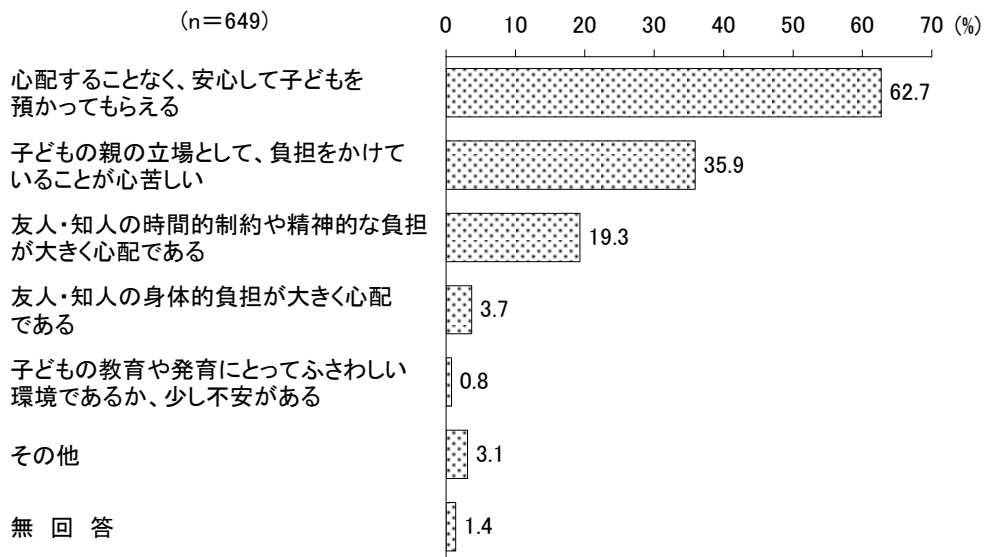


子どもを親族に預かってもらっている状況については、「心配することなく、安心して子どもを預かってもらえる」が62.0%で最も多く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が28.1%、「子どもの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が22.3%と続いている。(図2-4)

(2-2) 子どもを友人・知人に預かってもらっている状況

問7-2 問7で「日常的に、子どもを預かってもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には、子どもを預かってもらえる友人・知人がいる」と答えた方にうかがいます。友人・知人に預かってもらっている状況についてお答えください。(〇はいくつでも)

図2-5

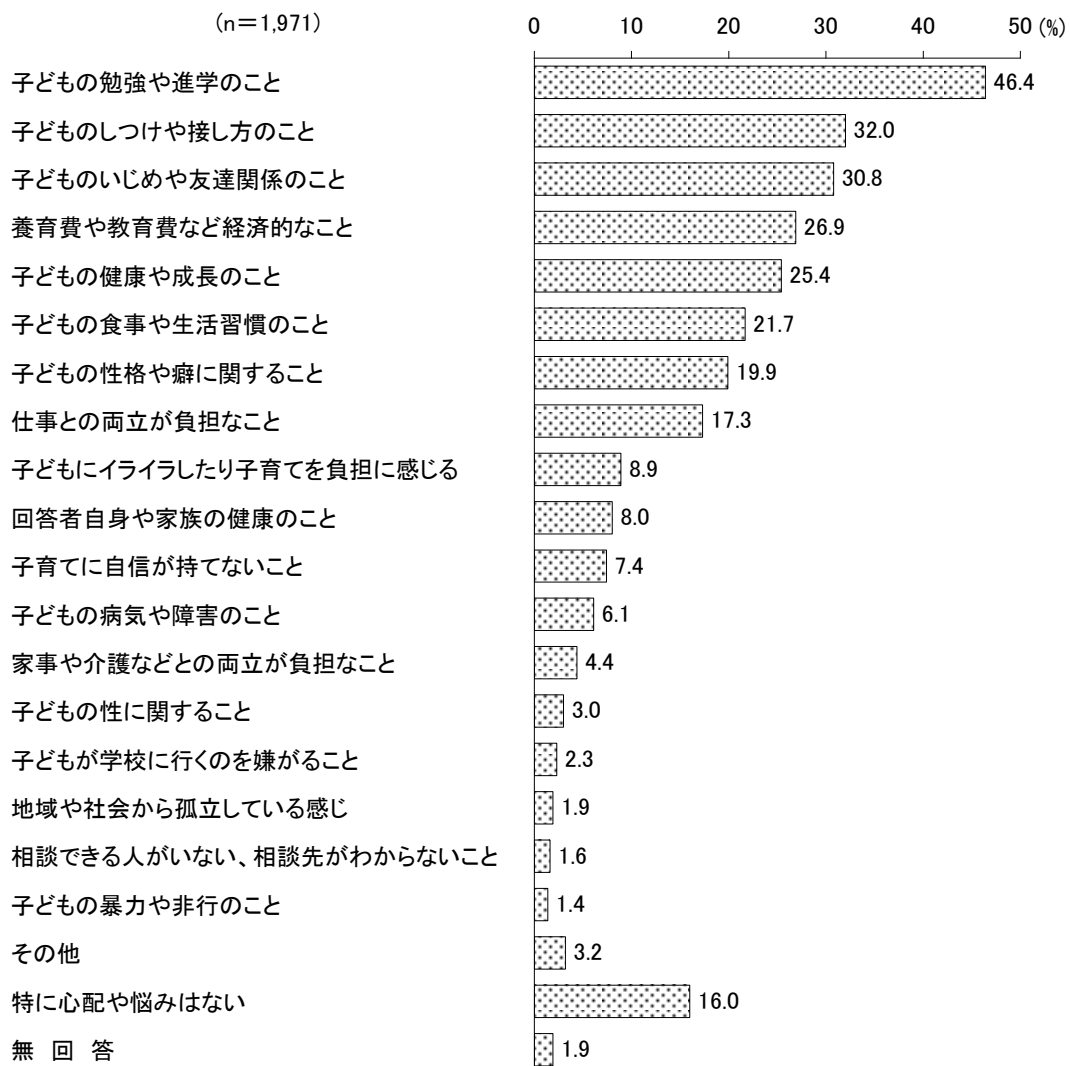


子どもを友人・知人に預かってもらっている状況については、「心配することなく、安心して子どもを預かってもらえる」が62.7%で最も多く、次いで「子どもの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が35.9%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が19.3%と続いている。(図2-5)

(3) 子育てをする上での心配や悩み

問8 宛名のお子さんの子育てをする上で、心配や悩みがありますか。(〇はいくつでも)

図2-6

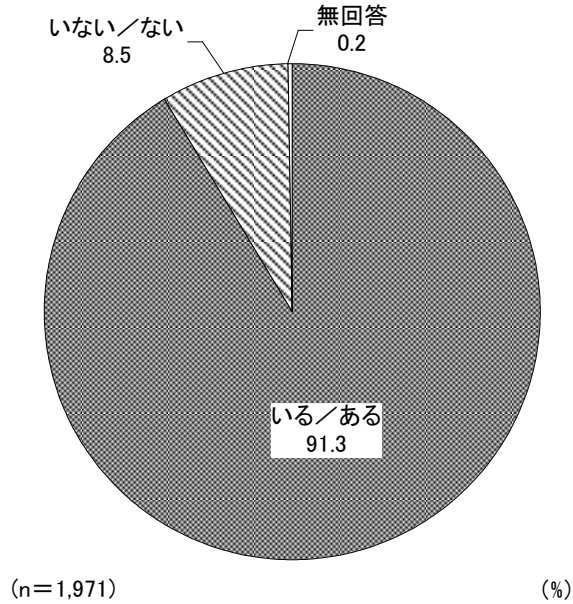


子育てをする上での心配や悩みは、「子どもの勉強や進学のこと」が46.4%で最も多く、次いで「子どものしつけや接し方のこと」が32.0%、「子どものいじめや友達関係のこと」が30.8%と続いている。一方、「特に心配や悩みはない」は16.0%となっている。(図2-6)

(4) 子育てに関して気軽に相談できる相手の有無

問9 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また相談できる場所がありますか。(○は1つだけ)

図2-7

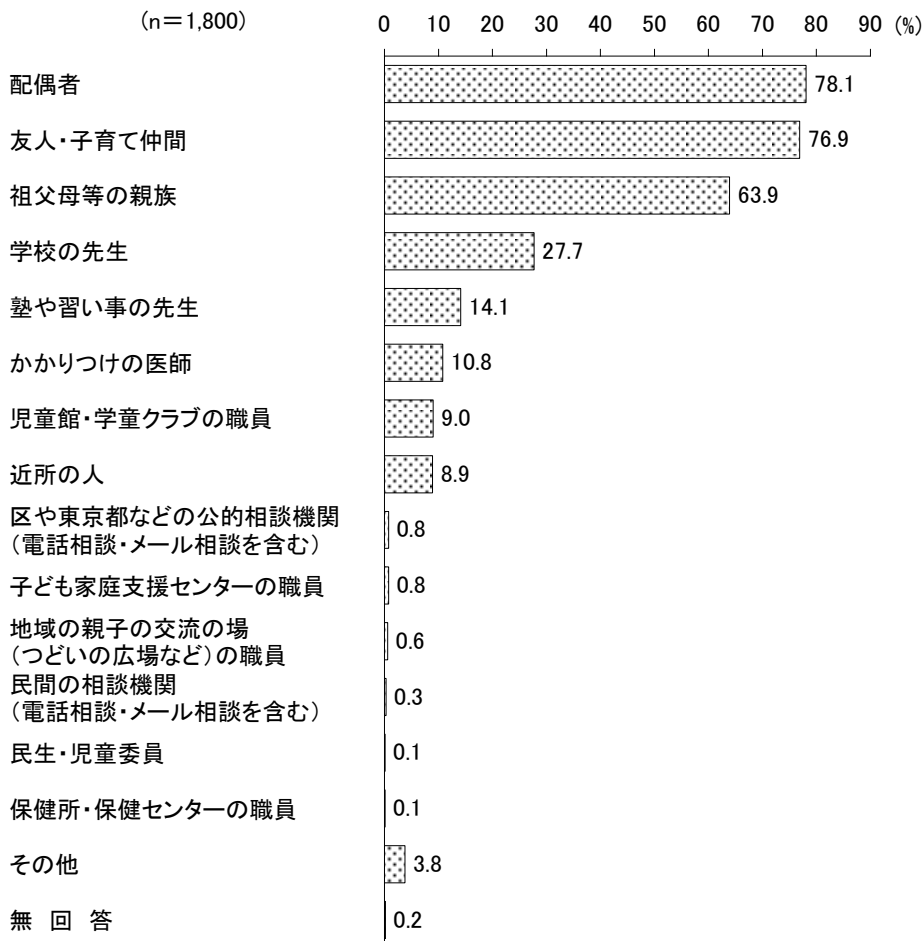


子育てに関して気軽に相談できる相手の有無は、「いる/ある」が 91.3%、「いない/ない」は 8.5%となっている。(図2-7)

(4-1) 子育てに関する相談先

問9-1 問9で「いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、だれ（どこ）ですか。（○はいくつでも）

図2-8



子育てに関する相談先は、「配偶者」が78.1%で最も多く、次いで「友人・子育て仲間」が76.9%、「祖父母等の親族」が63.9%と続いている。(図2-8)

(5) 子育てをする上で必要な周囲からのサポート

問10 子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

子育てをする上で必要な周囲からのサポートを自由に記述していただいたところ、651人から736件の回答が寄せられた。以下の分類項目で該当する意見を整理した。それぞれの分類ごとの、主な意見を掲載する。

1 子どもの居場所、預かり等 (344件)

- 予約なしで、2～3時間夜預かってくれるところ（夕食付）がほしい。
- 子どもが低学年のうち、学校が終わってからも、そのまま学校で遊びながら残ることができる施設があると良い。
- 小学校というスペースを最大限に活用すべき。放課後、休日の小学校利用を、行政主導でやるべき。
- 母親が負担を感じすぎないよう、気晴らしやリフレッシュを気軽にさせてほしい。（ひととき保育は有難い。）
- 子どもと感情的に行き詰まったときに、他の人達がいる場所で少し子どもの相手をしてくれて、心の余裕をとりもどせる場所が必要。

2 子どものことを気軽に相談できる専門家・窓口 (138件)

- 専門的知識のある方と、気軽に相談できるような窓口があるとよい。
- 悩みや不安なことを理解してもらったり、話を聞いてもらうだけでもだいぶ気が楽になるので、気軽に相談できる環境やサポートがあると良い。
- 気軽に相談できる「窓口」があることをもっと広めてほしい。

3 地域の理解、安全面での支援 (66件)

- 定年を迎えた方もたくさんいるので、子どもたちに昔遊びを教えたり、話をしたり、コミュニケーションを取れる時間があると良い。
- 帰宅時の見守りや夜の安全パトロールが必要。
- 年配の方が、子育てに追われて疲れている父母に、笑顔を向けてあげるだけでも心のサポートになると思う。

4 行政による経済面の支援 (37件)

- 子育て応援券が、オムツやミルクなど、子育てに必要なものに使うことができれば良い。
- 小学生をもつ親でも利用できる無料の子育て応援券があると良い。

5 交流の場の提供 (30件)

- 子連れでの居場所、プレイルームつきの施設やお茶ができる場所があると良い。

- 学校の先生、地域の方々、同年代の子どもを持つ保護者など、コミュニケーションが、気軽
に取れるような機会が多くあると良い。

6 子どもへの個別の支援 (18件)

- 発達障害について理解のある人に身近にいて相談に乗ってもらえると助かる。
- 障害の子に関する情報をもっと発信してもらいたい。
- 情緒支援学級への通級への登下校のサポートがあると助かる。

7 子育てに関する情報提供 (15件)

- 子育てに対する地域のサービス紹介の機会やイベント案内がもっとあると良い。
- 子どもが学校に行っている間にいろいろな講演会を聞きに行って、自分も成長し、子どもも成長できたらよいと思う。

8 子育てに対する企業の理解 (8件)

- 社会全体(男性の働き方も含め)で子どもを支える体制が必要。
- サポートを求めるには限界があるため、私自身が子の病気や行事等身軽に対応できる仕事環境があるとありがたい。

9 その他 (80件)

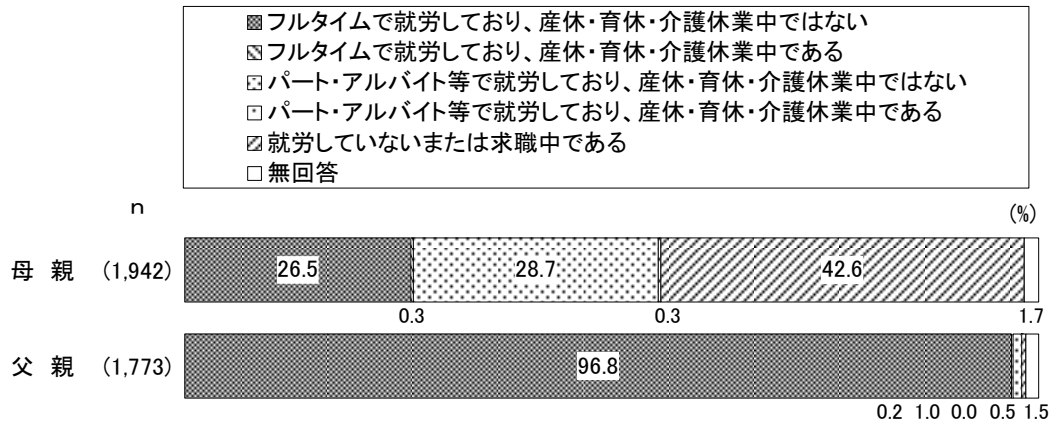
- 気分転換できる場がほしい。
- 塾に行っている子と行ってない子の差が大きくあるので、経済的に通えない子のためのボランティアの場がほしい。
- 学校単位ではなく、地域の子どもボランティアなど、何か近所の同年代のお子さんたちと知り合えるきっかけがあれば良い。

3. 保護者の就労状況

(1) 保護者の就労状況

問11 当てはまる就労状況を、お答えください。

図3-1



保護者の就労状況は、母親では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が26.5%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である」が0.3%となっており、フルタイムで就労している母親は合わせて26.8%となっている。また、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」は28.7%、「就労していないまたは求職中である」は42.6%となっている。

父親では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が96.8%で最も多くなっている。(図3-1)

子どもの学年別にみると、母親では「就労していないまたは求職中である」はおおむね子どもの学年が下がるにつれて多くなっている。また、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」は5年生で36.6%、6年生で37.3%と多く、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」は4年生で29.5%と多くなっている。

父親では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」がすべての学年で9割台となっている。(図3-2・3)

図3-2 保護者の就労状況（子どもの学年別）【母親】

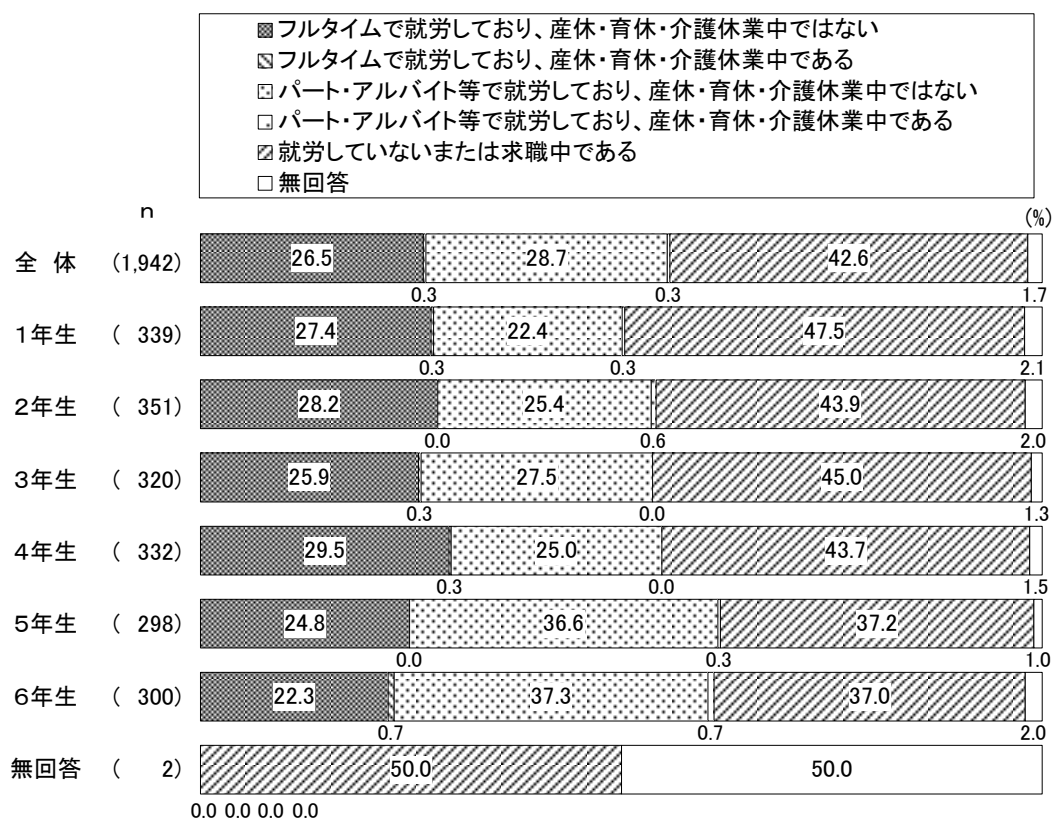
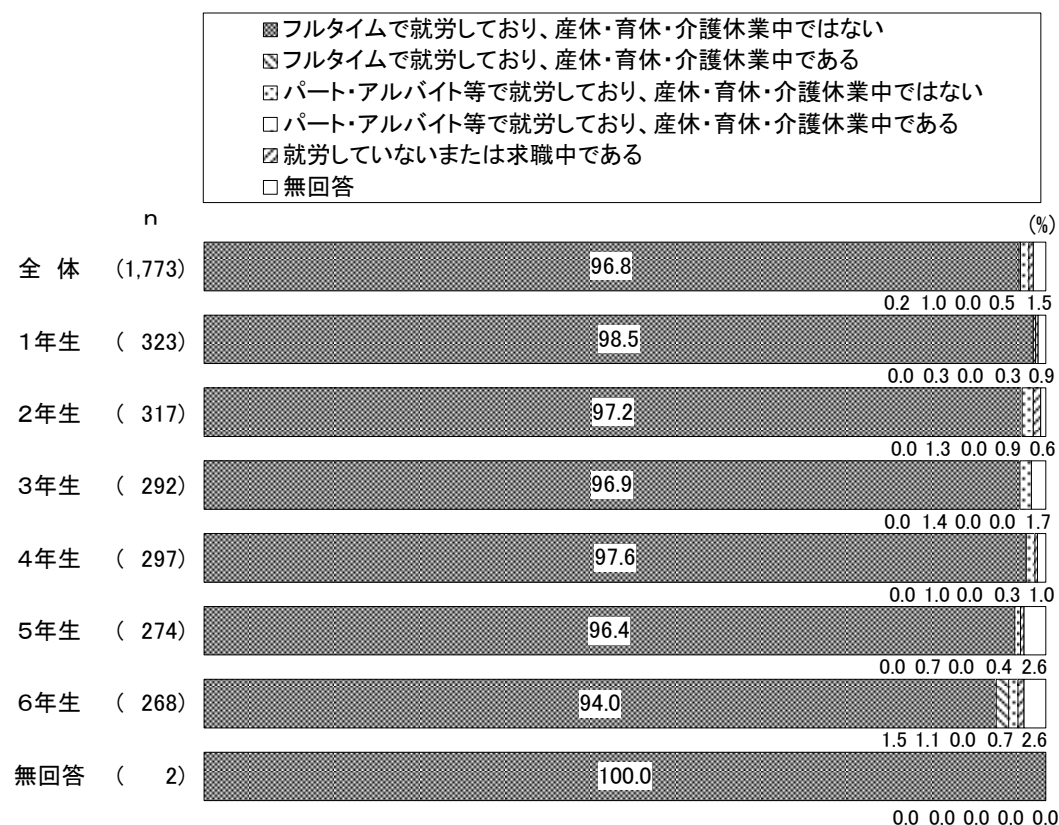


図3-3 保護者の就労状況（子どもの学年別）【父親】



(1-1) 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間

問 11-1 「問 11」でフルタイムまたはパート・アルバイトで就労していると答えた方にかがいます。「就労日数」「就労時間」などについてお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

図 3-4 就労日数

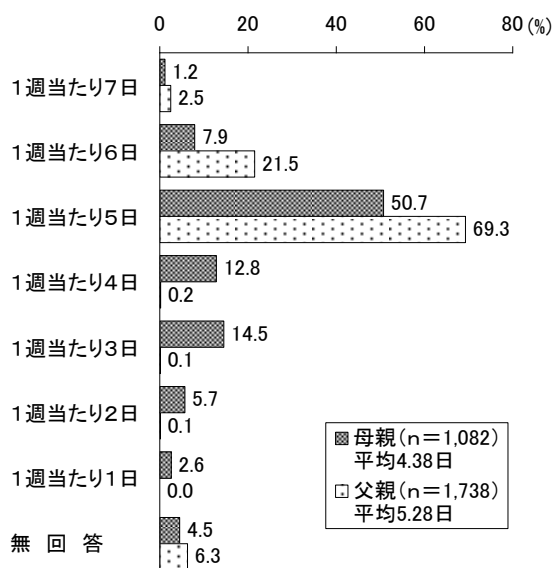
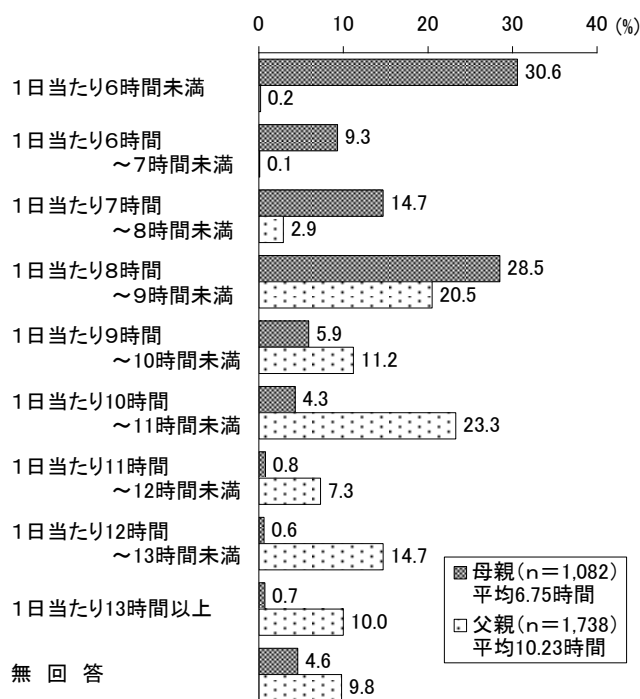


図 3-5 就労時間



1週当たりの就労日数は、母親では「5日」が50.7%で最も多く、次いで「3日」が14.5%、「4日」が12.8%と続いている。

父親では「5日」が69.3%で最も多く、次いで「6日」が21.5%と続いている。(図3-4)

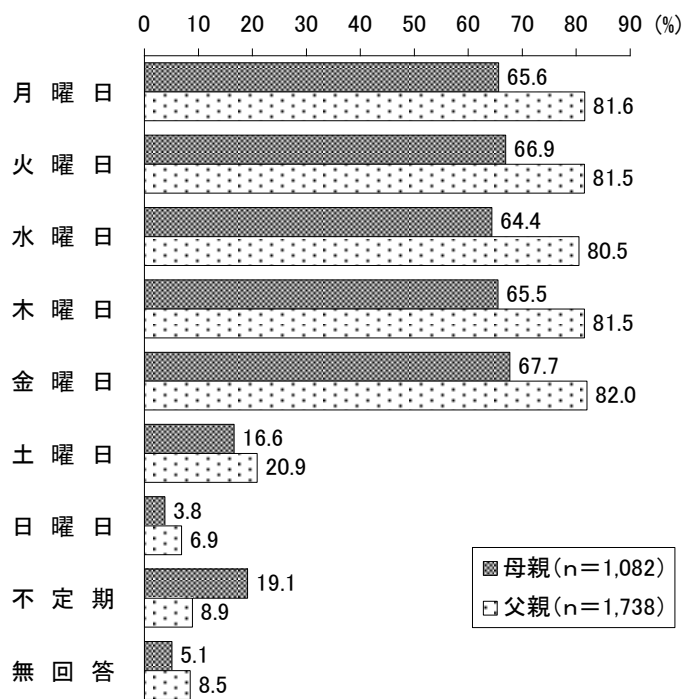
1日当たりの就労時間は、母親では「6時間未満」が30.6%で最も多く、次いで「8時間～9時間未満」が28.5%と続いている。

父親では「10時間～11時間未満」が23.3%で最も多く、次いで「8時間～9時間未満」が20.5%と続いている。(図3-5)

(1-2) 働いている曜日

問 11-1 「問 11」でフルタイムまたはパート・アルバイトで就労していると答えた方にかがいます。「就労日数」「就労時間」などについてお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

図 3-6 働いている曜日

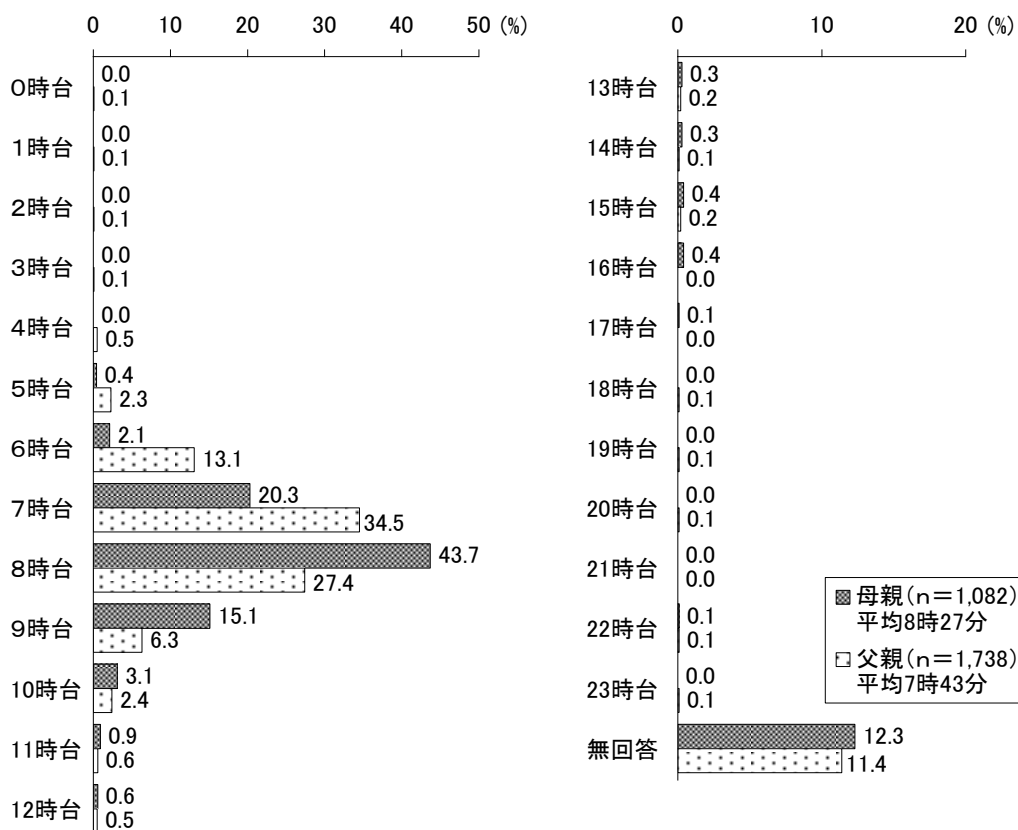


働いている曜日は、「月曜日」、「火曜日」、「水曜日」、「木曜日」、「金曜日」が母親で6割台、父親で8割台となっている。(図 3-6)

(1-3) 出勤時間と帰宅時間

問 11-1 「問 11」でフルタイムまたはパート・アルバイトで就労していると答えた方にうかがいます。「就労日数」「就労時間」などについてお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

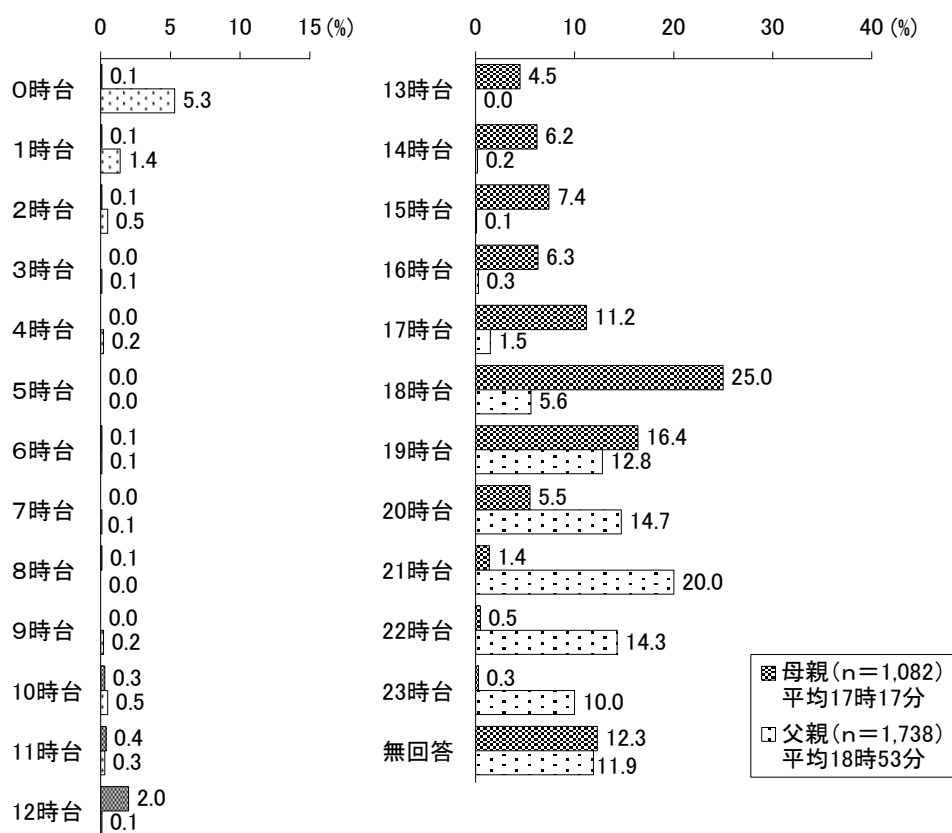
図 3-7 出勤時間



出勤時間は、母親では「8時台」が43.7%で最も多く、次いで「7時台」が20.3%、「9時台」が15.1%と続いている。

父親では「7時台」が34.5%で最も多く、次いで「8時台」が27.4%、「6時台」が13.1%と続いている。(図3-7)

図3-8 帰宅時間



帰宅時間は、母親では「18時台」が25.0%で最も多く、次いで「19時台」が16.4%、「17時台」が11.2%と続いている。

父親では「21時台」が20.0%で最も多く、次いで「20時台」が14.7%、「22時台」が14.3%と続いている。(図3-8)

在宅勤務の方の仕事開始時間は、「9時台」が母親で8.1%、父親で5.5%と最も多くなっている。

(図3-9)

在宅勤務の方の仕事終了時間は、母親では「17時台」が5.5%で最も多く、父親では「18時台」が3.1%で最も多くなっている。(図3-10)

図3-9 在宅勤務の方の仕事開始時間

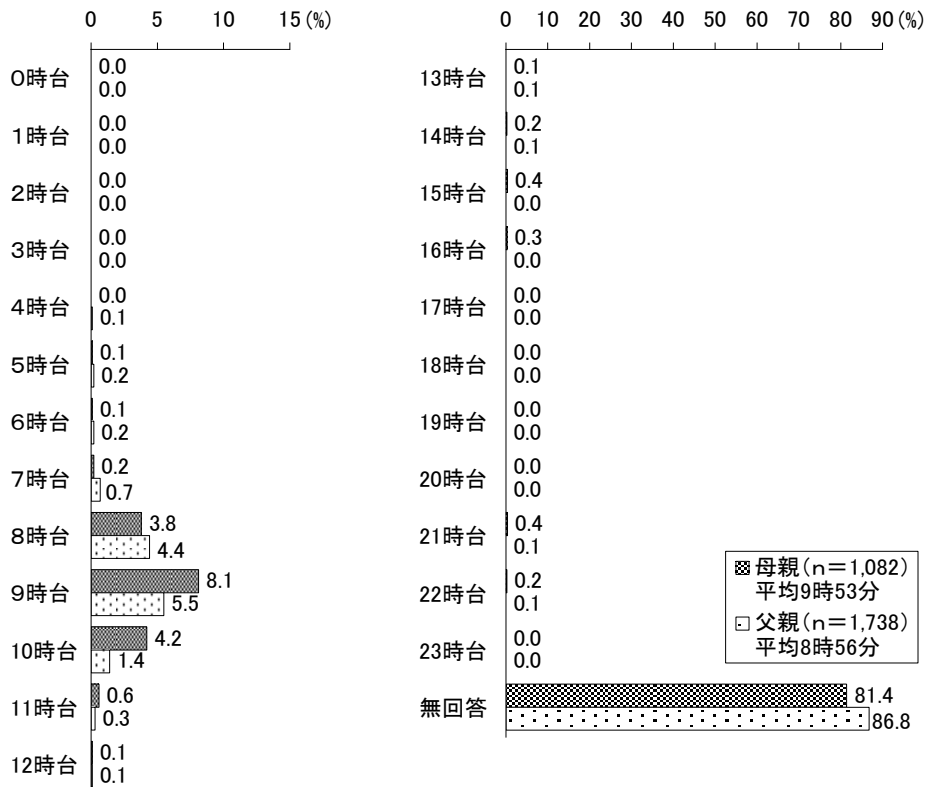
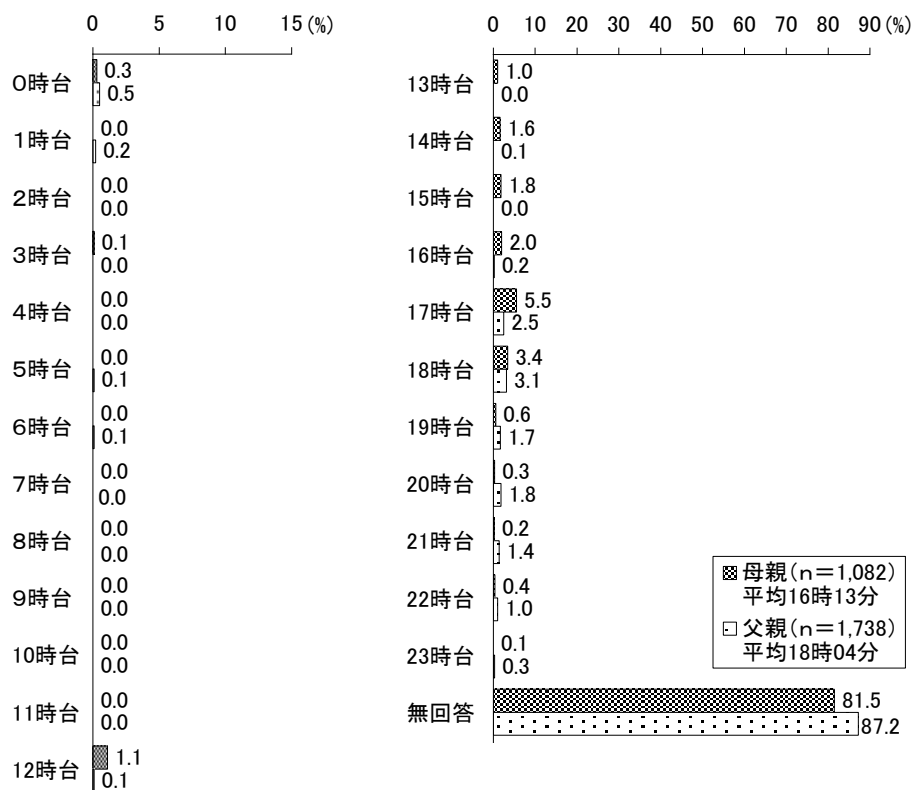


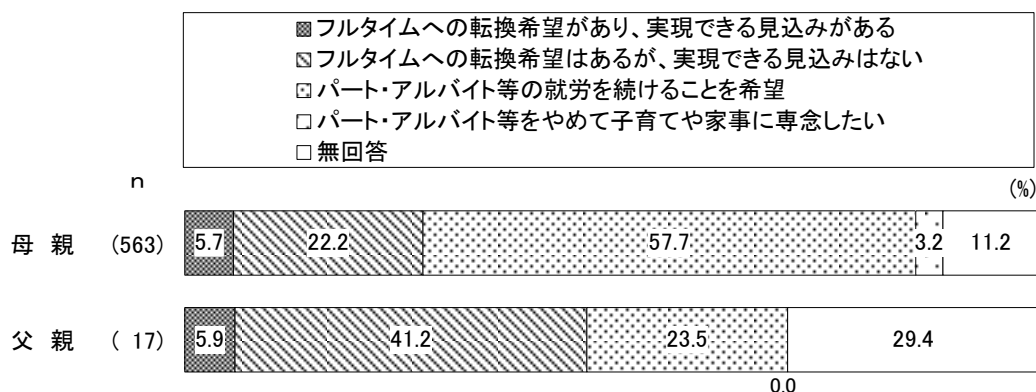
図3-10 在宅勤務の方の仕事終了時間



(2) パートタイムで就労している人の今後の就労意向

問12 「問11」で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である」と答えた方にかかっています。フルタイムへの転換希望はありますか。「フルタイム」とは1週間に5日程度・1日8時間程度の仕事をさします。

図3-11



パートタイムで就労している人の今後の就労意向は、母親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が57.7%で最も多くなっている。また、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が5.7%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は22.2%となっており、フルタイムへの転換希望は合わせて27.9%となっている。

父親では「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が41.2%で最も多く、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が5.9%となっており、フルタイムへの転換希望は合わせて47.1%となっている。また、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」は23.5%となっている。(図3-11)

子どもの学年別にみると、母親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が5年生で66.4%、6年生で61.4%と、低学年と比べて多くなっている。また、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は1年生で29.9%と多くなっている。

父親については、対象数が少ないため、参考までに図示する。(図3-12・13)

図3-12 パートタイムで就労している人の今後の就労意向（子どもの学年別）【母親】

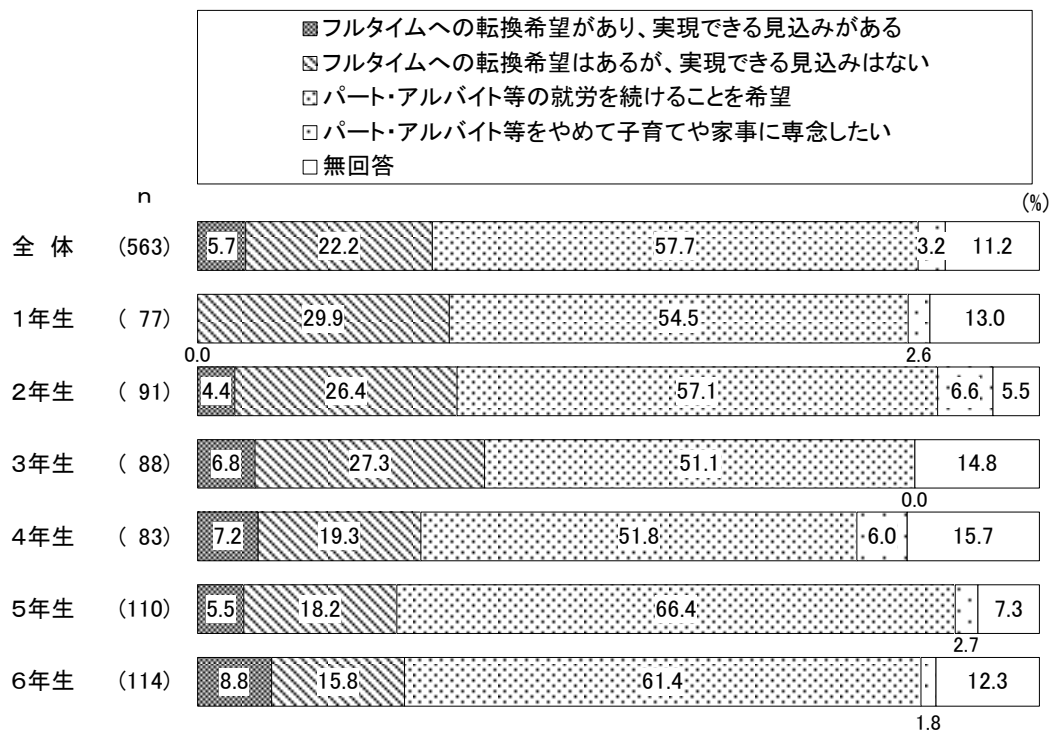
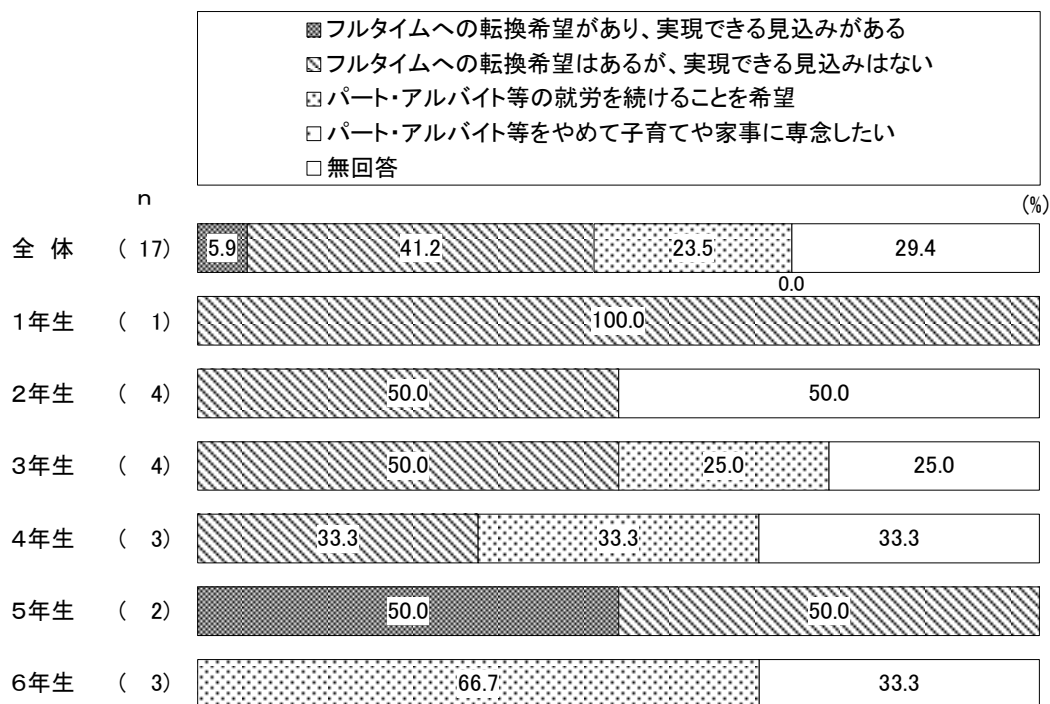


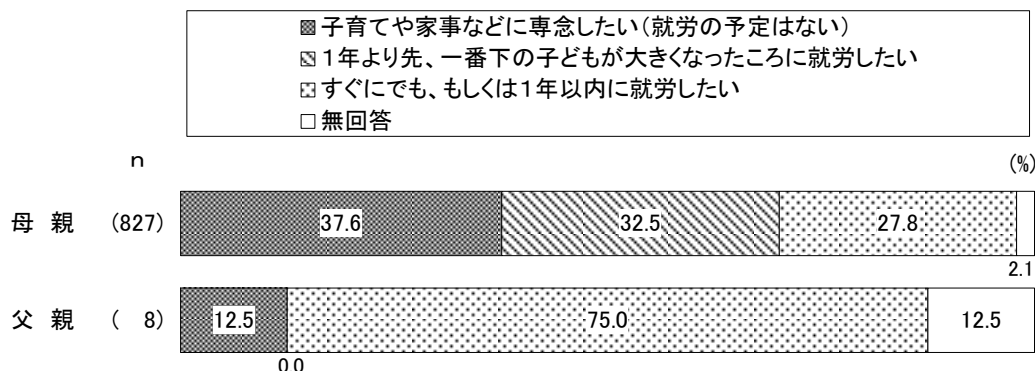
図3-13 パートタイムで就労している人の今後の就労意向（子どもの学年別）【父親】



(3) 未就労者の今後の就労意向

問13 「問11」で「就労していないまたは求職中」と答えた方にうかがいます。今後の就労希望はありますか。

図3-14



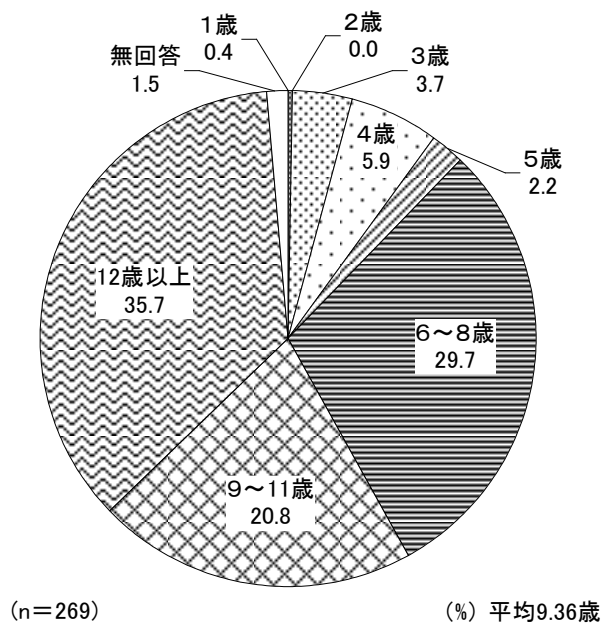
未就労者の今後の就労意向は、母親では「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が37.6%で最も多く、次いで「1年より先、一番下の子どもが大きくなったところに就労したい」が32.5%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が27.8%と続いている。

父親については、対象が8名と少ないため、参考までに図示する。(図3-14)

「1年より先、一番下の子どもが大きくなったところに就労したい」と答えた人が、子どもが何歳になったところに就労したいかは、母親では「12歳以上」が35.7%で最も多く、次いで「6～8歳」が29.7%、「9～11歳」が20.8%と続いている。

父親については対象者がいなかった。(図3-15)

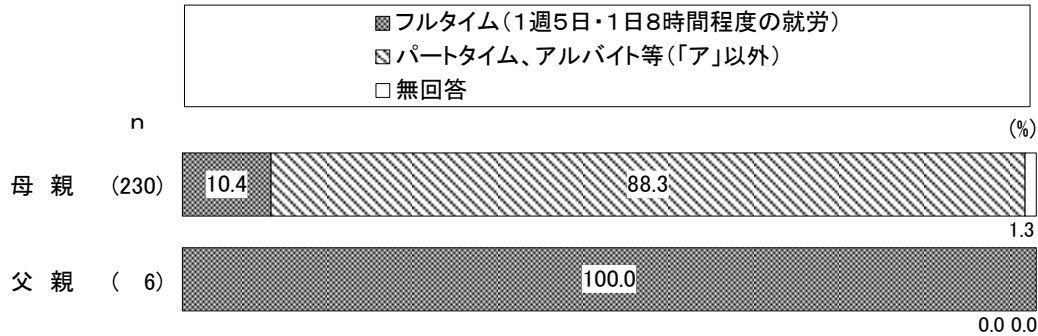
図3-15 子どもが何歳になったところに就労したいか【母親】



「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」と答えた人の希望する就労形態は、母親では「パートタイム、アルバイト等」が88.3%、「フルタイム（1週5日・1日8時間程度の就労）」は10.4%となっている。

父親については、対象が6名と少ないため、参考までに図示する。（図3-16）

図3-16 希望する就労形態



希望する就労形態で「パートタイム、アルバイト等」と答えた人の、1週当たりの希望勤務日数は、母親では「3日」が62.6%で最も多く、次いで「4日」が25.1%と続いている。

父親については対象者がいなかった。（図3-17）

1日当たりの希望勤務時間は、母親では「5時間～6時間未満」が43.3%で最も多く、次いで「5時間未満」が30.5%、「6時間～7時間未満」が20.7%と続いている。

父親については対象者がいなかった。（図3-18）

図3-17 希望勤務日数【母親】

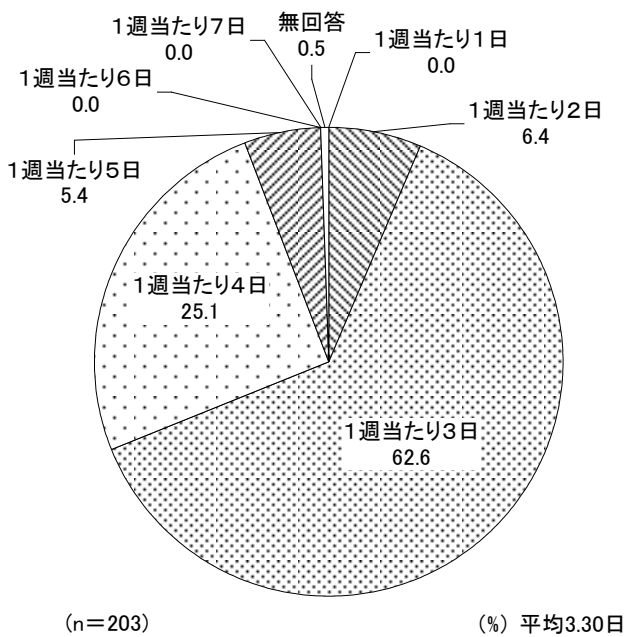
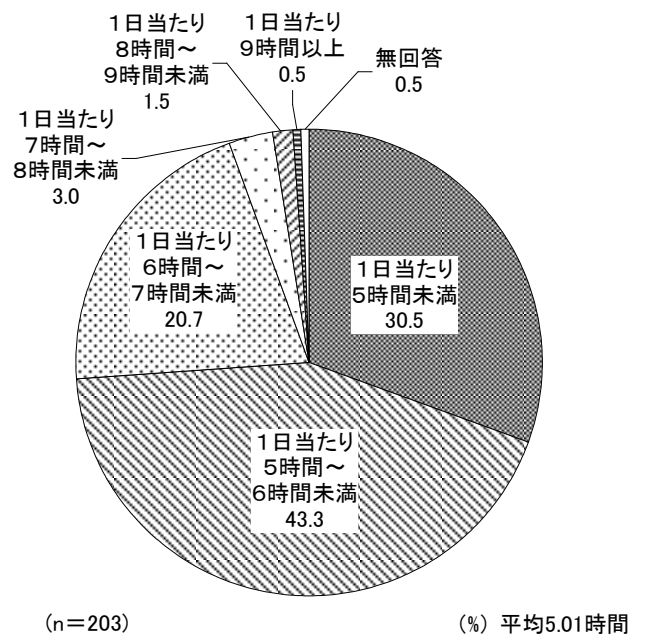


図3-18 希望勤務時間【母親】

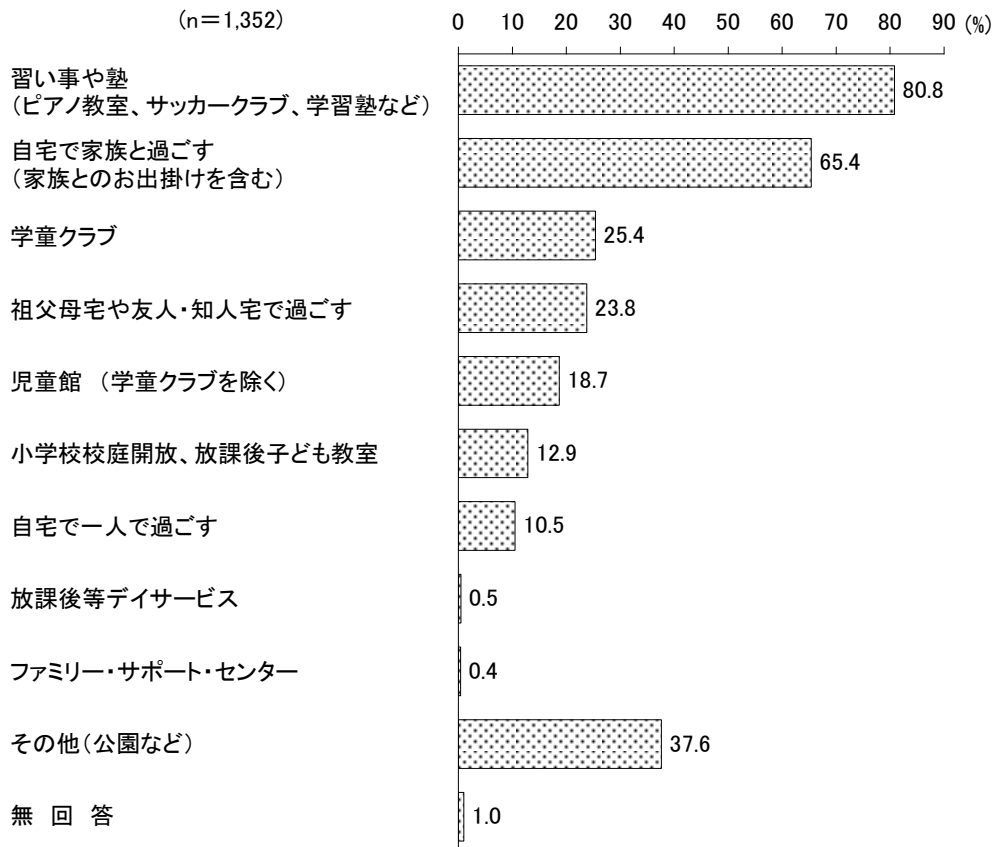


4. 子どもの放課後の過ごし方

(1) 現在の放課後の過ごし方

問 14 お子さんが小学校 1～4 年生の保護者のみお答えください。宛名のお子さんは現在、放課後（平日の小学校終了後）をどのように（どこで）過ごしていますか。当てはまる過ごし方とともに、週当たりの日数をご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用の時間もご記入ください。時間は 24 時間制でご記入ください。

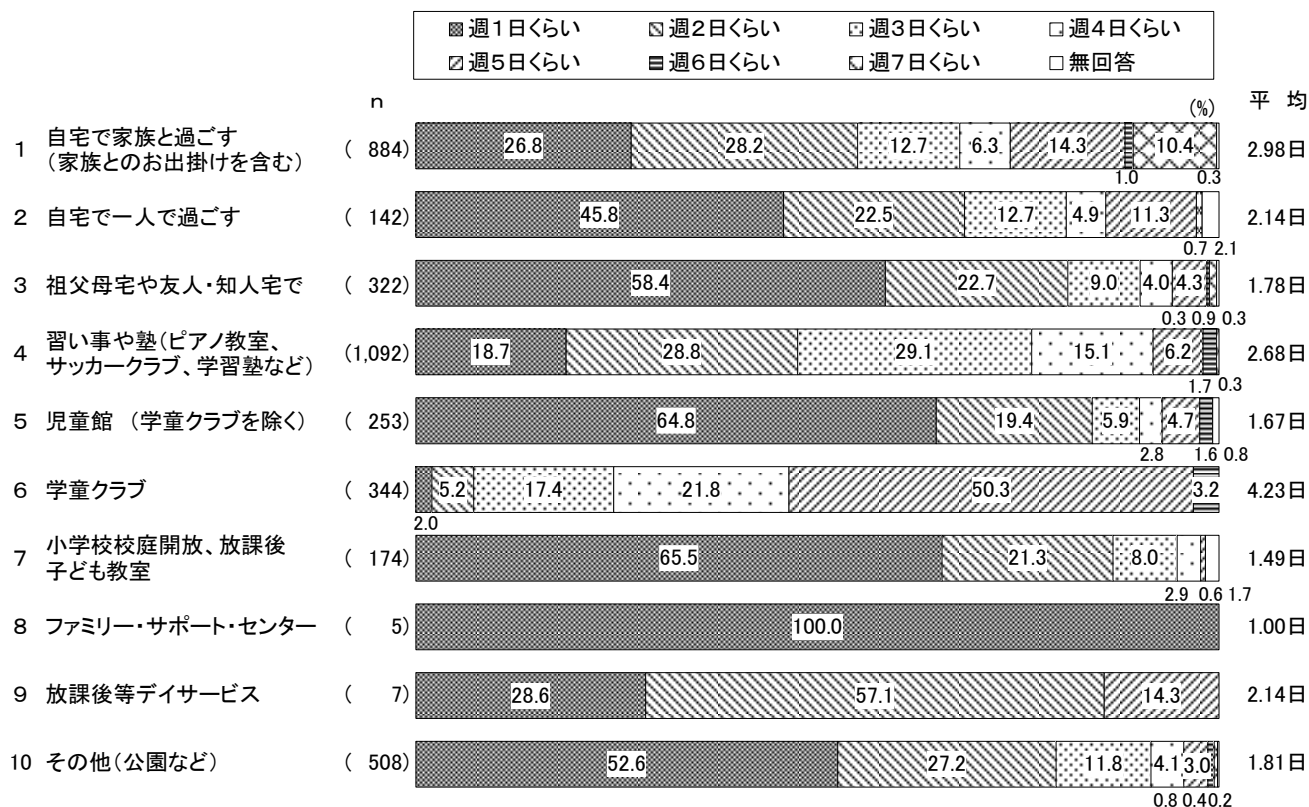
図 4 - 1



現在の放課後の過ごし方は、「習い事や塾（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 80.8% で最も多く、次いで「自宅で家族と過ごす（家族とのお出掛けを含む）」が 65.4%、「学童クラブ」が 25.4%と続いている。（図 4 - 1）

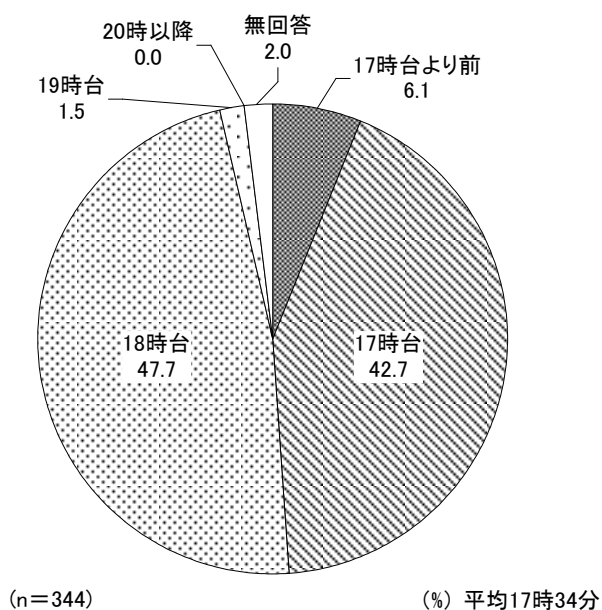
1週当たりの利用日数は、「週1日くらい」が“小学校校庭開放、放課後子ども教室”で65.5%、「児童館（学童クラブを除く）」で64.8%と多くなっている。また、「週3日くらい」は“習い事や塾（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）”で29.1%と多く、「週5日くらい」が“学童クラブ”で50.3%と多くなっている。（図4-2）

図4-2 利用日数



現在の放課後の過ごし方で「学童クラブ」と答えた人が、下校時から何時まで利用しているかは、「18時台」が47.7%で最も多く、次いで「17時台」が42.7%と続いている。（図4-3）

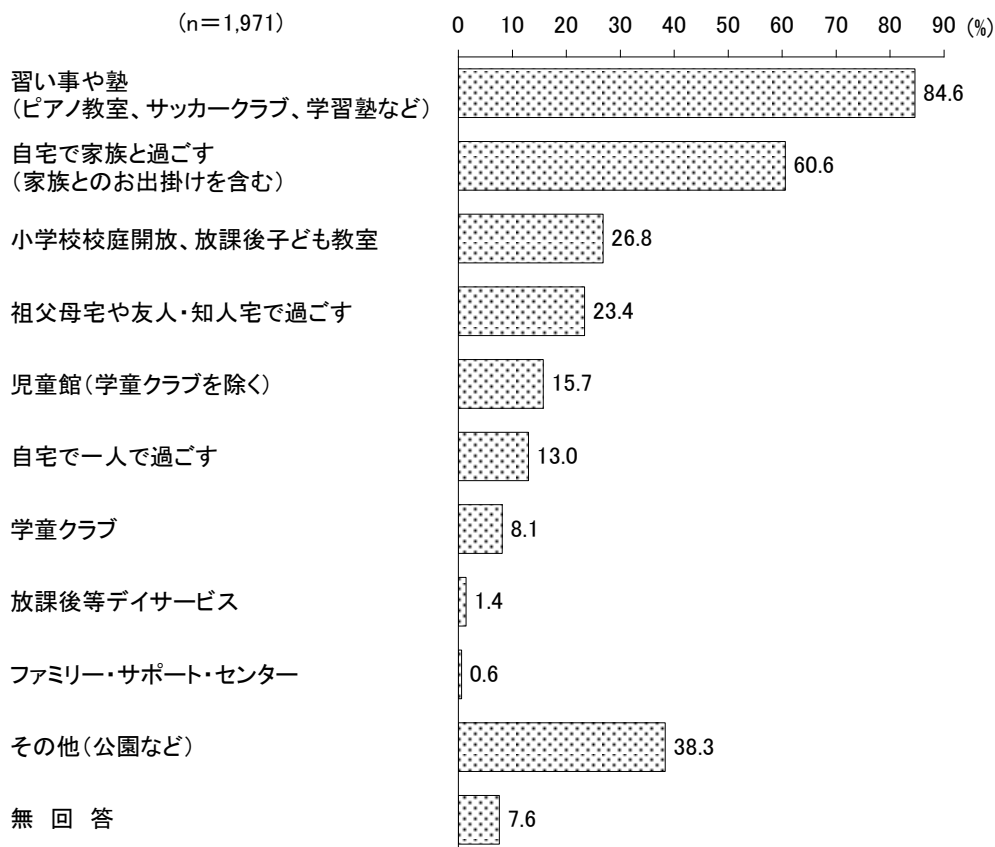
図4-3 学童クラブの利用時間



(2) 希望する放課後の過ごし方

問 15 すべての方にうかがいます。宛名のお子さんが小学校5年生、6年生のときは、放課後（平日の小学校終業後）の時間をどのように過ごさせたいと思いますか。当てはまる過ごし方とともに、週当たりの日数をご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用の時間をご記入ください。時間は24時間制でご記入ください。

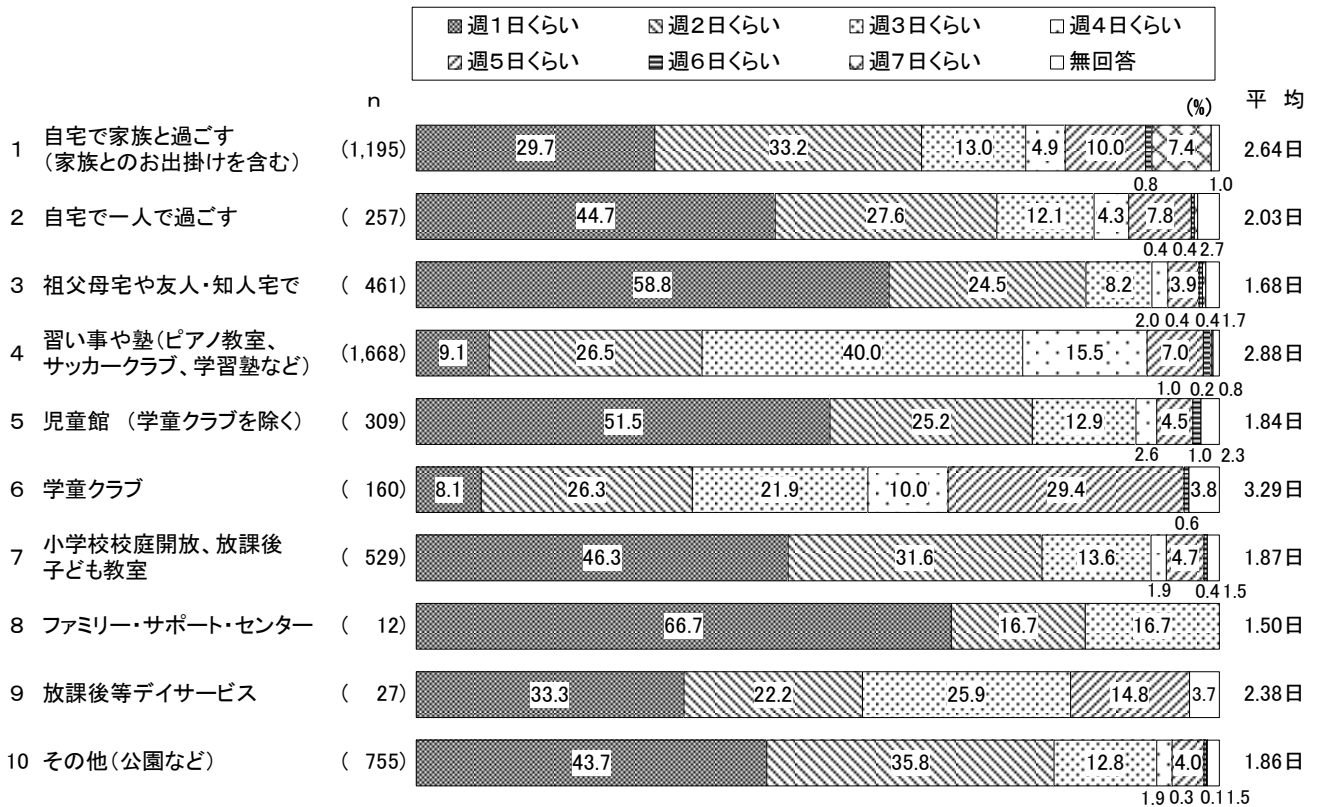
図 4 - 4



希望する放課後の過ごし方は、「習い事や塾(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が84.6%で最も多く、次いで「自宅で家族と過ごす(家族とのお出掛けを含む)」が60.6%、「小学校校庭開放、放課後子ども教室」が26.8%と続いている。(図4-4)

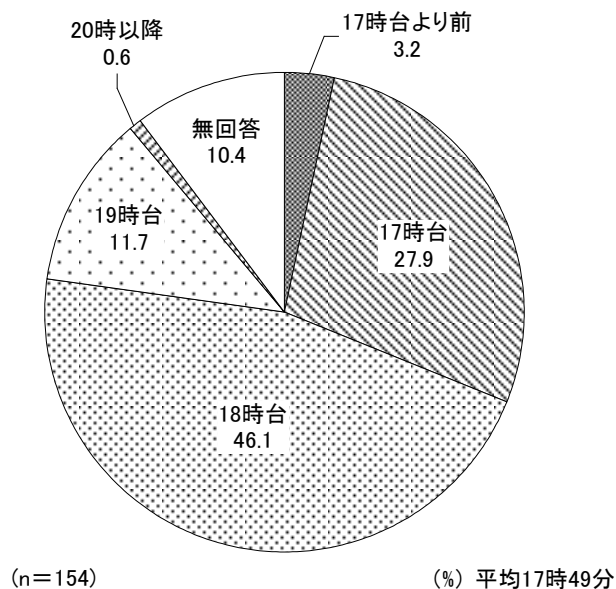
1週当たりの希望日数は、「週1日くらい」が“ファミリー・サポート・センター”で66.7%、「祖父母宅や友人・知人宅で過ごす」で58.8%と多くなっている。また、「週3日くらい」は“習い事や塾（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）”で40.0%と多く、「週5日くらい」が“学童クラブ”で29.4%と多くなっている。（図4-5）

図4-5 希望日数



希望する放課後の過ごし方で「学童クラブ」と答えた人が、下校時から何時まで利用を希望するかは、「18時台」が46.1%で最も多く、次いで「17時台」が27.9%、「19時台」が11.7%と続いている。（図4-6）

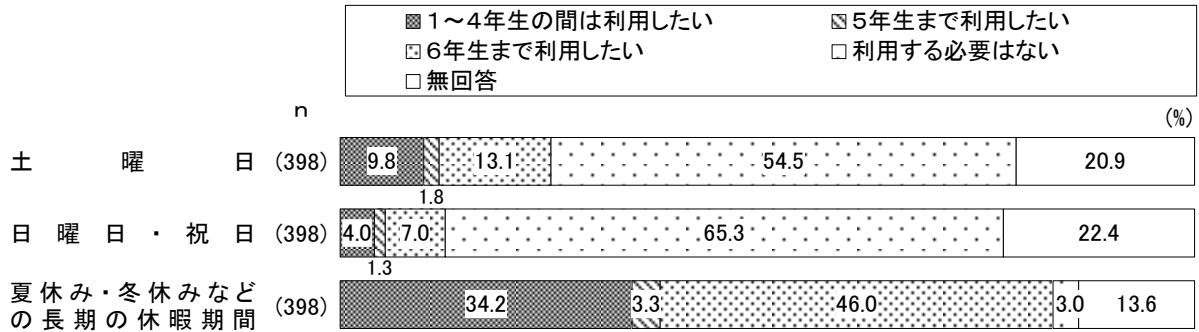
図4-6 学童クラブの利用希望時間



(3) 学童クラブの土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の利用希望

問 16 問 14 または問 15 で「学童クラブ」と回答した方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、夏休みや冬休みなどの長期休暇中の、学童クラブの利用希望はありますか。また利用したい日数を、ご記入ください。

図 4-7



学童クラブの土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の利用希望は、「利用する必要はない」が土曜日で54.5%、日曜日・祝日で65.3%と多くなっている。また、「6年生まで利用したい」は夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間で46.0%と多くなっている。(図4-7)

「1~4年生の間は利用したい」、「5年生まで利用したい」、「6年生まで利用したい」と答えた人の利用希望日数は、土曜日では「月2日」と「月4日」がともに29.6%で最も多く、次いで「月1日」が19.4%と続いている。

日曜日・祝日では「月2日」が44.9%で最も多く、次いで「月1日」が20.4%、「月4日」が16.3%と続いている。(図4-8)

長期休暇中では、「週5日程度」が72.9%で最も多く、次いで「週3日」が10.8%と続いている。(図4-9)

図 4-8 土曜日、日曜日・祝日の利用希望日数

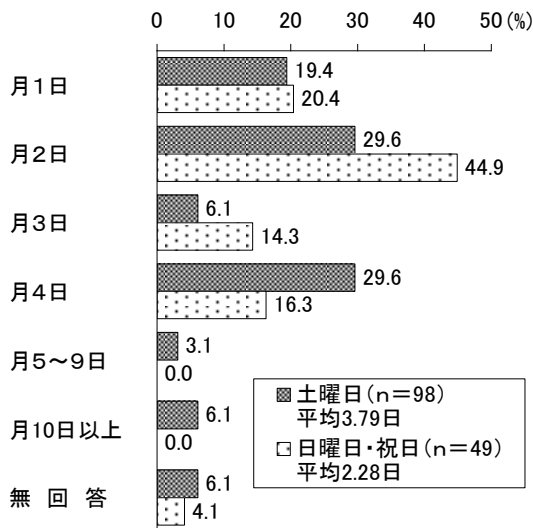
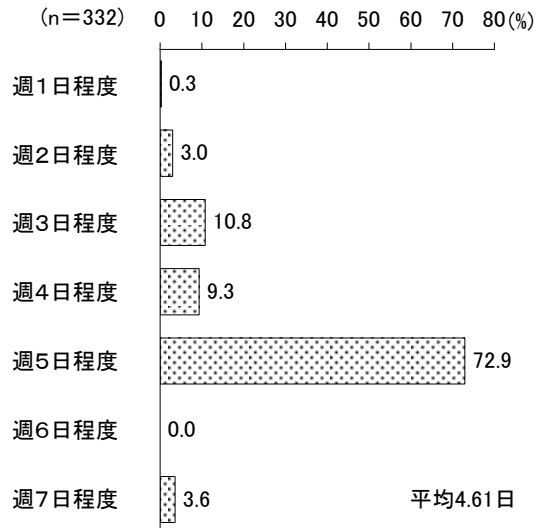


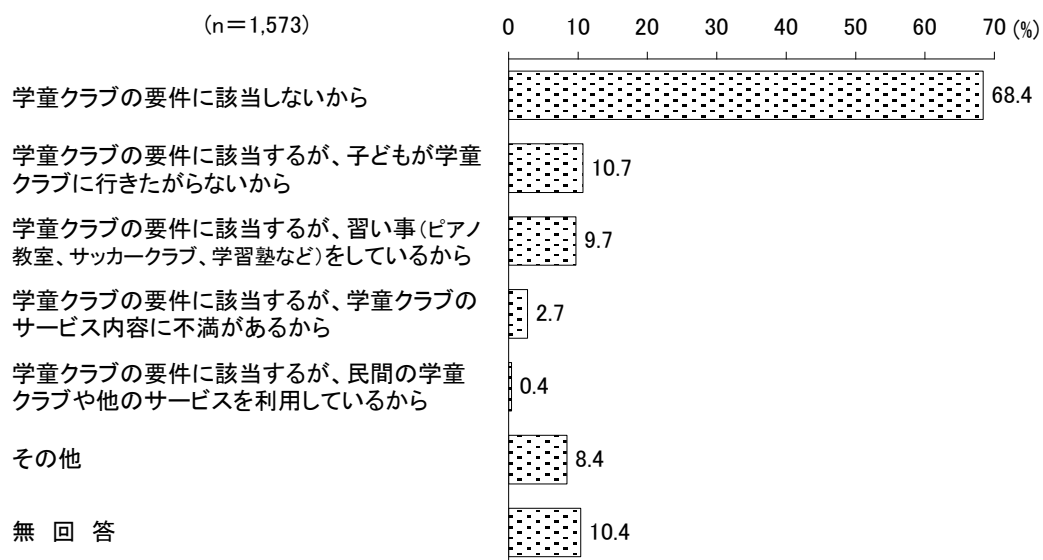
図 4-9 長期休暇中の利用希望日数



(4) 学童クラブを利用しない理由

問 17 問 14 または問 15 で「学童クラブ」と回答しなかった方にうかがいます。学童クラブを利用していない（利用しない）理由についてご回答ください。（〇はいくつでも）

図 4-10



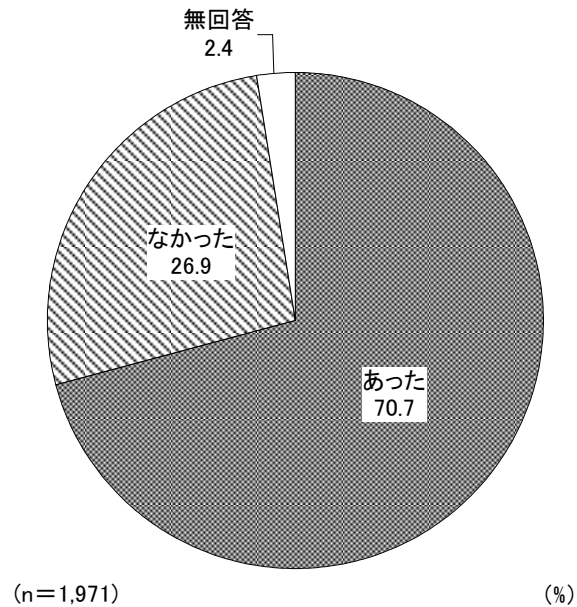
学童クラブを利用しない理由は、「学童クラブの要件に該当しないから」が 68.4%で最も多く、次いで「学童クラブの要件に該当するが、子どもが学童クラブに行きたがらないから」が 10.7%、「学童クラブの要件に該当するが、習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）をしているから」が 9.7%と続いている。（図 4-10）

5. 一時預かり等の利用状況

(1) この1年間に保護者の私用で子どもを預けた経験の有無

問 18 宛名のお子さんについて、保護者の私用（買い物、リフレッシュ等）、通院、不規則の就労等の目的で、家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。ある場合は、1年間の利用日数（おおよそ）もご記入ください。

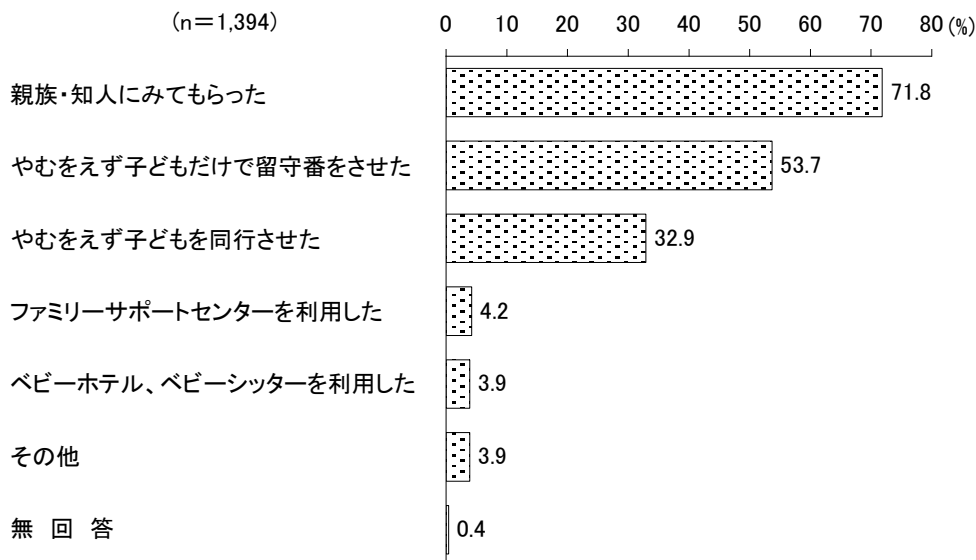
図 5 - 1



この1年間に保護者の私用で子どもを預けた経験の有無は、「あった」が70.7%、「なかった」は26.9%となっている。(図5-1)

この1年間に保護者の私用で子どもを預けた経験が「あった」と答えた人の、その際の行動は、「親族・知人にみてもらった」が71.8%で最も多く、次いで「やむをえず子どもだけで留守番をさせた」が53.7%、「やむをえず子どもを同行させた」が32.9%と続いている。(図5-2)

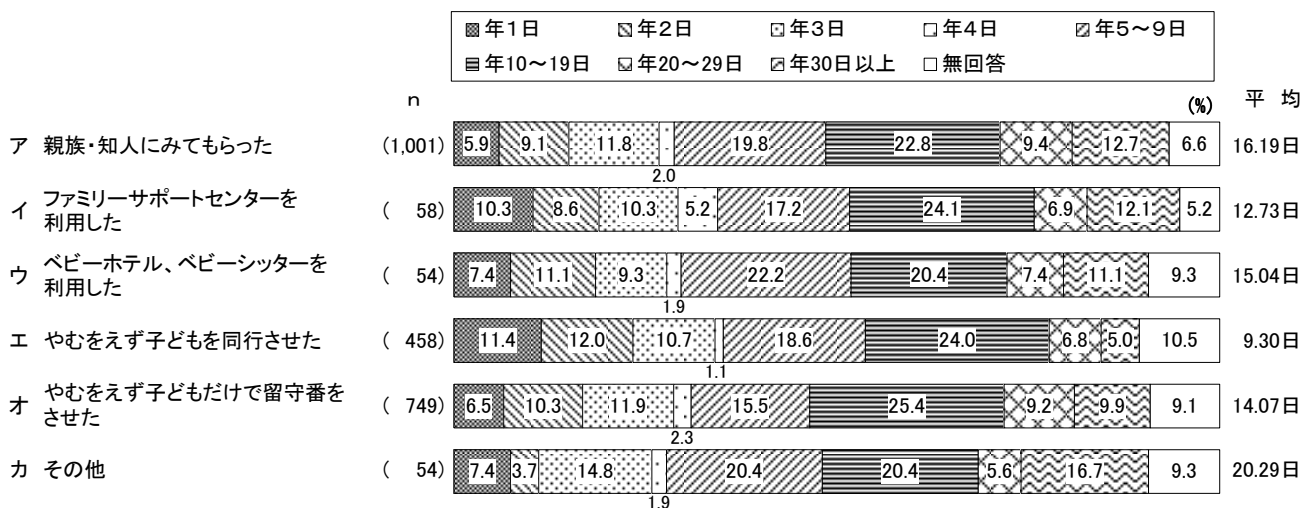
図5-2 この1年間に保護者の私用で子どもを預けた際の行動



この1年間に保護者の私用で子どもを預けた経験が「あった」と答えた人の、子どもを預けた日数は、「年5～9日」が“ベビーホテル、ベビーシッターを利用した”で22.2%と多くなっている。

(図5-3)

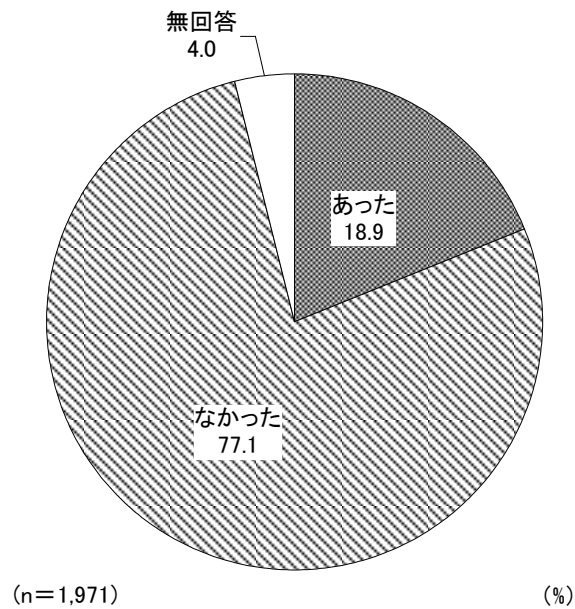
図5-3 子どもを預けた日数



(2) この1年間に宿泊を伴って子どもを預けた経験の有無

問19 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間にとった行動として当てはまるものと、それぞれの日数もご記入ください。

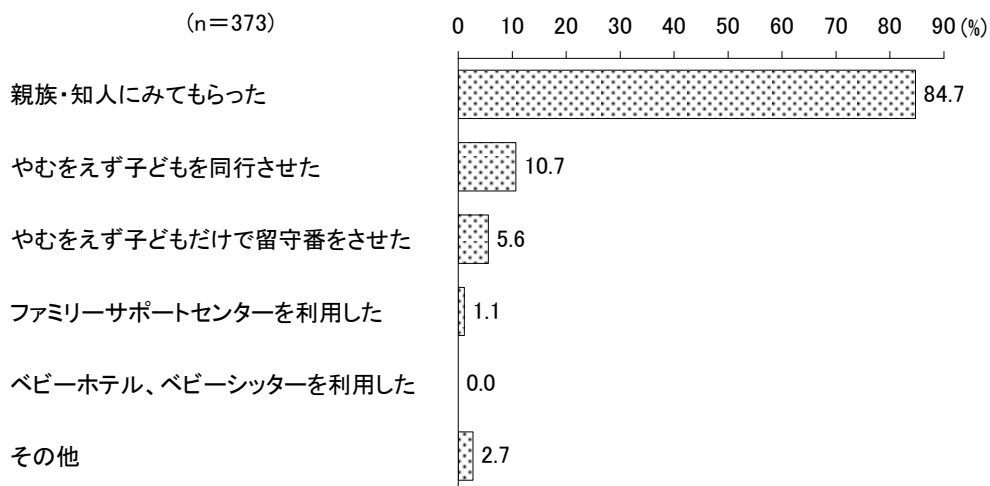
図5-4



この1年間に宿泊を伴って子どもを預けた経験の有無は、「あった」は18.9%、「なかった」が77.1%となっている。(図5-4)

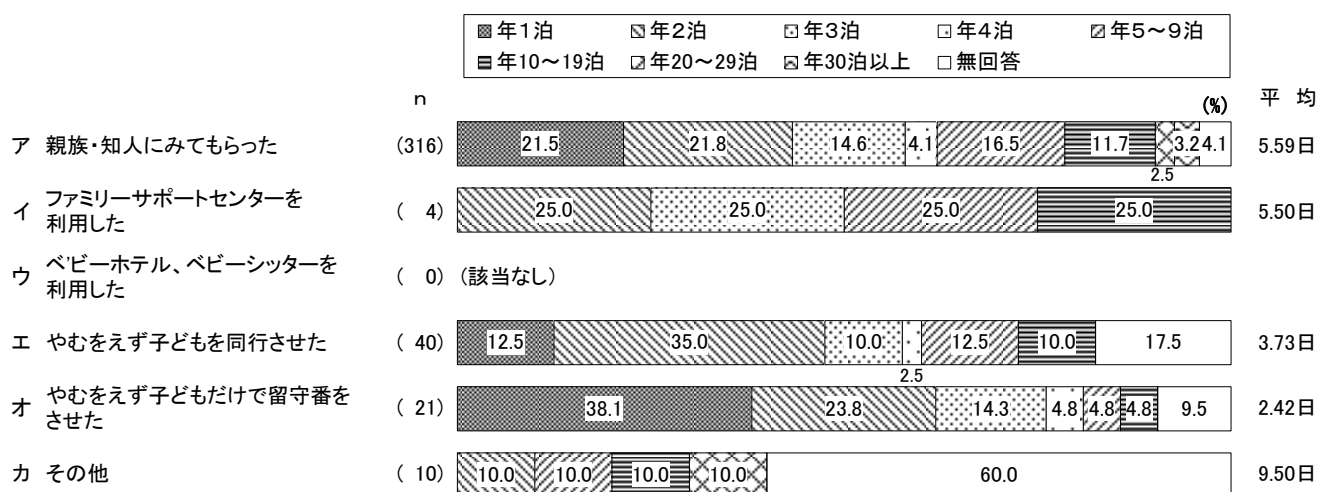
この1年間に宿泊を伴って子どもを預けた経験が「あった」と答えた人の、その際の行動は、「親族・知人にみてもらった」が84.7%で最も多く、次いで「やむをえず子どもを同行させた」が10.7%と続いている。(図5-5)

図5-5 この1年間に宿泊を伴って子どもを預けた際の行動



この1年間に宿泊を伴って子どもを預けた経験が「あった」と答えた人の、子どもを預けた日数は、「年1泊」が“やむをえず子どもだけで留守番をさせた”で38.1%と多く、「年2泊」は“やむをえず子どもを同行させた”で35.0%と多くなっている。(図5-6)

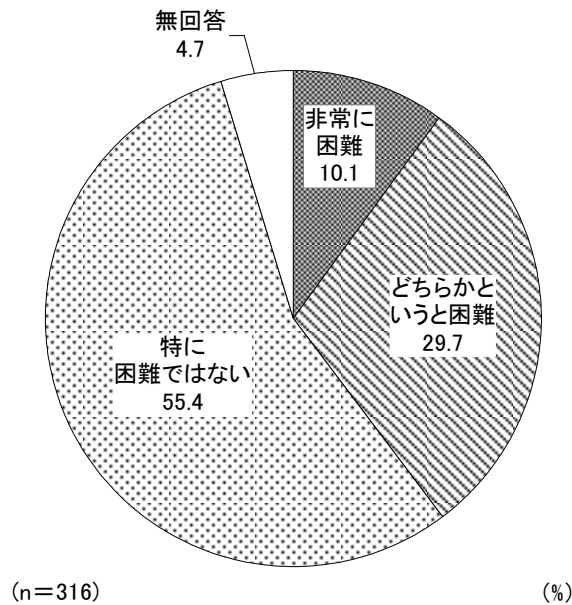
図5-6 子どもを預けた日数



(2-1) 子どもを泊まりがけで親族・知人に預けた際の困難度

問19-1 問19で「あった、親族・知人にみてもらった」と答えた方にかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。(○は1つだけ)

図5-7



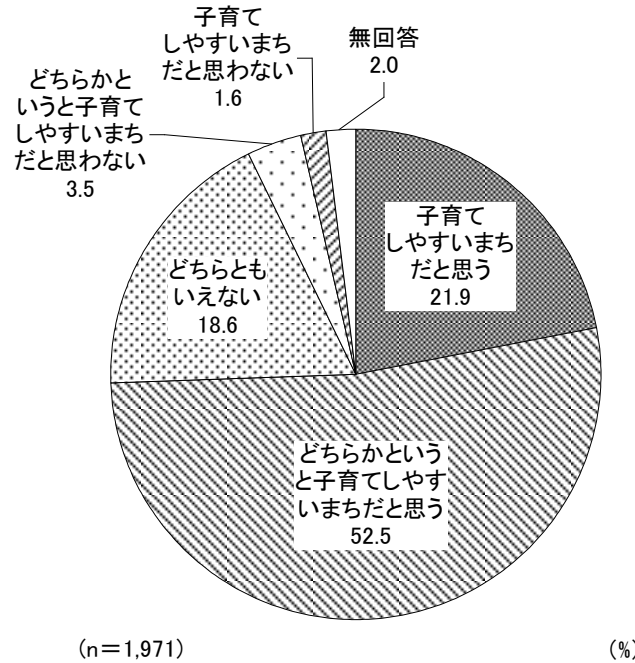
子どもを泊まりがけで親族・知人に預けた際の困難度は、「非常に困難」は10.1%、「どちらかという困難」が29.7%となっており、困難と感じる人は合わせて39.8%となっている。一方、「特に困難ではない」は55.4%となっている。(図5-7)

6 杉並区の子育てについて

(1) 杉並区の子育てのしやすさ

問 20 杉並区は子育てしやすいまちだと思いますか。(○は1つだけ)

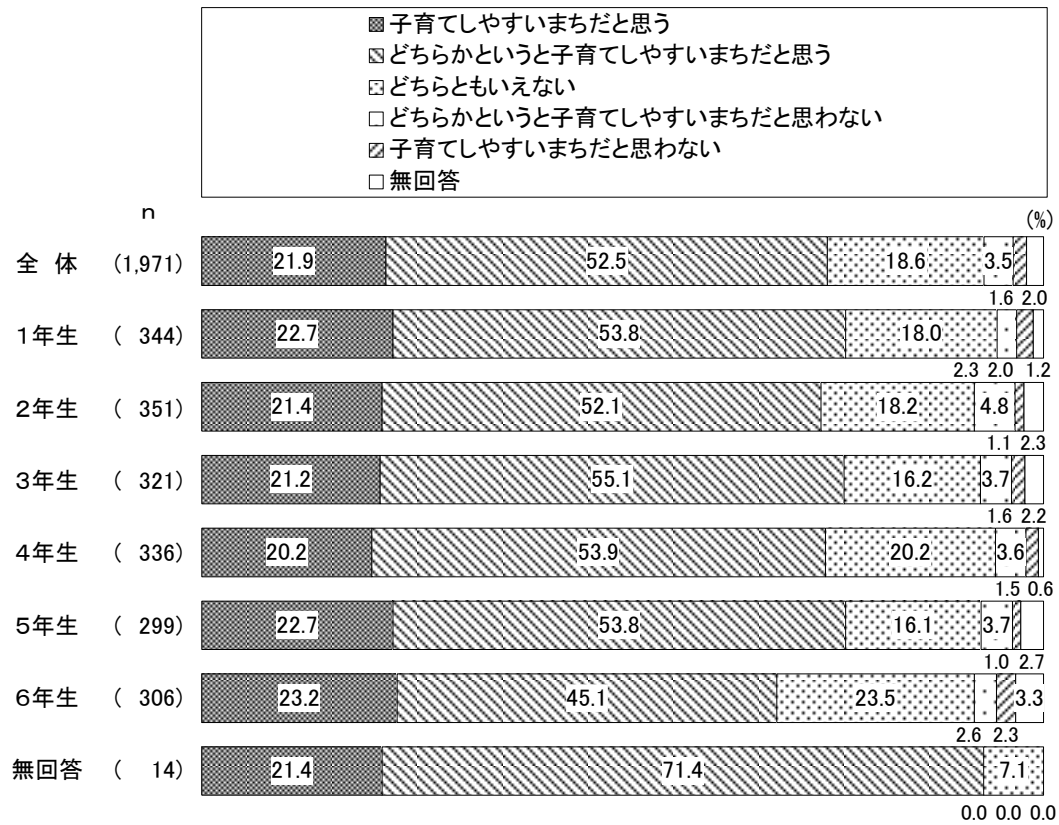
図 6 - 1



杉並区の子育てのしやすさは、「子育てしやすいまちだと思う」は21.9%、「どちらかという子育てしやすいまちだと思う」が52.5%となっており、子育てしやすいまちだと思う人は合わせて74.4%となっている。一方、「どちらかという子育てしやすいまちだと思わない」は3.5%、「子育てしやすいまちだと思わない」は1.6%となっている。(図6-1)

子どもの学年別にみると、「子育てしやすいまちだと思う」と「どちらかという子育てしやすいまちだと思う」を合わせた子育てしやすいまちだと思う人は、すべての学年で6割以上となっている。(図6-2)

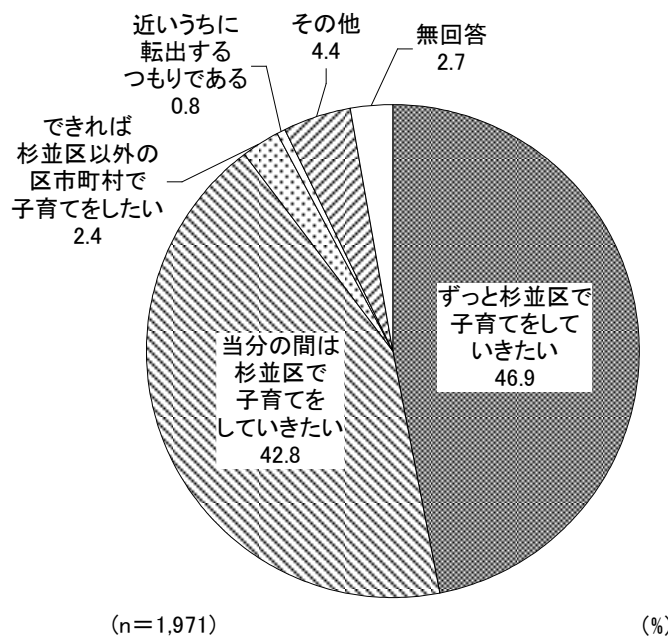
図6-2 杉並区の子育てのしやすさ(子どもの学年別)



(2) 杉並区での子育ての継続意向

問 21 今後も、杉並区で子育てをしていきたいと思いませんか。(〇は1つだけ)

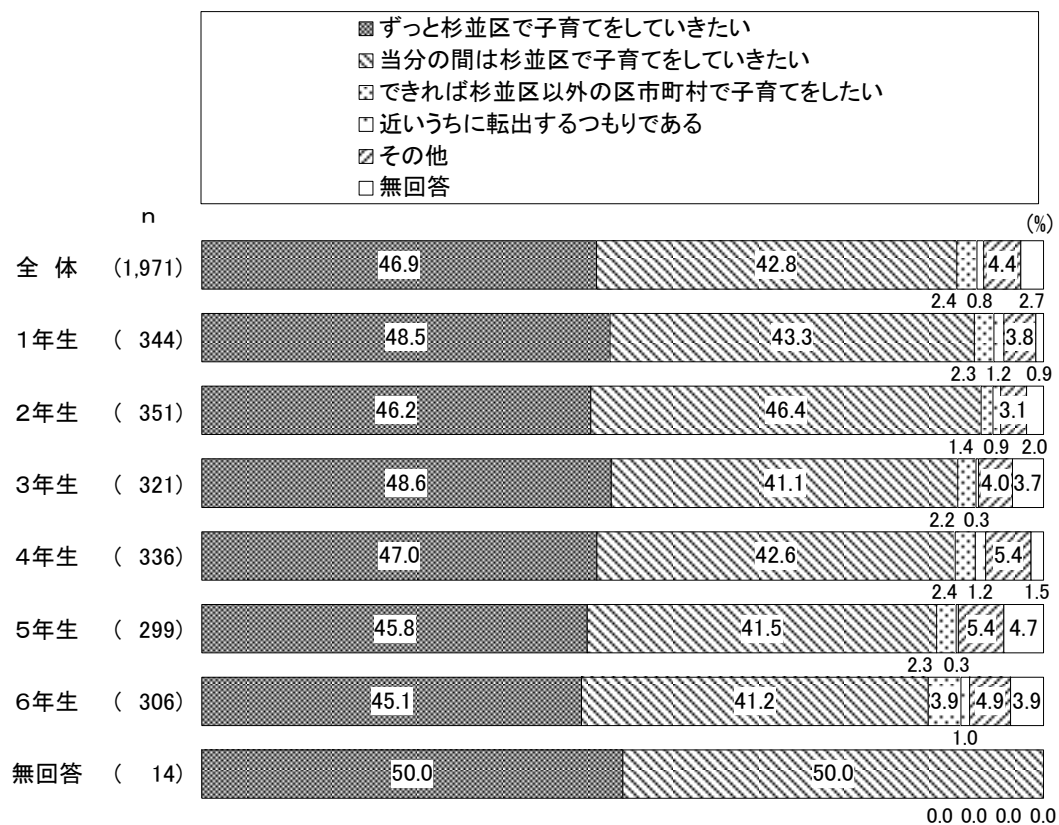
図 6 - 3



杉並区での子育ての継続意向は、「ずっと杉並区で子育てをしていきたい」が46.9%、「当分の間は杉並区で子育てをしていきたい」は42.8%となっており、杉並区で子育てをしていきたい人は合わせて89.7%となっている。一方、「できれば杉並区以外の区市町村で子育てをしたい」は2.4%、「近いうちに転出するつもりである」は0.8%となっている。(図6-3)

子どもの学年別にみると、「ずっと杉並区で子育てをしていきたい」と「当分の間は杉並区で子育てをしていきたい」を合わせた、杉並区で子育てをしていきたい人は1年生で91.8%、2年生で92.6%と多くなっている。(図6-4)

図6-4 杉並区での子育ての継続意向(子どもの学年別)



(3) 杉並区の子育て環境や支援に関する意見

問 22 最後に、杉並区の子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

杉並区の子育て環境や支援に関する意見を自由に記述していただいたところ、1,046人から1,347件の回答が寄せられた。以下の分類項目で該当する意見を整理した。それぞれの分類項目ごとの、主な意見を掲載する。

1 保育・教育環境 (584件)

- 病弱で発達障害のある子どもを働きながら育ててくれるのは杉並区の様々な支援と保育所、発達センター、学童クラブ、済美教育センター、支援通級があつてこそだと日々感謝している。相談機関が話を聞いてくれて、適切な支援、教育につながっていることに感謝している。
- 公園で遊ぶ(近所に同年代の子ども)子どもが少なかったので、お友達の輪が広がるようなサークルが(イベントが)多くあると良い。
- 学童クラブの利用対象が小4までから小6まで延びることは有職者にはありがたいことだが、単に子どもが安全に過ごす施設というだけでなく、民間の教育、子育てサービスと連携しながら(別途有料で)学童クラブ内でおけいこ事ができる等、プログラムの充実も望む。
- 周りの知人を見ても、小学生になると多少の時間は一人で留守番ができる、させる感じがある。そんな時や子どもが困ったときに頼れる場所があつたらいいと思う。未就学児についてはひととき保育等もあるが、利用したいときは満員ということが多い。
- 定期的に利用する学童クラブではなく、臨時的に「月一回」などでも利用できる放課後の預かりの場があるといいと思う。学校に併設されていると、なお安心だと思う。

2 子育て施設の整備 (279件)

- 学童クラブを利用していない子どもにとって、併設の児童館の存在は貴重だと思う。就労している親が安心して児童館に預けることができるように、土曜日や長期休暇に弁当を食べられる、放課後に宿題を見てもらえる、工作、クッキング、スポーツなどの教室を開催するなどの取組があれば良いと思う。有料にして、その分、それぞれに精通したスタッフがいればより安心。
- 学校で十分に放課後遊べるようにすることが大事だと思う。図書館も子どもが一人でも行きやすいように児童文庫のコーナーを1階にしたり、職員を増やしてくれると良いと思う。学童クラブは長期の休みの間、体を動かして遊ぶだけでなく宿題などにも取り組める環境があつたら良い。
- 身近に広い公園が少ないので、放課後に校庭開放をしてほしい。また、小学校にも学童とは別に子ども(在校生)が遊べる場があると良い。
- 子どもたちが存分に体を動かして遊べる公園がもう少し増えとうれしい。特にボール遊びできる公園が少なく、高学年の遊び場が整備されれば、子どもたちの体力づくりにも活かされると思う。

3 子育て支援施策 (262件)

- 中学卒業まで医療費が無料なのは大変ありがたい支援と感謝している。

- 未就学児に対する支援ばかりなので、お金のもっともかかる中高生の支援（高校生まで医療費無料など）がもっとあるとうれしい。
- インフルエンザ等、予防接種の補助が少ない。一方、就学援助の世帯収入額の基準が高いため、これに関しては非常に助かっている。
- 子育て応援券はありがたいが、就園時になると使える範囲が非常に限られている。親子で楽しめるイベント等より、もっと現実的になサポートに使えたほうがありがたい。

4 安心・安全な子育て環境 （81件）

- 不審者情報等、早期の情報提供は良いと思うが、その後の対応がどのようになったのかも知らせてほしい。
- 道路も細く、歩道と車道が分かれていないし、一方通行でもなく子どもを歩かせるのに不安がある。街灯も暗い。
- 子どもを連れて外出するとき歩きタバコになんどヒヤッとさせられたかわからない。傘をカバンと一緒に横持ちする人にも…いずれも小さい子どもの目の位置に危険物があることになるので、徹底的に意識改革を促していただきたい。
- 子どもの登下校が安心できるように、カメラだけでなく場所がわかるビーコンやタグを配布してほしい。

5 子どもへの個別の支援 （22件）

- IQ が高くて手帳はもらえない、でも小学校にはついていけない発達障害のあるようなボーダーラインの子どもがきちんと社会に出られるような教育が不十分である。
- 障害のある子どもにもサポートがあれば大丈夫なら、積極的に普通学級に入れてもらいたい。少しのサポートでできる子どもたくさんいると思う。その子どもたちの未来のためにもできるだけのサポートをお願いしたい。
- 読み書き障害等、通常の学校教育では十分に能力を発揮できない子どもたちへの対応も早急に行って欲しい。発達障害だけでなく、個々の特徴（個性）を大切にそれぞれの違いを尊重しあえるような教育を希望する。

6 仕事と子育ての両立 （14件）

- 働きながら情緒通級の送迎をすることは、会社の理解と自らの努力があっただけでできているが、登下校時のサポートがあると助かる。
- 現在4年生、1年生の2人の子どもがいて。兄を学童クラブに3か月預けたが、国立小に通っていることもあったのか慣れずに、結局フルタイム就業を辞めた。小学校に行っている間だけ働ける「母親タイム」就労があれば良い。

7 保健と医療 （11件）

- 発達障害やことばの遅れなど、親ではわかりづらいので、検査等が気軽にできるようにしてほしい。
- 他自治体に住んでいたときは、開業の小児科医院が数多くあり、その多くが平日は20時迄、土日も午後まで診療、さらには区認可の病児保育もあるなど、有職の母親にとっては心強かつ

た。この点、杉並区では近隣に小児科専門医院がなく、診療時間も仕事後には利用不能であり、今後は育児支援施設と併せて、育児のベースにある健康面でのサポートシステムの充実も図ってほしい。

- 医療の支援が充実していて有難い。

8 子育ておける悩み (4件)

- 相談に行く勇気がなかったら、支援も受けられません。私は外国出身で、そこそこ日本語ができていても子育ては孤立しがち。学校でも子どもが嫌な思いをしている。
- いつ災害があるかわからない中で、親も帰宅難民になる可能性が高く、子どもが一人であると心配。

9 その他 (90件)

- 学校内外に関して積極的に多くのことにチャレンジしてほしい。特に学校教員の育成に力を注いで欲しい。先生自身が教師として誇りを持てる現場にしてほしいと心から願っている。
- 野球、サッカーなどクラブ(学外)は男子のものばかりなので、女子ができるチームスポーツなどが学校、地域であると良い。放課後の子どもが安心して集える場がもっと多様にできることを望む。
- 障害のある子どもと健常の子どもたちが交流できる機会や遊び場がたくさんあると良い。

第4章 調査票

杉並区子育て支援に関するニーズ調査

[就学前児用]

調査へのご協力をお願い

日頃より杉並区の子育て支援施策にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

杉並区では、次代を担う子どもたちが健やかに成長できるよう様々な子育て支援施策を実施しておりますが、平成27年度から「子ども・子育て支援新制度」（新制度のあらましは、同封の国が作成したリーフレットをご覧ください）の実施が予定されている中で、今まで以上の施策の充実を目指して「杉並区子ども・子育て支援事業計画」を策定することといたしました。

本調査は、今後の計画づくりに向けて、小学校入学前のお子さんに対する子育てサービスの利用状況や今後の利用希望等に関する保護者の皆さまのご意見等を把握するために実施するもので、より実態に即した計画とするためにも、多くの皆さまからご回答いただくことが重要と考えています。

調査票は、区内にお住まいの小学校入学前のお子さんを無作為に選ばせていただき、その保護者の方にお送りしています（なお、別途小学生のお子さんがある保護者の皆さまへも調査を行っています）。

またご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理され、個々の内容やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されることは一切ありません。

お忙しい中ご負担をおかけしますが、この調査の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

平成25年12月

杉並区長

田 中 良

～ご記入にあたってのお願い～

- 1 この調査は、封筒の宛名のお子さんの保護者の方がご記入ください。
- 2 特にことわり書きがない設問は、封筒の宛名のお子さんについてお答えください。また、親族の続柄の記載がある設問は、封筒の宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
- 3 選択肢に番号がある設問は、該当の番号に○印を付けてください。○印の数は「1つに○を」「すべてに○を」と表示していますので、それに合わせてください。また、「その他」を選択された場合は、() 内にその内容をご記入ください。
- 4 □がある欄には、設問の答えとなる数字をご記入ください。なお、時間（時刻）を記入いただく欄は、24時間制（例：午後6時は18時）でご記入ください。
- 5 同封の「施設・事業のあらまし」に、施設や事業の説明が書かれていますので、調査回答前にお読みくださいますよう、お願いいたします。
- 6 設問によって回答いただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわりのない場合は、次の設問に進んで下さい。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**12月24日(火)**までにご投函ください。（切手を貼らずにお出しください。住所・氏名を記入する必要はありません。）

【問い合わせ先】

杉並区保健福祉部 子育て支援課 計画推進担当 電話 03-3312-2111（代表）
（内線1362）

はじめに封筒の宛名のお子さんご家族についてうかがいます

問1 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

平成	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月生まれ
----	----------------------	---	----------------------	------

問2 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数	<input type="text"/>	人	末子の生年月	平成	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月生まれ
--------	----------------------	---	--------	----	----------------------	---	----------------------	------

問3 お住まいの町名をおうかがいします。当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

1 阿佐谷北	7 梅里	13 上高井戸	19 下高井戸	25 成田東	31 本天沼
2 阿佐谷南	8 永福	14 久我山	20 松庵	26 西荻北	32 松ノ木
3 天沼	9 大宮	15 高円寺北	21 善福寺	27 西荻南	33 南荻窪
4 井草	10 荻窪	16 高円寺南	22 高井戸西	28 浜田山	34 宮前
5 和泉	11 上井草	17 清水	23 高井戸東	29 方南	35 桃井
6 今川	12 上荻	18 下井草	24 成田西	30 堀ノ内	36 和田

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1 母親	2 父親	3 その他 ()
------	------	-----------

問5 宛名のお子さんの保護者の状況についてうかがいます。それぞれの欄について、当てはまるものに1つずつ○をつけてください。

母 親	父 親
1 一緒に住んでいる	1 一緒に住んでいる
2 単身赴任や入院などで一時的に別に住んでいる	2 単身赴任や入院などで一時的に別に住んでいる
3 別居している	3 別居している
4 死亡、離婚、未婚などでいない	4 死亡、離婚、未婚などでいない

子育ての環境についてうかがいます

問6 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------|---------|-----------|
| 1 父母ともに | 3 主に父親 | 5 その他 () |
| 2 主に母親 | 4 主に祖父母 | |

問7 日頃、宛名のお子さんを預かってもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------------|-----------|
| 1 日常的に、祖父母等の親族に預かってもらえる | } ⇒ 問7-1へ |
| 2 緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族に預かってもらえる | |
| 3 日常的に、子どもを預かってもらえる友人・知人がいる | } ⇒ 問7-2へ |
| 4 緊急時もしくは用事の際には、子どもを預かってもらえる友人・知人がいる | |
| 5 いずれもない ⇒ 問8へ | |

問7-1 問7で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんを預かってもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1 心配することなく、安心して子どもを預かってもらえる |) |
| 2 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である | |
| 3 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | |
| 4 子どもの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい | |
| 5 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | |
| 6 その他 () | |

⇒ 問8へ

問7-2 問7で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人に預かってもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1 心配することなく、安心して子どもを預かってもらえる |) |
| 2 友人・知人の身体的負担が大きく心配である | |
| 3 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | |
| 4 子どもの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい | |
| 5 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | |
| 6 その他 () | |

⇒ 問8へ

問8 宛名のお子さんの子育てをする上で、心配や悩みがありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1 子どもの健康や発育成長のこと	11 養育費や教育費など経済的なこと
2 子どもの栄養や生活習慣	12 仕事との両立の負担
3 子どものしつけや接し方	13 家事や介護などとの両立の負担
4 遊ばせ方や友達のこと	14 地域や社会から孤立している感じ
5 子どもの病気や障害のこと	15 回答者自身や家族の健康問題
6 子どもの進学や将来のこと	16 配偶者や親せきなどの人間関係
7 子育てを助けてくれる人がいない	17 子どもの親同士の人間関係
8 相談できる人がいない、相談先が分からない	18 その他 ()
9 子育てに自信が持てない	
10 子どもにイライラしたり子育てを負担に感じる	19 特に心配や悩みはない

問9 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。または、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1 いる／ある ⇒ 問9-1 へ	2 いない／ない ⇒ 問10 へ
-------------------------	-------------------------

問9-1 問9で「1 いる／ある」に○をつけた方にかかいます。 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1 配偶者	9 保健所・保健センターの職員
2 祖父母等の親族	10 子ども家庭支援センターの職員
3 友人・子育て仲間	11 かかりつけの医師
4 近所の人	12 地域の乳幼児の交流の場（つどいの広場など）の職員
5 保育園の先生	13 塾や習い事の先生
6 幼稚園の先生	14 区や東京都などの公的相談機関（電話相談・メール相談を含む）
7 児童館の職員	15 民間の相談機関（電話相談・メール相談を含む）
8 民生・児童委員	16 その他 ()

問10 子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

保護者の就労状況についてうかがいます

宛名のお子さんの保護者の現在の就労（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。ひとり親家庭の場合は、該当する保護者の欄にご記入下さい。

ここで言う「フルタイム」とは1週間に5日・1日8時間程度の仕事をさします。
「パート・アルバイト等」とはフルタイム以外の就労をさします。

問11 当てはまる就労状況を、「母親」「父親」それぞれの欄の番号に1つ〇をつけてください。

就労状況	母親	父親
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1	1
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	2	2
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	3	3
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	4	4
就労していないまたは求職中である ⇒問13へ	5	5

問11-1 問11でフルタイムまたはパート・アルバイトで就労しているに〇をつけた方にうかがいます。

1週あたりの就労日数・就労時間（残業時間を含む）などをお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は(例) 8～18時のように24時間制でご記入ください。

就労状況	母親	父親
平均的な仕事の 日数、時間	1週当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 日 1日当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時間 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分	1週当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 日 1日当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時間 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分
働いている曜日に 〇をつけてください	月 火 水 木 金 土 日 不定期	月 火 水 木 金 土 日 不定期
出勤・帰宅の時刻	家を出る時刻 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分 帰宅時刻 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分	家を出る時刻 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分 帰宅時刻 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分
在宅勤務の方は 仕事開始・終了時刻	仕事開始 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分 終了 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分	仕事開始 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分 終了 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分

問12 問11で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にかかいます。

フルタイムへの転換希望はありますか。「母親」「父親」それぞれの欄の、当てはまる番号に1つ○をつけてください。「フルタイム」とは1週間に5日・1日8時間程度の仕事をさします。

今後の希望	母 親	父 親
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	3	3
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	4	4

問13 問11で「就労していないまたは求職中である」に○をつけた方にかかいます。該当しない方は、問14へお進みください。

就労したいという希望はありますか。母親、父親の当てはまる番号・記号に○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

(1) 母 親

1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

2 1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい

3 すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

↳ 希望する就労形態（記号に○をつけ、「イ」を選んだ場合は口内に数字をご記入ください）

ア フルタイム（1週5日・1日8時間程度の就労）

イ パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

↳ 1週当たり 日 1日当たり 時間

(2) 父 親

1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

2 1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい

3 すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

↳ 希望する就労形態（記号に○をつけ、「イ」を選んだ場合は口内に数字をご記入ください）

ア フルタイム（1週5日・1日8時間程度の就労）

イ パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

↳ 1週当たり 日 1日当たり 時間

宛名のお子さんの平日の保育園・幼稚園等の利用状況についてうかがいます

問14 宛名のお子さんは現在、保育園や幼稚園など問14-1に示した施設・事業を定期的に利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

*ここでいう「定期的」とは、月単位で定期的に利用している場合をさします。

1 利用している ⇒ 問14-1, 2, 3, 4へ

2 利用していない ⇒ 問14-5へ

問14-1 問14-1～問14-4は、問14で「1 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような施設・事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業の番号すべてに○をつけてください。1～12に○をつけた方は、施設の名称もお書き下さい。

*施設・事業の詳しい説明は、同封した「施設」「事業」のあらましをご覧ください。

1. 認可保育園

13. ベビーシッター

2. 認証保育所

14. ファミリー・サポート・センター

3. 杉並区保育室

15. その他

4. グループ保育室

5. 小規模保育室

6. 幼稚園

7. 幼稚園の預かり保育

8. 区立子供園

9. 認定こども園

10. 家庭福祉員（保育ママ）、家庭福祉グループ

11. その他の認可外の保育施設（ベビーホテル等）

12. 事業所内保育施設

1～12を利用している方は施設名をお書きください（10を選んだ方は福祉員の氏名またはグループ名）

{ }

問14-2 問14-1で○をつけた施設・事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□に数字（24時間制）でご記入ください。複数の施設・事業を利用または希望している場合は、それらを合計した時間をご記入ください。

(1) 現在

1週当たり	<input type="text"/>	日	1日当たり	<input type="text"/>	時間	(<input type="text"/>	時~	<input type="text"/>	時)
-------	----------------------	---	-------	----------------------	----	---	----------------------	----	----------------------	----

(2) 希望

1週当たり	<input type="text"/>	日	1日当たり	<input type="text"/>	時間	(<input type="text"/>	時~	<input type="text"/>	時)
-------	----------------------	---	-------	----------------------	----	---	----------------------	----	----------------------	----

問14-3 現在、利用している施設・事業の実施場所（町名）に○をつけてください。

(複数回答可)

I 杉並区内 ⇒	1	阿佐谷北	7	梅里	13	上高井戸	19	下高井戸	25	成田東	31	本天沼
	2	阿佐谷南	8	永福	14	久我山	20	松庵	26	西荻北	32	松ノ木
	3	天沼	9	大宮	15	高円寺北	21	善福寺	27	西荻南	33	南荻窪
	4	井草	10	荻窪	16	高円寺南	22	高井戸西	28	浜田山	34	宮前
	5	和泉	11	上井草	17	清水	23	高井戸東	29	方南	35	桃井
	6	今川	12	上荻	18	下井草	24	成田西	30	堀ノ内	36	和田
II 杉並区以外												

問14-4 平日に定期的に施設・事業を利用されている理由についてうかがいます。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1	子どもの教育や発達のため
2	子育てをしている方が現在就労している
3	子育てをしている方が就労予定がある／求職中である
4	子育てをしているほうが家族・親族などを介護している
5	子育てをしている方に病気や障害がある
6	子育てをしている方が学生である
7	その他 ()

問14-5 問14で「2 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 母親または父親がみている
- 2 子どもの祖父母や親戚の人がみている
- 3 近所の人や父母の友人・知人がみている
- 4 利用したいが、施設や事業に空きがない
- 5 利用したいが、経済的な理由で施設・事業を利用できない
- 6 使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
- 7 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる施設・事業がない
- 8 利用したいが、子ども本人の病気や障害のため利用できない
- 9 利用したいが、利用資格がない（就労していないなど）
- 10 子どもがまだ小さいため⇒（ 歳くらいになったら利用しようと考えている）
- 11 その他（ ）

問15 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんについて、今後平日に、「定期的に」利用したいと考える施設・事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

*施設・事業の詳しい説明は、同封した「施設」「事業」のあらましをご覧ください。

- | | |
|-------------|--------------------------|
| 1 認可保育園 | 10 家庭福祉員（保育ママ）、家庭福祉グループ |
| 2 認証保育所 | 11 その他の認可外の保育施設（ベビーホテル等） |
| 3 杉並区保育室 | 12 事業所内保育施設 |
| 4 グループ保育室 | 13 ベビーシッター |
| 5 小規模保育室 | 14 ファミリー・サポート・センター |
| 6 幼稚園 | 15 その他 |
| 7 幼稚園の預かり保育 | （ <input type="text"/> ） |
| 8 区立子供園 | |
| 9 認定こども園 | |

問15-1 利用したい施設・事業の場所についてうかがいます。希望の町名に○をつけてください。

(複数回答可)

- | | | | | | | |
|----------|--------|--------|---------|---------|--------|--------|
| I 杉並区内 ⇒ | 1 阿佐谷北 | 7 梅里 | 13 上高井戸 | 19 下高井戸 | 25 成田東 | 31 本天沼 |
| | 2 阿佐谷南 | 8 永福 | 14 久我山 | 20 松庵 | 26 西荻北 | 32 松ノ木 |
| | 3 天沼 | 9 大宮 | 15 高円寺北 | 21 善福寺 | 27 西荻南 | 33 南荻窪 |
| | 4 井草 | 10 荻窪 | 16 高円寺南 | 22 高井戸西 | 28 浜田山 | 34 宮前 |
| | 5 和泉 | 11 上井草 | 17 清水 | 23 高井戸東 | 29 方南 | 35 桃井 |
| | 6 今川 | 12 上荻 | 18 下井草 | 24 成田西 | 30 堀ノ内 | 36 和田 |
| II 杉並区以外 | | | | | | |

宛名のお子さんが土曜・休日や長期休暇中に「定期的に」利用したい施設・事業等の希望についてうかがいます

問16 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的に利用したい施設・事業の希望はありますか（一時的な利用は除きます）。施設・事業の内容は「問14-1」に示したものです。

希望がある場合は、利用したい時間帯を□に24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

(1) 土曜日

1 利用する必要はない 2 ほぼ毎週利用したい 3 月に1～2回は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 □ 時から □ 時まで
----------------------------------------------	-----	-------------------------

(2) 日曜日・祝日

1 利用する必要はない 2 ほぼ毎週利用したい 3 月に1～2回は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 □ 時から □ 時まで
----------------------------------------------	-----	-------------------------

問16-1 問16の(1)もしくは(2)で、「3 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1 月に数回仕事が入るため 2 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため 3 親族の介護や手伝いが必要なため 4 リフレッシュのため 5 その他 ()

問17 問14-1で「幼稚園」「区立子供園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の施設・事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、□に24時間制でご記入ください。

1 利用する必要はない 2 ほぼ毎日利用したい 3 週に数日利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 □ 時から □ 時まで
-------------------------------------------	-----	-------------------------

問17-1 問17で、「3 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1 週に数回仕事が入るため 2 買い物等の用事をまとめて済ませるため 3 親等親族の介護や手伝いが必要なため	4 リフレッシュのため 5 その他 ()
--------------------------------------------------------------	--------------------------

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます
(平日の施設・保育を利用する方のみ)

問18 平日に定期的に施設・事業を利用していると答えた保護者の方(問14で1に○をつけた方)にうかがいます。 利用していらない方は、問19にお進みください。

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の施設・事業が利用できなかったことはありますか。

1 あった ⇒ 問18-1へ	2 なかった ⇒ 問19へ
-----------------------	----------------------

問18-1 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している施設・事業が利用できなかった場合に、この1年間にとった行動として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。

1年間の対処方法	日数	
ア 父親が仕事を休んだ	□ □ 日	⇒ 問18-2へ
イ 母親が仕事を休んだ	□ □ 日	
ウ 父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た	□ □ 日	
エ (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	□ □ 日	
オ 病児・病後児の保育を利用した	□ □ 日	
カ ベビーシッターを利用した	□ □ 日	
キ ファミリー・サポート・センターを利用した	□ □ 日	
ク 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□ □ 日	
ケ その他 ()	□ □ 日	

問18-2 問18-1で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

子どもの病気やケガで父親または母親が休んだ際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。

(病児・病後児保育とは、一時的な病気等で通常の施設等が利用できない場合に、お子さんを預かる事業です。事前に登録が必要で、当日医師が利用の判断をします。1日2,500円かかります。)

1 できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思った ⇒	□ □	日 ⇒	問19へ
2 利用したいとは思わなかった ⇒ 問18-3へ			

問18-3 問18-2で「2 利用したいとは思わなかった」に○をつけた方にうかがいます。
 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------------|---|
| 1 病気の子を他人にみてもらうのは不安 | |
| 2 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない | |
| 3 利用料がかかる・高いから | |
| 4 親が仕事を休んで対応できるから | |
| 5 その他（ | ） |

宛名のお子さんの地域での親子の集りの利用状況についてうかがいます

問19 宛名のお子さんは、現在、親子が集まって過ごす、以下の事業を利用していますか。次の中から、
 利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字
 でご記入ください。

- つどいの広場： 乳幼児親子が集り交流する場で、区内に5か所（八成、上荻、馬橋、堀ノ内、宮前）
 があります。利用料は1回100円
- ゆうキッズ： 区立の児童館でおこなっている、乳幼児親子の集りの場です。
 利用料は無料です（材料費等がかかる場合があります）
- きずなサロン： 社会福祉協議会に登録して、地域の方々の交流のために自宅や施設などの場を提供
 する事業です。利用料は1回100～200円程度です

1 つどいの広場	1週当たり	□	回	もしくは	1か月当たり	□	回程度
2 児童館のゆうキッズ	1週当たり	□	回	もしくは	1か月当たり	□	回程度
3 きずなサロン	1週当たり	□	回	もしくは	1か月当たり	□	回程度
4 その他の親子の集まりの場（具体名： _____）	1週当たり	□	回	もしくは	1か月当たり	□	回程度
5 利用していない							

問20 問19のような乳幼児親子の集りの場について、今は利用していないができれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1 利用していないが、今後利用したい	
1週当たり <input type="text"/> 回	もしくは 1か月当たり <input type="text"/> 回程度
2 すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	
1週当たり 更に <input type="text"/> 回	もしくは 1か月当たり 更に <input type="text"/> 回程度
3 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	

問21 乳幼児親子の集まりを利用する際に、大事だと思う点はどのようなことですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1 自宅に近い	6 利用者同士がゆっくり話したり過ごすことができる
2 子どもを遊ばせるプログラムがある	7 保育士・保健師・助産師などによる専門的な相談ができる
3 保護者が楽しめるプログラムがある	8 気軽に育児の相談ができる
4 知り合いがいる	9 料金が安い
5 子育ての情報がたくさんある	10 子育て応援券が使える
	11 その他()

宛名のお子さんの一時預かり等の利用についてうかがいます

問22 宛名のお子さんについて、保護者の私用（買い物、リフレッシュ等）、通院、不規則の就労等の目的で、不規則に利用している預かり事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。

1 保育園の一時保育やひととき保育（一日単位で利用する一時預かり事業）	<input type="text"/> 日
2 幼稚園・子供園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不規則に利用する場合のみ)	<input type="text"/> 日
3 ファミリー・サポート・センター (社会福祉協議会に登録する地域の協力会員が、子どもを預かる事業)	<input type="text"/> 日
4 ベビーシッター	<input type="text"/> 日
5 その他()	<input type="text"/> 日
6 利用していない	

問23 宛名のお子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください）。

1 利用したい	ア 私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的	<input type="text"/>	日
	イ 冠婚葬祭、学校行事、一時的な通院等	<input type="text"/>	日
	ウ 定期的な通院や療育など	<input type="text"/>	日
	エ 不定期の就労	<input type="text"/>	日
	オ その他（ ）	<input type="text"/>	日
2 利用する必要はない			

問24 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間にとった行動として当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。

1 あった	ア 親族・知人にみてもらった	<input type="text"/>	泊
	イ ショートステイ（宿泊を伴う預かり事業）を利用した	<input type="text"/>	泊
	ウ ベビーホテル、ベビーシッターを利用した	<input type="text"/>	泊
	エ やむをえず子どもを同行させた	<input type="text"/>	泊
	オ やむをえず子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/>	泊
	カ その他（ ）	<input type="text"/>	泊
2 なかった			

→問24-1 問24で「1 あった ア 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

⇒ア 以外を選択した方は 問25へ

その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1 非常に困難	2 どちらかという困難	3 特に困難ではない
---------	-------------	------------

宛名のお子さんが5歳以上の方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます

5歳未満の方は、問27へ

問25 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。1～4年生と5～6年生それぞれに希望する番号に○をつけるとともに、週当たり日数をご記入ください。

また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間（24時間制）もご記入ください。先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

*施設・事業の詳しい説明は、同封した「施設」「事業」のあらましをご覧ください。

放課後の過ごし方	1～4年生	5～6年生
1 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
2 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
3 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
4 児童館（学童クラブを除く）	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
5 学童クラブ	週 <input type="text"/> 日くらい 下校時から <input type="text"/> 時まで	週 <input type="text"/> 日くらい 下校時から <input type="text"/> 時まで
6 小学校校庭開放、放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
7 ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
8 その他（公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい

問26 問25で「5 学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、夏休みや冬休みなどの長期休暇中の、学童クラブの利用希望はありますか。（1）（2）（3）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に24時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

1 1～4年生の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2 5～6年生になっても利用したい		<input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで
3 利用する必要はない		

(2) 日曜日・祝日

1 1～4年生の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2 5～6年生になっても利用したい		<input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで
3 利用する必要はない		

(3) 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間

1 1～4年生の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2 5～6年生になっても利用したい		<input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで
3 利用する必要はない		

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度などの利用についてうかがいます

問27 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

母 親	父 親
1 働いていなかった	1 働いていなかった
2 取得した（取得中である）	2 取得した（取得中である）
3 取得していない	3 取得していない

問27-1 問27で「3 取得していない」に○をつけた方にかかいます。取得しなかった理由は何ですか。当てはまる理由を「母親」「父親」それぞれの欄の当てはまる番号すべてに○をつけて下さい。

理 由	母 親	父 親
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1	1
仕事が忙しかった	2	2
（産休後に）仕事に早く復帰したかった	3	3
仕事に戻るのが難しそうだった	4	4
昇給・昇格などが遅れそうだった	5	5
収入減となり、経済的に不安があった	6	6
保育所（園）などに預けることができた	7	7
配偶者が育児休業制度を利用した	8	8
制度を利用する必要がなかった	9	9
職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	10	10
有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	11	11
その他（ ）	12	12

問27-2 問27で「2 取得した（取得中である）」と回答した方にかかいます。

⇒ 該当しない方は、問28へ

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。「母親」「父親」の当てはまる欄に1つ○をつけてください。

	母 親	父 親	
育児休業取得後、職場に復帰した	1	1	⇒ 問27-3へ
現在も育児休業中である	2	2	⇒ 問27-9へ
育児休業中に退職した	3	3	⇒ 問28へ

問27-3 問27-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業から職場に復帰したのは、いつでしたか。どちらか1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育園入園を希望して、育児休業を切り上げて一時的に認可外保育施設に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかったという場合も「1」を選択してください。

	母 親	父 親
年度初めの入所に合わせたタイミングだった	1	1
それ以外だった	2	2

問27-4 問27-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

	母 親		父 親			
実際の育児休業取得期間	□	歳 □	か月	□	歳 □	か月
希望の育児休業期間	□	歳 □	か月	□	歳 □	か月

問27-5 問27-4で 実際の復帰と希望が異なる方 にうかがいます。

希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。「母親」「父親」の当てはまる理由すべての欄に○をつけてください。

(1) 「希望」より早く復帰した方

	母 親	父 親
希望する保育園に入るため	1	1
配偶者や家族の希望があったため	2	2
経済的な理由で早く復帰する必要があるため	3	3
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4	4
その他 ()	5	5

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

	母 親	父 親
希望する保育園に入れなかったため	1	1
自分や子どもなどの体調が思わしくなかった	2	2
配偶者や家族の希望があったため	3	3
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4	4
子どもをみってくれる人がいなかったため	5	5
その他 ()	6	6

問27-6 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

(1) 母親	<input type="text"/>	歳	<input type="text"/>	か月
(2) 父親	<input type="text"/>	歳	<input type="text"/>	か月

問27-7 問27-2で「1 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。「母親」「父親」それぞれ当てはまる欄1つに○をつけてください。

	母親	父親
短時間勤務制度を利用した	1	1
短時間勤務制度を利用しなかった	2	2

⇒ **問27-8へ**

問27-8 問27-7で「短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した方にうかがいます。

短時間勤務制度を利用しなかった理由はなんですか。「母親」「父親」それぞれの欄の当てはまる番号すべてに○をつけてください。

	母親	父親
職場に短時間勤務制度をとりにくい雰囲気があった	1	1
仕事が忙しかった	2	2
短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に不安があった	3	3
短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる	4	4
配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	5	5
配偶者が無職、祖父母の親族にみてもらえる等、制度を利用する必要がなかった	6	6
職場に短時間制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	7	7
短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	8	8
その他（ <input type="text"/> ）	9	9

問27-9 問27-2で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる施設・事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。「母親」「父親」それぞれに当てはまる欄の番号1つに○をつけてください。

	母親	父親
1歳になるまで育児休業を取得したい	1	1
1歳になる前に復帰したい	2	2

杉並区の子育てについてうかがいます

問28 杉並区は子育てしやすいまちだと思いますか。当てはまる番号に1つ○をつけてください。

- 1 子育てしやすいまちだと思う
- 2 どちらかという子育てしやすいまちだと思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかという子育てしやすいまちだと思わない
- 5 子育てしやすいまちだと思わない

問29 今後も、杉並区で子育てをしていきたいと思いませんか。当てはまる番号に1つ○をつけてください。

- 1 ずっと杉並区で子育てをしていきたい
- 2 当分の間は杉並区で子育てをしていきたい
- 3 できれば杉並区以外の区市町村で子育てをしたい
- 4 近いうちに転出するつもりである
- 5 その他 ()

問30 最後に、杉並区の子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上で終わりです。調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

切手は貼らずに同封の封筒に入れ、12月24日(火)までにご投函ください。

ニーズ調査票【就学前児用】に記載されている「施設」「事業」のあらまし

「杉並区子育て支援に関するニーズ調査」の調査票に書かれている施設・事業の概要は以下のとおりです。回答の参考にしてください。

- ・時間や料金等は平成 25 年 11 月現在の数字です。
- ・料金については一部の事業を除き、補助や免除の制度があります。制度の利用には一定の条件があります。

【保育施設・保育事業】

保育施設とは、保護者が仕事や病気などでお子さんの保育ができない、0歳から小学校就学前までのお子さんが対象です。施設によってお預かりできる年齢が違います。それぞれの施設のあらまきは以下の通りです。記載されている保育料金は1か月あたりの料金です。

○認可保育園（認可保育所）

国の基準を満たした保育所のこと、区立と私立があります。

- *対象：0歳児から預かる園、1歳児から預かる園、また1～2歳を預かる園などがあります。
- *開所時間：区立は7時30分～18時30分で、理由に応じて19時30分まで延長できる園があります。私立はそれぞれの施設で保育時間が決まっています。
- *保育料：0円～68,500円の範囲で、子どもの年齢、親の収入などにより異なります。

○認証保育所

都の基準に合わせた保育施設で、すべての園で0歳児から預けることができます。また、13時間以上（例：7時30分～20時30分）開所しています。

- *対象：0歳から小学校入学前まで預かる園と、0歳から2歳まで預かる園があります。
- *開所時間、保育料：施設により異なります。

○杉並区保育室

杉並区が独自に整備した保育施設で、定員が15～52人の比較的小規模の施設です。

- *対象：施設によりお預かりするお子さんの年齢が限られています。
- *開所時間：7時30分～18時30分
- *保育料：7,000円～54,000円の範囲で、お子さんの年齢、保育時間、親の収入などにより異なります。

○グループ保育室

保育士・教員などの資格を有する区民のグループに委託している、区独自の保育室です。

- *対象：0歳～3歳未満のお子さんを預かります。
- *開所時間：7時30分～18時30分
- *保育料：45,000円～54,000円の範囲で、保育時間により異なります。

○家庭福祉員（保育ママ）、家庭福祉員グループ

一定の資格を持ち、区長の認定を受けた家庭福祉員が、自宅等で家庭的に保育します。一人の福祉員さんが3～5人預かります。また、複数の福祉員さんがグループで6～9人預かることもあります。

- *対象：0歳から3歳未満のお子さんを預かります。
- *開所時間：原則として、8時30分～17時
- *利用料は月～金曜で21,000円です。

○小規模保育所（東京スマート保育）

杉並区の基準に合わせた施設で、6～19人の定員で保育をする、小規模の施設です。

- *対象：0歳～2歳児
- *開所時間：7時30分～18時30分
- *保育料：お子さんの年齢、保育時間等により異なります。

○事業所内保育施設

企業が主に従業員用に運営する保育施設です。

○その他の認可外保育施設（ベビーホテルなど）

民間の事業者が独自に設置する保育施設で、保育時間や利用料や対象者などはそれぞれの施設で異なります。

○ベビーシッター

民間の事業所が、保育者を子どもの自宅に派遣して預かる事業。対象者や利用料は事業者によりさまざまです。

○ファミリー・サポート・センター

区が社会福祉協議会に委託している事業で、研修を受けた区民（協力会員）がお子さんの一時預かりや送迎などをを行います。おおむね10歳までのお子さんが利用できます。事前に登録が必要です。

- *利用時間：6時から22時
- *利用料：9時～20時までは、1時間800円　6時～9時と20時～22時は1000円

○一時保育

区の子育てサポートセンターや一部の保育園でおこなっている、一時的にお子さんを預かる事業です。保護者の私用など理由を問わず、一時間単位で預かります。予約が必要です。

* 利用料：子育てサポートセンターの利用料は1時間500円。給食200円。それ以外は施設により料金が異なります。

○ひととき保育

地域のNPOや民間事業者が一時的にお子さんを預かる事業です。保護者の私用など理由を問わず、一時間単位で預かります。

* 利用料：一時間800円（一部600円）。食費が別途かかる場合があります。

○ショートステイ

保護者が病気、出産などで一時的にお子さんを養育できない時に、区内の施設で宿泊してお子さんをお預かりする事業です。対象は0歳から12歳までのお子さんです。

* 利用料：2歳未満は1泊2日5,000円（1日増えるごとに2,500円）
2歳以上は1泊2日4,300円（1日増えるごとに2,150円）

【幼稚園・認定こども園・区立子供園】 ■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■

満3歳から小学校就学前までのお子さんを対象に、幼児教育を行う施設です。（施設によって対象年齢が異なります。）

○幼稚園

小学校就学前の教育施設です。区内には私立幼稚園が42園あります。定員や保育料等は園により異なります。

○幼稚園の預かり保育

幼稚園が、在園児を対象に、通常の教育時間の前後や夏休み等の長期休暇中に、お子さんを一時的に預かり保育する事業です。実施の有無や利用時間、利用料等は園によって異なります。

○認定こども園

東京都から認定こども園として認定を受け、小学校就学前の幼児を対象に教育と保育を一体的に行う施設です。区内には私立の認定こども園が2か所あります。利用料等は施設により異なります。

○区立子供園

保護者の就労形態に関わらず幼児を受け入れ、教育と保育を一体的におこなう杉並区独自の幼保一体化施設です。従来の区立幼稚園を発展的に転換し、現在区内に6園あります。また、在園児を対象に一時保育を行っています。

* 開所時間：短時間保育9時～14時頃。長時間保育7時30分～18時30分。

* 保育料：短時間保育月額8,000円。長時間保育月額18,500円～24,500円（保育時間により異なります）。
一時保育一時間当たり500円。

【小学生のお子さんが放課後利用できる施設、事業】 ■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■

（料金の記載のない事業は原則無料ですが、保険料・材料費等がかかる場合があります）

○学童クラブ

保護者が就労や病気等で保育できないお子さんの、放課後の生活の場です。区立学童クラブは区内に49か所あり、お子さんが安心して楽しく過ごせるよう、遊びや集団活動を中心とした運営を行っています。

* 対象：小学1年生から4年生まで（障害のあるお子さんは6年生まで）

* 利用時間 平日月曜～金曜 下校後（学校休業日は8時30分）～18時（延長利用は18時30分まで）
土曜日 8時30分～17時

* 利用料 月額3,000円 おやつ代 月額1,800円

○児童館

児童館は、お子さんの遊びや自主活動支援、様々な体験プログラムや、お祭りなどの地域行事を提供している施設です。区内に41の児童館があります。

* 利用時間：平日（月曜～金曜）午前10時～午後6時、土曜・日曜 午前9時～午後5時

○校庭開放

小学校の校庭を、水曜午後、土・日曜、祝日、学校休業日に、お子さんの遊び場として開放しています。（小学校により開放日が異なる場合があります。）

○放課後子ども教室

放課後の学校で、お子さんたちが地域の中でさまざまなことに挑戦・体験できるよう、保護者や地域の方々为中心となって、学習・スポーツや体験・交流活動の機会を提供しています。平成25年度は11校が実施しています。

杉並区子育て支援に関するニーズ調査

[小学生用]

調査へのご協力をお願い

日頃より杉並区の子育て支援施策にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

杉並区では、次代を担う子どもたちが健やかに成長できるよう様々な子育て支援施策を実施しておりますが、平成27年度から「子ども・子育て支援新制度」（新制度のあらましは、同封の国が作成したリーフレットをご覧ください）の実施が予定されている中で、今まで以上の施策の充実を目指して「杉並区子ども・子育て支援事業計画」を策定することといたしました。

本調査は、今後の計画づくりに向けて、小学生のお子さんに対する子育てサービスの利用状況や今後の利用希望等に関する保護者の皆さまのご意見等を把握するために実施するもので、より実態に即した計画とするためにも、多くの皆さまからご回答いただくことが重要と考えています。

調査表は、区内にお住まいの小学生のお子さんを無作為に選ばせていただき、その保護者の方にお送りしています（なお、別途就学前のお子さんのいる保護者の皆様へも調査を行っています）。

また、ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理され、個々の内容やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されることは一切ありません。

お忙しい中ご負担をおかけしますが、この調査の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

平成25年12月

杉並区長

田 中 良

～ご記入にあたってのお願い～

- 1 この調査は、封筒の宛名のお子さんの保護者の方がご記入ください。
- 2 特にことわり書きがない設問は、封筒の宛名のお子さんについてお答えください。また、親族の続柄の記載がある設問は、封筒の宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
- 3 選択肢に番号がある設問は、該当の番号に○印を付けてください。○印の数は「1つに○を」「すべてに○を」と表示していますので、それに合わせてください。また、「その他」を選択された場合は、() 内にその内容をご記入ください。
- 4 □がある欄には、設問の答えとなる数字をご記入ください。なお、時間（時刻）を記入いただく欄は、24時間制（例：午後6時は18時）でご記入ください。
- 5 同封の「施設・事業のあらまし」に、施設や事業の説明が書かれていますので、調査回答前にお読みくださいますよう、お願いいたします。
- 6 設問によって回答いただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわりのない場合は、次の設問に進んで下さい。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**12月24日(火)**までにご投函ください。（切手を貼らずにお出してください。住所・氏名を記入する必要はありません。）

【問い合わせ先】

杉並区保健福祉部 子育て支援課 計画推進担当 電話 03-3312-2111（代表）
（内線1362）

はじめに、封筒宛名のお子さんご家族についておうかがいします

問1 宛名のお子さんの学年をご記入ください。

年生

問2 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数 人 末子の生年月 平成 年 月生まれ

問3 お住まいの町名をおうかがいします。当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

1 阿佐谷北	7 梅里	13 上高井戸	19 下高井戸	25 成田東	31 本天沼
2 阿佐谷南	8 永福	14 久我山	20 松庵	26 西荻北	32 松ノ木
3 天沼	9 大宮	15 高円寺北	21 善福寺	27 西荻南	33 南荻窪
4 井草	10 荻窪	16 高円寺南	22 高井戸西	28 浜田山	34 宮前
5 和泉	11 上井草	17 清水	23 高井戸東	29 方南	35 桃井
6 今川	12 上荻	18 下井草	24 成田西	30 堀ノ内	36 和田

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1 母親 2 父親 3 その他 ()

問5 宛名のお子さんの保護者の状況についてうかがいます。それぞれの欄について、当てはまるものに1つずつ○をつけてください。

母 親	父 親
1 一緒に住んでいる	1 一緒に住んでいる
2 単身赴任や入院などで一時的に別に住んでいる	2 単身赴任や入院などで一時的に別に住んでいる
3 別居している	3 別居している
4 死亡、離婚、未婚などでいない	4 死亡、離婚、未婚などでいない

問6 宛名のお子さんの子育てを主に行っている方は、どなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------|---------|-----------|
| 1 父母ともに | 3 主に父親 | 5 その他 () |
| 2 主に母親 | 4 主に祖父母 | |

問7 日頃、お子さんを預かってもらえる親族・知人はいらっしゃいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------------|-----------|
| 1 日常的に、祖父母等の親族に預かってもらえる | } ⇒ 問7-1へ |
| 2 緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族に預かってもらえる | |
| 3 日常的に、子どもを預かってもらえる友人・知人がいる | } ⇒ 問7-2へ |
| 4 緊急時もしくは用事の際には、子どもを預かってもらえる友人・知人がいる | |
| 5 いずれもない ⇒ 問8へ | |

問7-1 問7で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんを預かってもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1 心配することなく、安心して子どもを預かってもらえる |
| 2 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4 子どもの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6 その他 () |

⇒ 問8へ

問7-2 問7で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人に預かってもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1 心配することなく、安心して子どもを預かってもらえる |
| 2 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4 子どもの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6 その他 () |

⇒ 問8へ

問8 宛名のお子さんの子育てをする上で、心配や悩みがありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 1 子どもの健康や成長のこと | 11 子育てに自信が持てないこと |
| 2 子どもの食事や生活習慣のこと | 12 養育費や教育費など経済的なこと |
| 3 子どものしつけや接し方のこと | 13 仕事との両立が負担なこと |
| 4 子どものいじめや友達関係のこと | 14 家事や介護などとの両立が負担なこと |
| 5 子どもの病気や障害のこと | 15 地域や社会から孤立している感じ |
| 6 子どもの勉強や進学のこと | 16 回答者自身や家族の健康のこと |
| 7 子どもの性格や癖に関すること | 17 相談できる人がいない、相談先がわからないこと |
| 8 子どもの性に関すること | 18 子どもにイライラしたり子育てを負担に感じる |
| 9 子どもの暴力や非行のこと | 19 その他 () |
| 10 子どもが学校に行くのを嫌がること | 20 特に心配や悩みはない |

問9 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 いる／ある → 問9-1へ | 2 いない／ない → 問10へ |
|-----------------|-----------------|

問9-1 問9で「1 いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、だれ（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|----------------------------------|
| 1 配偶者 | 9 子ども家庭支援センターの職員 |
| 2 祖父母等の親族 | 10 かかりつけの医師 |
| 3 友人・子育て仲間 | 11 地域の親子の交流の場（つどいの広場など）の職員 |
| 4 近所の人 | 12 塾や習い事の先生 |
| 5 児童館・学童クラブの職員 | 13 区や東京都などの公的相談機関（電話相談・メール相談を含む） |
| 6 学校の先生 | 14 民間の相談機関（電話相談・メール相談を含む） |
| 7 民生・児童委員 | 15 その他 () |
| 8 保健所・保健センターの職員 | |

問10 子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

保護者の就労状況についておうかがいします

宛名のお子さんの保護者の現在の就労（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。
ひとり親家庭の場合は、該当する保護者の欄にご記入下さい。

ここで言う「フルタイム」とは1週間に5日・1日8時間程度の仕事をさします。
「パート・アルバイト等」とはフルタイム以外の就労をさします。

問 11 当てはまる就労状況を、「母親」「父親」それぞれの欄の番号に1つ〇をつけてください。

就労状況	母親	父親
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1	1
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	2	2
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	3	3
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	4	4
就労していないまたは求職中である ⇒問 13へ	5	5

⇒ 問 11-1、
問 12へ

問 11-1 「問 11」でフルタイムまたはパート・アルバイトで就労しているに〇をつけた方にうかがいます。「就労日数」「就労時間」などについてお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は24時間制でご記入ください。

就労状況	母親	父親
平均的な仕事の 日数、時間	1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分	1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分
働いている曜日に 〇をつけてください	月 火 水 木 金 土 日 不定期	月 火 水 木 金 土 日 不定期
出勤・帰宅の時刻	家を出る時刻 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 帰宅時刻 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分	家を出る時刻 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 帰宅時刻 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分
在宅勤務の方は 仕事開始・終了時刻	仕事開始 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 終了 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分	仕事開始 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 終了 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分

問12 「問11」で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか。「母親」「父親」それぞれの欄の当てはまる番号に1つ○をつけてください。「フルタイム」とは1週間に5日程度・1日8時間程度の仕事をさします。

今後の希望	母 親	父 親
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	3	3
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	4	4

問 13 「問 11」で「就労していないまたは求職中」に○をつけた方にうかがいます。今後の就労希望はありますか。母親、父親の当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください。

(1) 母 親

1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

2 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3 すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

↳ 希望する就労形態（記号に○をつけ、「イ」を選んだ場合は口内に数字をご記入ください）

ア フルタイム（1週5日・1日8時間程度の就労）

イ パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

↳ 1週当たり 日 1日当たり 時間

(2) 父 親

1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

2 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3 すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

↳ 希望する就労形態（記号に○をつけ、「イ」を選んだ場合は口内に数字をご記入ください）

ア フルタイム（1週5日・1日8時間程度の就労）

イ パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

↳ 1週当たり 日 1日当たり 時間

お子さんの放課後の過ごし方についておうかがいします

問 14 お子さんが小学校1～4年生の保護者のみお答えください。宛名のお子さんは現在、放課後（平日の小学校終了後）をどのように（どこで）過ごしていますか。当てはまる過ごし方の番号すべてに○をつけるとともに、週当たりの日数を口内にご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用の時間もご記入ください。時間は24時間制でご記入ください。

*施設や事業については、同封の「施設」「事業」のあらましを参照してください。

1 自宅で家族と過ごす (家族とのお出掛けを含む)	週 <input type="text"/> 日くらい
2 自宅で一人で過ごす	週 <input type="text"/> 日くらい
3 祖父母宅や友人・知人宅で過ごす	週 <input type="text"/> 日くらい
4 習い事や塾 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input type="text"/> 日くらい
5 児童館 (学童クラブを除く)	週 <input type="text"/> 日くらい
6 学童クラブ	週 <input type="text"/> 日くらい 下校時から <input type="text"/> 時まで
7 小学校校庭開放、放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日くらい
8 ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
9 放課後等デイサービス	週 <input type="text"/> 日くらい
10 その他(公園など)	週 <input type="text"/> 日くらい

問15 すべての方にうかがいます。宛名のお子さんが小学校5年生、6年生のときは、放課後（平日の小学校終業後）の時間をどのように過ごさせたいと思いますか。当てはまる過ごし方の番号すべてに○をつけるとともに、週当たりの日数を口内にご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用の時間もご記入ください。時間は24時間制でご記入ください。

*施設や事業については、同封の「施設」「事業」のあらましを参照してください。

1 自宅で家族と過ごす (家族とのお出掛けを含む)	週 <input type="text"/> 日くらい
2 自宅で一人で過ごす	週 <input type="text"/> 日くらい
3 祖父母宅や友人・知人宅で過ごす	週 <input type="text"/> 日くらい
4 習い事や塾 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input type="text"/> 日くらい
5 児童館 (学童クラブを除く)	週 <input type="text"/> 日くらい
6 学童クラブ	週 <input type="text"/> 日くらい 下校時から <input type="text"/> 時まで
7 小学校校庭開放、放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日くらい
8 ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
9 放課後等デイサービス	週 <input type="text"/> 日くらい
10 その他(公園など)	週 <input type="text"/> 日くらい

問16 問14または問15で「6 学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、夏休みや冬休みなどの長期休暇中の、学童クラブの利用希望はありますか。(1)(2)(3)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい日数を、口内にご記入ください。

学童クラブを希望しない方は問17にお進みください。

(1) 土曜日

1 1～4年生の間は利用したい	}	⇒	月	□	日程度
2 5年生まで利用したい					
3 6年生まで利用したい					
4 利用する必要はない					

(2) 日曜日・祝日

1 1～4年生の間は利用したい	}	⇒	月	□	日程度
2 5年生まで利用したい					
3 6年生まで利用したい					
4 利用する必要はない					

(3) 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間

1 1～4年生の間は利用したい	}	⇒	週	□	日程度
2 5年生まで利用したい					
3 6年生まで利用したい					
4 利用する必要はない					

⇒ 問18へ

問17 問14または問15で「6 学童クラブ」に○をつけなかった方にうかがいます。学童クラブを利用していない(利用しない)理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1 学童クラブの要件に該当しないから(要件については「施設・事業のあらまし」参照)
2 学童クラブの要件に該当するが、学童クラブのサービス内容に不満があるから
3 学童クラブの要件に該当するが、子供が学童クラブに行きたがらないから
4 学童クラブの要件に該当するが、民間の学童クラブや他のサービスを利用しているから
5 学童クラブの要件に該当するが、習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)をしているから
6 その他()

宛名のお子さんの一時預かり等の利用についておうかがいします

問18 宛名のお子さんについて、保護者の私用（買い物、リフレッシュ等）、通院、不定期の就労等の目的で、家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。ある場合は、当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。

*施設・事業については、同封の「施設」「事業」のあらましを参照してください。

1 あった	ア 親族・知人にみてもらった	<input type="text"/>	日
	イ ファミリーサポートセンターを利用した	<input type="text"/>	日
	ウ ベビーホテル、ベビーシッターを利用した	<input type="text"/>	日
	エ やむをえず子どもを同行させた	<input type="text"/>	日
	オ やむをえず子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/>	日
	カ その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/>	日
2 なかった			

問19 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間にとった行動として当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。

*施設・事業については、同封の「施設」「事業」のあらましを参照してください。

1 あった	ア 親族・知人にみてもらった	<input type="text"/>	泊
	イ ショートステイ（宿泊を伴う預かり事業）を利用した	<input type="text"/>	泊
	ウ ベビーホテル、ベビーシッターを利用した	<input type="text"/>	泊
	エ やむをえず子どもを同行させた	<input type="text"/>	泊
	オ やむをえず子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/>	泊
	カ その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/>	泊
2 なかった			

→問19-1 問19で「1 あった ア 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

⇒ア 以外を選択した方は 問20へ

その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1 非常に困難 2 どちらかという困難 3 特に困難ではない

杉並区の子育てについておうかがいします

問20 杉並区は子育てしやすいまちだと思いますか。当てはまる番号に1つ〇をつけてください。

- 1 子育てしやすいまちだと思う
- 2 どちらかという子育てしやすいまちだと思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかという子育てしやすいまちだと思わない
- 5 子育てしやすいまちだと思わない

問21 今後も、杉並区で子育てをしていきたいと思いませんか。当てはまる番号に1つ〇をつけてください。

- 1 ずっと杉並区で子育てをしていきたい
- 2 当分の間は杉並区で子育てをしていきたい
- 3 できれば杉並区以外の区市町村で子育てをしたい
- 4 近いうちに転出するつもりである
- 5 その他 ()

問22 最後に、杉並区の子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上で終わりです。調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、12月24日（火）までにご投函ください。

ニーズ調査票【小学生用】に記載されている「施設」「事業」のあらまし

「杉並区子育て支援に関するニーズ調査」の調査票に書かれている施設・事業の概要は以下のとおりです。回答の参考にしてください。

- ・時間や料金等は平成25年11月現在の数字です。
- ・料金について記載のないものは原則無料ですが、保険料や材料費等がかかる場合があります。

○児童館

児童福祉法に規定する児童厚生施設の1つで、地域において児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操をゆたかにすることを目的とする児童福祉施設です。子どもの遊びや自主活動支援、様々な体験プログラム、お祭りなどの地域行事を提供しています。（児童館により利用内容等が異なる場合があります。）

*利用時間：平日（月曜～金曜）10時～18時 土曜日・日曜日 9時～17時

○学童クラブ

児童福祉法に定める放課後児童健全育成事業として、保護者が就労・病気等により、昼間留守になる家庭の子どもを対象にした下校後の生活の場です。子どもが安心して楽しく過ごせるよう、遊びや集団活動を中心とした運営を行っています。

*対象：小学1～4年生（心身に障害がある等の子どもは6年生まで）

*利用時間：平日（月曜～金曜）下校後～18時。学校休業日は8時30分～18時。

延長利用は18時30分まで

土曜日 8時30分から17時まで

*入会要件：保護者の就労が、週3日以上・1日3時間以上あること、またはそれに準じる疾病・介護等の理由があること。

*利用料：月額3,000円（利用料のほかに、おやつ代として月額1,800円の負担があります。）

○校庭開放（遊びと憩いの場開放）

小学校の校庭を、水曜午後、土・日曜、祝日、学校休業日に、子どもの遊び場として開放しています。（小学校により実施日等が異なる場合があります。）

○放課後子ども教室

放課後の小学校で、子どもたちが地域の中で広くさまざまなことに挑戦・体験できるよう、保護者や地域の方々が中心となって、学習や遊び、スポーツの機会等を提供しています。（実施していない小学校もあります。）

*平成25年度実施小学校数 11校

○ファミリー・サポート・センター

区が社会福祉協議会に委託している事業で、研修を受けた区民（協力会員）が子どもの一時預かりや送迎などを行います。おおむね10歳までの子どもが利用できます。

*対象：おおむね10歳までの子ども

*利用料：9時から20時までは、1時間800円
6時～9時と20時～22時は、1時間1,000円

○子どもショートステイ

保護者が、病気、出産などで一時的に子どもを養育できない時に、区内の施設で宿泊して子どもを預かる事業です。

*対象：0歳から12歳までの子ども

*利用料：2歳以上…4,300円（1泊2日料金、1日増えるごとに2,150円）

○放課後等デイサービス

学校通学中の障害がある子どもを対象に、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより、自立の促進とともに、放課後等の居場所づくりを行います。

*対象：学校教育法に規定する学校（幼稚園、大学を除く）に就学している障害のある子ども

*利用料：世帯の所得に応じた負担があります。

杉並区子育て支援に関するニーズ調査

平成26年3月発行

登録印刷物番号

25-0154



発行 杉並区 保健福祉部 子育て支援課

東京都杉並区阿佐谷南1-15-1

電話：03-3312-2111（代）

実施 株式会社エスピー研

東京都千代田区飯田橋3-11-20 SPビル

電話：03-3239-0071

・この印刷物は、無線とじ製本したものです。
